取扱説明書

メモリーナビゲーション

このたびはお買い求めいただき
ありがとうございます

ご使用になる前に、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

特に「安全にお使いいただくために」では、ご本人や他の人々への危害や損害を負うことなく安全にご使用いただくための注意を記述しておりますので必ずお読みください。
→ 7ページ

お読みになった後は、いつでも見られるところに大切に保管してください。

- 本書の内容の一部は、仕様変更等により、本機と一致しない場合があります。
  あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部は、予告なく変更する場合があります。
  あらかじめご了承ください。

お車を第三者に譲渡、転売、廃棄される場合は、お客様の個人情報 及び 著作権保護のため、本機に保存されたすべてのデータの消去（初期化）を行ってください。

ナビゲーションシステムについて

GPS ナビゲーションシステムは、衛星からの電波を受信して現在地を測位する GPS（Global Positioning System：全地球測位システム）によって、現在地を地図の上に表示しながら目的地までの道案内（ルート誘導）をするものです。

本機は、あらかじめ目的地を指定すれば、目的地までの誘導ルートを自動的に探し出し（国道、主要地方道、都道府県道、主要一般道、高速道、有料道路で自動計算）、画面表示と音声で目的地までの道案内を行います。

ルート誘導時でも、走行中は実際の交通規制が優先されます。必ず道路標識など実際の交通規制に従い、安全を確かめて走行してください。

なお、一方通行・右折禁止などの地図データは鋭意正確性を心がけておりますが、日本全国で数万件以上の膨大なデータベースのため（変更の場合を含めて）、遺憾ながらまれに実際の道路標識と異なる場合があり得ます。

その際は、恐れ入りますが実際の道路標識などにしたがっていただきますようにお願い申し上げます。

目次

目次

設定

その他

付録

安全にお使いいただくために

安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

⚠警告	指示にしたがわないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。
⚠注意	指示にしたがわないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

⚠警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しない

本製品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

作業前に必ずバッテリーのマイナス端子を外す

感電やけが、機器故障の原因になります。

走行中、運転者は本機の注視や操作をしない

道路状況への注意が散漫になり、交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから行ってください。

実際の交通規制にしたがう

ナビゲーションの画面に表示された地図、一方通行標識、交通規制標識・標示等、またはルート案内（推奨ルートや音声案内）などの情報は、実際の道路状況と異なる場合があります。必ず実際の道路標識、交通状況にしたがって走行してください。交通事故の原因となります。

分解や改造をしない

コードの被覆を切って他の機器の電源を取ったり、ケースを開けて注油したりしないでください。事故、火災、感電、故障の原因となります。

ヒューズ交換時は専門技術者に交換を依頼し、規定容量品を使用する

規定容量を超えたヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

故障や異常のまま使用しない

画面が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異常な音がする、変なにおいがするなどの場合は、ただちに使用を中止してください。火災、感電の原因となります。

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。

また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

⚠注意

取り付け、取り外し、取り付け変更や配線は、専門技術者に依頼する

正しく取り付けや配線をしてください。誤った取り付けや配線をすると、運転に支障をきたし事故や故障の原因となります。

本機を車載以外の用途に使用しない

けがや感電の原因となることがあります。

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。

操作パネルの上に物を置いたり、強い衝撃を与えない

操作パネルや液晶表示部が故障や破損・変形する原因となります。

- 上に物を置かない
- 手で強く押さない
- ボールペンの先端、ピン、爪の先など、硬いものでこすったり、たたいたりしない
- 水滴やジュースなどの飲みものをかけない

現在地表示とGPS

本ナビゲーションシステムでは、GPS によって現在地の特定を行っています。

GPSについて

GPS（Global Positioning System）は、人工衛星からの電波を受信して、位置を特定（測位）するシステムです。

上空からの電波を受信する必要があるため、以下のような条件により、位置の特定ができなかったり、位置特定が影響を受けたりすることがあります。

- トンネルや建物内などの屋内
- 山などの地形
- 高層ビルなどの高い建物で囲まれた場所
- 電波塔や、その他の電波の影響がつよい箇所　など

起動時の自車位置について

- ナビゲーションの起動から現在地の測位に至るまで、周囲の環境や電波の状態、また電源状態によって、数分～数十分程度の時間がかかる場合があります。
- ナビゲーションを起動したとき、始めに表示される現在地は、起動時に GPS 測位を行った最初の地点となります。GPS 測位開始後は、受信状況に応じた位置が表示されるようになります。

  ※ 初回起動時は東京駅に設定されています。

  ※ 突然の電源断などの場合､始めに表示される現在地が異なる位置になることがあります。

自車位置のずれについて

以下のような場合は、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、本機の故障ではありません。

- 使用して間がないとき。

  本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します。そのため、ある程度の走行データが必要です。しばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

- 衛星精度が低下したとき。

  GPS 情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により、測位誤差が大きくなることがあります。その他にも GPS アンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

- その他以下のような走行環境や GPS 衛星の状態のとき。

  - Y 字路のように徐々に開いていく道路を走行している。
  - ループ橋など、連続して大きく旋回する道路を走行している。
  - 直線および穏やかなカーブを長距離走行している。
  - 峠道など、つづら折れの道路を走行している。
  - 碁盤目状道路を走行している。
  - 高速道と側道のように、近接し、高低差が少なく、似た方位の道路を走行している。
  - 駐車場や新設道路など地図上にない道路や、実際の道路形状と異なる道路を走行している。
  - エンジンを切った状態でターンテーブルで旋回したり、フェリー・車両運搬車などでの移動後。
  - 雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路を走行している。
  - 坂道での車庫入れやバンクした道路を走行している。
  - タイヤチェーンを装備したり、タイヤ交換をした後。
  - 長時間連続で走行している。
  - ホイールスピンなど乱暴な走行をしている。
  - 自車位置の移動時に車両の方向が合っていない。
  - GPS 衛星からの受信ができない駐車場で、時速 30km 以上の速度で走行した後。
  - 起動直後、GPS 衛星からの受信ができない場所で低速の後進やハンドル操作などで自車方向が変わった後。

お願いとお知らせ

USB端子のご利用について

- スマートフォンなどは、エンジンスイッチのポジションがACCまたはONのとき、車載のUSB端子に接続することで充電が可能です。その場合、充電時間が通常より長くなることがあります。

液晶表示について

- 画面の中に小さな黒点、輝点が現われる場合がありますが、これは液晶モニター特有の現象で、故障ではありません。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。液晶パネルが汚れた場合は、「本体のお手入れ」(203ページ)をお読みください。

使用環境について

- バッテリーあがり防止のため、本機の操作は、車のエンジンをかけた状態で行ってください。本機は高速CPUを搭載していますので、ケースが熱くなることがあります。使用中やエンジンスイッチをOFFにした直後の取り扱いは、十分に注意してください。
- キーレスエントリーシステムが装着されている車では、キーを本機に近づけると、本機が動作しなくなる場合があります。また、キーを本機やBluetoothオーディオ機器に近づけると、音飛びが発生する場合がありますので、キーを離してご使用ください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

ルートについて

- 検索機能から表示される施設の位置をそのまま目的地に設定した場合、施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 音声データにより聞き取りにくい名称があります。
- 提供されるVICS情報は参考情報であり、最新のものではない場合もあります。
- ルート(経路)計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。詳しくは「ルートの設定」(81ページ)を参照してください。

適切なルート設定ができない場合について

- 広い施設(広大なショッピングモールなど)を目的地として設定しようとしたとき、駐車場までの適切なルート設定ができない場合があります。

保証期間内の保証に関するご注意

- 保証を受ける際は、お買い求めの販売店にご相談ください。
- 保証の際には、付属品を回収させていただく場合がございます。
- 本機の故障により保存できなかったデータ、および消失したデータに関しては、保証いたしておりません。
- 次のような場合は、保証期間内でも保証は適用されません。
  - ・お取り扱い上の不注意(取扱説明書以外の誤操作、落下、衝撃、水濡れなど)
  - ・不当な修理や改造・分解による故障および損傷
  - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷
  - ・ご使用後の傷、変色、汚れおよび保管上の不備による損傷

著作権について

- 本機は許諾契約に基づき弊社が使用許諾を受けた第三者が著作権を所有するソフトウェアおよびデータを収録しています。取扱説明書記載内容にて明示的に許諾される場合を除き、本機からのソフトウェア(更新プログラム、データを含む)の取り出し、複製、改変等の行為は法律で固く禁じられています。

安全運転への配慮

安全運転への配慮から、ナビゲーションは車を走行中に以下の操作ができないようになっています。
この点をご理解のうえ、安全運転を心がけてくださるようお願いいたします。

項目	できない操作
画面の操作	● 文字入力 ● フリックやスワイプによる画面などの移動
ナビゲーション	● 隣り合う1画面分以上の地図スクロール ● ピンチイン･ピンチアウトによる地図のスケール変更 ● 地図スクロール後の［現在地］／［登録地］／［周辺施設］／［地点情報］／［経由］／［目的地］の各ボタン操作 ● ［ナビゲーション］メニューの［自宅に戻る］以外の操作
オーディオ･ビデオ	● 動画の再生（運転中は音声のみ出力） ● テレビの操作（運転中は音声のみ出力） ● 音楽リストの操作
電話	● アドレス帳の表示 ● 発着信履歴の表示 ● ダイヤル操作 ＊アドレス帳、発着信履歴の表示中に運転を開始した場合、タッチ操作による発信は可能です。
Bluetooth	● 接続の開始 ● 検索の開始 ● 待ち受けの開始 ● 自機名称の編集 ● PINコード／パスキーの入力 ● 削除、編集動作への移行 ＊動作、待ち受け動作中に運転を開始した場合、そのままの状態が続きます。

Japanese Radio Law and Japanese Telecommunications Business Law Compliance.
This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law (電波法) and the Japanese Telecommunications Business Law (電気通信事業法).

This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).

日本国内電波法および電気通信事業法遵守について
本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。
本製品の改造は禁止されています。（改造した場合、適合証明番号などが無効となります。）

表記のしかた

本機には、いくつかのボタンと画面、および画面左右の領域があります。

各部の操作のしかたについて、次の用語を使用します。

用 語	操 作
押す	ハードボタンを指で押します。
タップする	本機左右の領域のボタンを軽くたたくように触れます。
タッチする	画面内のボタンやアイコンなどに軽く触れます。
フリックする	画面内に軽く触れた後、指をいずれかの方向にはじきます。
スワイプする	画面内を指でなぞるようにすべらせます。
ピンチイン・ピンチアウト	画面内を二本の指で触れ、その間隔を開いたり狭めたりします。画面の拡大・縮小に使う操作です。

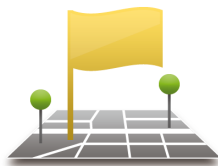
本書では、それぞれの操作を、以下のように簡略化して示しています。

表 記	操 作
⏻ を押す	⏻ を指で押します。
▦ をタップする	画面右の ▦ をタップします。
◀ をタッチする	画面左上の ◀ をタッチします。
⚙→[ナビ設定]→[地図]の順にタッチする	画面右の ⚙ をタップし、続いて[ナビ設定]ボタンをタッチし、さらに[地図]ボタンをタッチします。

よく使用する機能の目次

お気に入りの場所を登録する

よく行く場所や施設などを登録しておけば、
すぐに検索できます。

41 ページへ

目的地を探す

読みやキーワードで探す、住所で探す、など
目的地の探しかたにはいろいろあります。

65 ページへ

自宅を登録する

自宅を登録しておけば、いつでもどこからでも簡単に
自宅へのルートを設定できます。

36 ページへ

設定したルートを変更する

一度設定したルートの目的地を変更したり、
経由地を追加するなどの変更ができます。

86 ページへ

ルート案内中の画面表示

ルート案内中の画面の見かたを覚えておきましょう。

32 ページへ

オーディオ・ビデオ操作

本機の画面と車両のスピーカーを使って
オーディオ・ビデオの再生を楽しみます。

49 ページへ

Bluetooth 機器の登録方法

Bluetooth 対応のスマートフォンなどを使う前に、
Bluetooth 機器を本機に登録しておきます。

59 ページへ

スマートフォン接続方法

スマートフォンと本機は、
Bluetooth または USB ケーブルのいずれかで接続します。

63 ページへ

車両情報表示

エンジンの状態、燃費や安全への警告など、
さまざまな情報を画面で確認できます。

148 ページへ

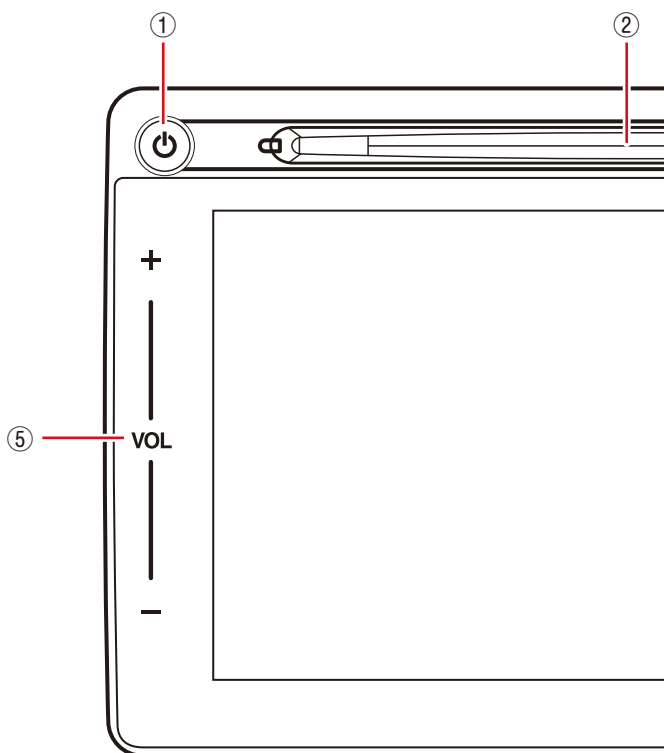
カメラを使う

自車を真上から見ているかのような映像により、
確実な駐車や車庫入れを手助けします。

192 ページへ

各部の名称とはたらき

本機

本機の操作パネルのボタンなどの各部の名称とはたらきについて説明します。

① (一時消去ボタン)

一時的に画面を消去するときに押します。
押し続けると画面と音声が消去されます。
元に戻すには、もう一度押します。

② ディスク挿入口

音楽CDやDVDなど、ディスクのメディアを挿入します。

③ (イジェクトボタン)

挿入したディスクを取り出すときに押します。

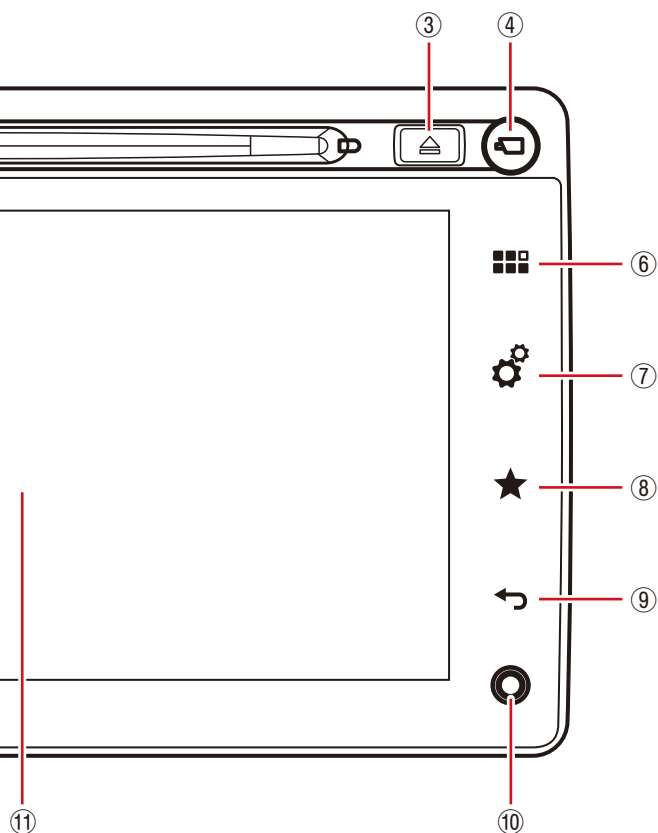
④ (全方位モニターボタン)

自車を真上から見ているかのような映像(全方位モニター)を画面に表示するときに押します。

⑤ [+ VOL −](音量ボタン)

音量を上げるときは[+]と[VOL]の間を、下げるときは[VOL]と[−]の間をタップします。

⑥ (ホームボタン)

トップメニューを表示するときにタップします。どんな状態の画面からもトップメニューに戻ることができます。

⑦ (設定ボタン)

[設定]メニューを表示するときにタップします。どんな状態の画面からも[設定]メニューが表示されます。

⑧ ★(ショートカットボタン)

よく使う画面をショートカットに登録できます。登録してあるショートカットがある場合、タップするとその画面が表示されます。

⑨ (戻るボタン)

タップすると、現在からひとつ前の画面に戻ります。

⑩ AUX端子

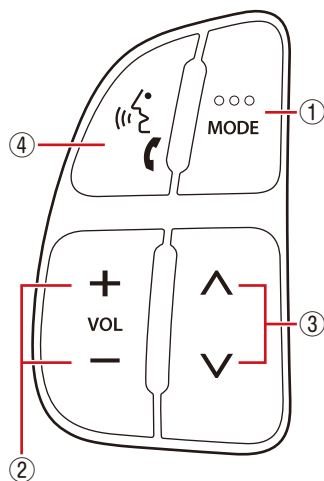
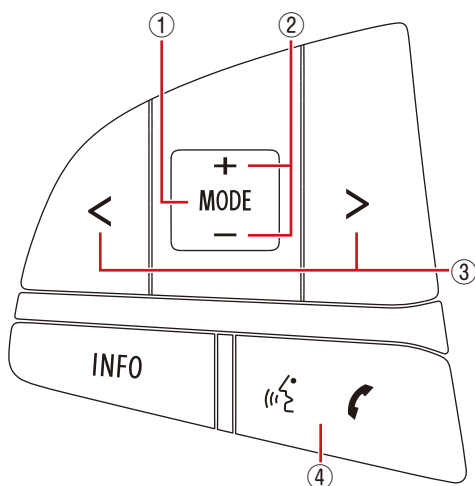
本機で再生したい外部機器(AUX)を接続します。

⑪ 液晶パネル

状況に応じて地図やメニューなどさまざまな情報が表示されます。表示される地図やボタン、アイコンをタッチして操作を進めます。

ステアリングスイッチ

車両のステアリングスイッチが、本機の操作にかかわっています。
ステアリングスイッチを使用すると、車を運転中でもステアリングから手を離さずに本機の操作ができます。

⚠警告
走行中、運転の妨げにならないように十分注意してください。

① [MODE](モード) スイッチ

オーディオやビデオのモードを切り替えます。
押すたびに、次のように切り替わります。

FM1→FM2→AM1→AM2→Bluetooth オーディオ→テレビ→AUX(外部機器) →USB/iPod→FM1･･･

画面が非表示のときに押すと、直前に選択していたモードに切り替わります。

長押しすると、ナビゲーション画面とオーディオ画面が切り替わります。

② [+/−](音量) スイッチ

再生中のオーディオやビデオの音量を調整します。
[+]側を押すと音量が大きくなり、[−]側を押すと小さくなります。
押し続けることで、連続して音量が変化します。

③ 戻る/進む スイッチ

ラジオ/テレビ受信中の選局や、iPod/iPhoneのオーディオを聴いているときの選曲などに使用します。

モード	スイッチを押す	スイッチを長押しする
ラジオ/テレビ	プリセットチャンネルのアップ/ダウン	自動選局
USBメモリーやiPod/iPhoneの再生	トラックのアップ/ダウン	フォルダのアップ/ダウン
DVD	チャプターのアップ/ダウン	—

④ 発話/電話 スイッチ

電話を着信したとき、ハンズフリーで受けるときに押します。
また、音声認識発話(iPhoneのSiri)を有効にするときに長押しします。

タッチ操作とボタン操作

電源を入れる／切る

1. エンジンスイッチをACCまたはオンにする

本機に電源が入ります。

MEMO

- 通常、前回最後に電源を切る直前の状態の画面が表示されます。
- 初めて電源を入れたときは、AMラジオ放送の受信画面になります。

2. エンジンスイッチをオフにする

本機の電源が切れます。

トップメニュー画面を表示する

本機の機能は、[情報]／[ナビゲーション]／[メディア]の3つのメニューにまとめられています。

[メディア] メニュー

[ナビゲーション] メニュー

[情報] メニュー

[情報]／[ナビゲーション]／[メディア]をタッチする代わりに左右にスワイプしても切り替わります。

トップメニュー画面に戻る

画面がどんな状態のときでも、一回の操作でトップメニュー画面に戻ることができます。

■■■ をタップする

［メディア］メニューが表示されます。

ひとつ前の画面に戻る

⮌ をタップする

現在のひとつ前の画面に戻ります。

画面の下に続く一覧を見る

画面に以下のマークが表示されている場合、一覧などが1画面に収まらず上下に続いています。

この場合、画面を上下にスワイプまたはフリックして、上下に動かします。

スケールを変える

地図上のスケール表示の[＋]／[－]をタッチするごとに、スケールが[10m]から[100km]の13段階で切り替わります。

例：スケールが200mの地図で[－]を7回タッチすると

MEMO

- ピンチイン、ピンチアウトによりスケールを変更することもできます。

スクロールする

現在地画面をスワイプして、地図をスクロールすることができます。
前ページの画面でためしてみましょう。

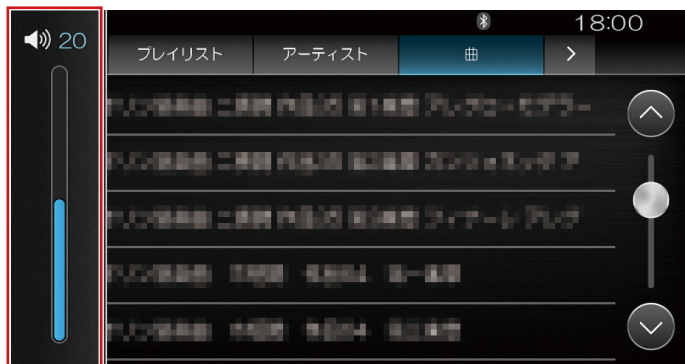
画面を上から下にスワイプすると・・・

さらに左下から右上にスワイプすると・・・

音量を調節する

本機の音量は、画面左の[+ VOL −]で調節します。

- 音量を上げるとき：[+]と[VOL]の間をタップ
- 音量を下げるとき：[VOL]と[−]の間をタップ

タップ中は、音量が以下のように示されます。

MEMO

- 音量は、最大レベル40から最小0までの間で調整できます。
  ただし、以下の音量については、その音が出ているときに最大レベル16から最小0までの間で調整できます。

  — ナビ案内音量
  — ハンズフリー着信音量
  — ハンズフリー通話音量

画面と音声を一時消去する

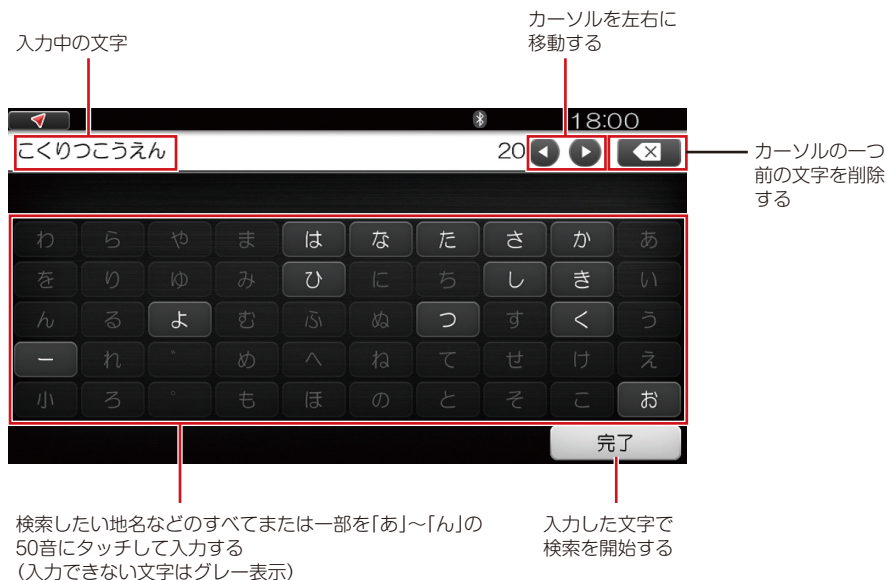
本機の電源をオンにしたまま、画面だけ、あるいは画面と音声を一時的に消すことができます。
画面だけ消すとき：⏻を押す
画面と音声を消すとき：⏻を3秒ほど押し続ける

元に戻すには

もう一度⏻を押します。

文字の入力

本機では、地図上の場所を、文字を入力して検索する方法が用意されています。
その他、必要に応じて文字を入力する場合、画面上のキーボードを使います。
ここでは、キーボードの各部の使いかたを説明します。

ひらがなフルキーボード

MEMO

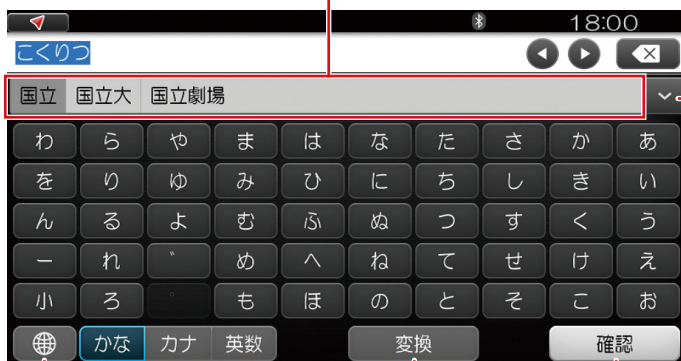
- 以下の説明では、すでに説明した各部の意味や使い方の説明は一部の例外を除いて省きます。

かな漢字ほかフルキーボード

「ひらがな」「カタカナ」「英数字」それぞれのキーボードに切り替える。

「ひらがな」「カタカナ」キーボードの場合

例：「ひらがな」キーボード

入力中の文字のかな漢字変換候補。
希望の文字にタッチして確定する。

変換候補が1行で表示されない場合、タッチしてすべてを表示

携帯電話型キーボードに切り替える。

かな漢字変換する。

未確定の場合、タッチして確定する。
[完了]が表示されたら、タッチして検索を開始する。

MEMO

- 候補の数が500を超えた状態で検索すると、検索結果には初めの500件だけが表示されます。

「英数字」キーボードの場合

携帯電話型キーボード

ひらがな配列の場合

「あ」をタッチすると、「あ」「い」「う」「え」「お」「あ」「い」･･･の順に切り替わる。（カタカナ配列、英字配列の場合も同様。）

フルキーボードに切り替える。

ひらがな配列、カタカナ配列、英字配列、数字配列を切り替える。

未確定の場合、タッチして確定する。[完了]が表示されたら、タッチして検索を開始する。

英字配列の場合

入力した英字を全角、半角に切り替える。（数字配列の場合も同様。）

地図の見かた

現在地画面の見かた

① AVステータス表示

選択中のオーディオ･ビデオの情報が表示されます。

② 現在地

現在位置の情報が表示されます。

③ 時計

GPS信号から受信した現在時刻を表示します。

④ 方位アイコン

地図表示のしかたを切り替えます。

「地図表示のしかたを切り替える」（31ページ）参照

⑤ スケール表示

地図のスケールを変更します。

「スケールを変える」（20ページ）参照

⑥ VICS情報

VICS情報を受信すると、情報の発信時刻が表示されます。

「VICS情報の受信」（92ページ）参照

MEMO

- 走行中は、細街路（有効幅員5.5m未満）が表示されない場合があります。
  地図スケールが50mおよび、50mより詳細な場合にのみ、細街路以外を走行中でも、細街路が表示されます。

走行中画面での[一般]ボタン／[高速]ボタンについて

高速道路と一般道路が並走している道路を走行している場合に、[一般]ボタン／[高速]ボタンが表示されます。このボタンをタッチすると、自車位置マークが移動します。実際の車の位置と自車位置マークがずれた場合にご使用ください。

[一般]ボタン／[高速]ボタン

地図の操作

現在地を表示する

スクロール中の地図から現在地に戻る

地図画面をスクロールするなどして、現在地以外の地図が表示されているときは、 または［現在地］をタッチします。

現在地の地図に戻ります。

地図以外の画面から現在地の地図に戻る

設定などの操作中、全面地図以外の画面が表示されているときは、 をタッチします。

現在地の地図に戻ります。

スクロール後の地図画面

スクロールすると、地図の中央に十字カーソルが表示されます。
直接、十字カーソルの位置を目的地とするルート検索ができます。

① [現在地]

現在地画面に戻り、十字カーソルは消えます。

② [登録地]

十字カーソルの位置を「お気に入り」または「自宅」位置として登録することができます。

「自宅を登録する」(36ページ)、「自宅へ案内する」(39ページ)、「地図上で探す」(74ページ)参照

③ [周辺施設]

十字カーソル位置を中心とした周辺の施設を検索します。

「周辺施設から探す」(69ページ)参照

④ [回避]

十字カーソルを中心とした正方形の領域を回避エリアに設定します。

「回避エリアを設定する」(90ページ)参照

⑤ [地点情報]

周辺の主な施設までの方向と距離を表示します。

⑥ [経由]

ルート案内中、十字カーソル位置を経由地として追加します。

「経由地を追加する」(87ページ)参照

⑦ [目的地]

十字カーソルの地点を目的地としてルート設定を開始します。

「ルートを設定する」(81ページ)参照

地図表示のしかたを切り替える

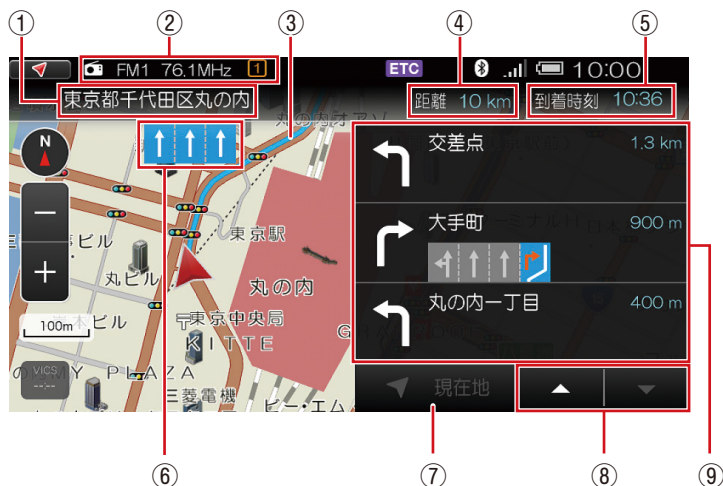
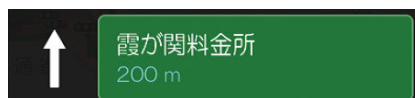
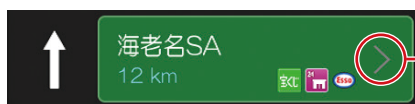
地図上の方位アイコンをタッチするごとに、地図表示のしかたが3通りに切り替わります。

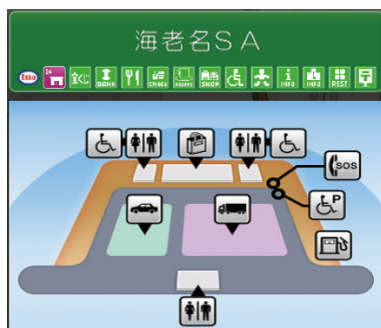
方位アイコン	地図表示
(2Dノースアップ)	北が常に上にくるように地図を表示します。走行に合わせて、自車マークが回転します。
(2Dヘディングアップ)	進行方向が常に上にくるように地図を表示します。走行に合わせて、地図が回転します。
(3Dヘディングアップ)	上空から見下ろした3Dの地図をヘディングアップで表示します。

走行中の地図について

ルート案内を開始すると、地図画面にはいろいろな情報が表示されます。

ポイント案内

ルート上の施設の情報を3件まで表示します。
上下にスクロールして、これから通過する施設を確認することができます。

インターチェンジ

料金所

SA

「>」がある場合、タッチすると

① **現在位置情報**

現在位置の住所を表示します。

② **オーディオ・ビデオ情報**

現在再生中のオーディオ・ビデオがあれば、その情報が表示されます。

③ **案内ルート**

目的地までのルートを表示します。

- 水色：一般道
- 緑：高速道
- ピンク：細街路

④ **距離**

目的地までの距離を表示します。

⑤ **到着時刻**

目的地に到着する予想時刻を表示します。

⑥ **レーン情報**

次のポイントでの全レーンと走行すべきレーンが表示されます。

⑦ **［現在地］**

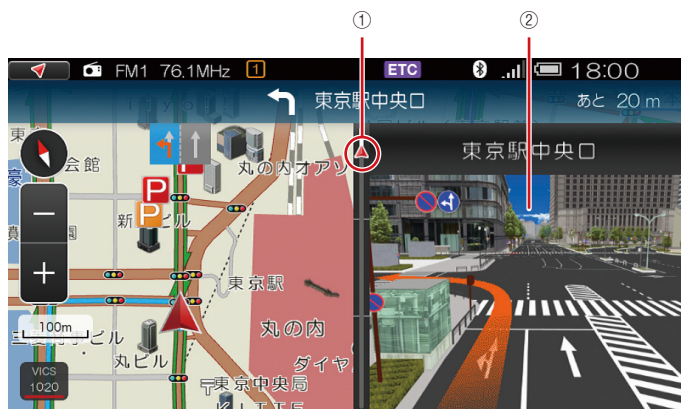
スクロールさせたポイント案内を、次のポイントがいちばん下になる状態に戻します。

⑧ **リストスクロール**

ポイント案内をスクロールします。

⑨ **案内情報**

各ポイントの名称と、そこまでの距離、進行方向を表示します。

交差点拡大図

① **ゲージ**

案内ポイントまでの距離をゲージで表示します。

② **交差点拡大図**

交差点の拡大地図と名称、進行方向などが表示されます。

イラスト表示

高速道の入口、出口や分岐箇所とそこでの進行方向がイラストで表示されます。

高速道分岐箇所

高速道出口

料金所（DSRC車載器を搭載しており、本機との連動がオンになっているときの例）

場所の検索と登録

自宅を登録する

地図上の場所を検索して、その位置を自宅として登録することができます。
場所の検索方法にはいろいろありますが、ここでは地図をスクロールして登録したい場所を探してみましょう。現在地画面から始めてみます。

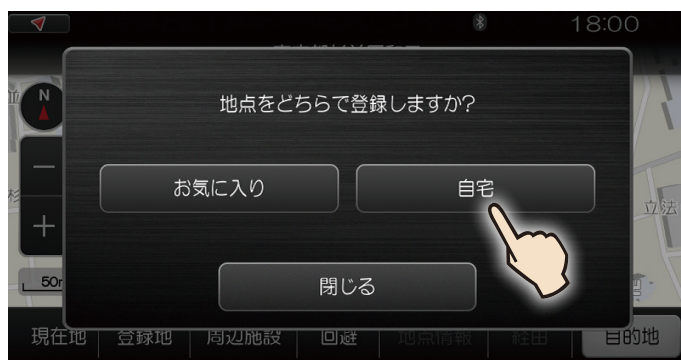
1. →[ナビゲーション]→[現在地地図]の順にタッチする

現在地画面が表示されます。

2. 地図をスクロールして、自宅として登録したい場所を中心に表示する

より正確に位置を決めるために、目的の場所に近づいたら地図のスケールを拡大するとよいでしょう。
最後に、登録したい所をタッチすると、そこに十字カーソルが移動します。

3. [登録地]をタッチする

4. [自宅]をタッチする

地図画面に戻ります。

自宅が登録されたことを確認

登録されたことを示すアイコン

自宅へ案内する

一度自宅を登録しておくと、どの場所からでも簡単に自宅を目的地とするルートを設定できます。

1. ■■■ →[ナビゲーション]→[自宅に戻る]の順にタッチする

現在地から自宅までのルート探索が始まります。
探索中は、[目的地]が[計算中]などの表示になります。
ルートが見つかると、案内開始画面に切り替わります。

案内開始画面では、現在地から目的地(ここでは自宅として登録した場所)までのルート全体が表示されます。

2. [案内開始]をタッチする

現在地から自宅までのルート案内が始まります。

MEMO

・案内開始画面について詳しくは *「案内開始画面」(82ページ)参照*

別の方法

以下のように操作して、自宅までの案内を開始することもできます。

1. ■■■ →[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

2. 画面を上にスワイプ →[自宅]にタッチする

3. [目的地]をタッチする

4. [案内開始]をタッチする

お気に入りに登録する

よく行く場所や施設などをお気に入りに登録しておくと、目的地を検索するときにお気に入りから選ぶことができます。

場所の検索方法にはいろいろありますが、ここでは地図をスクロールして登録したい場所を探してみましょう。現在地画面から始めてみます。

MEMO

・最大100件まで、お気に入りとして登録できます。

1. [メニュー]→[ナビゲーション]→[現在地地図]の順にタッチする

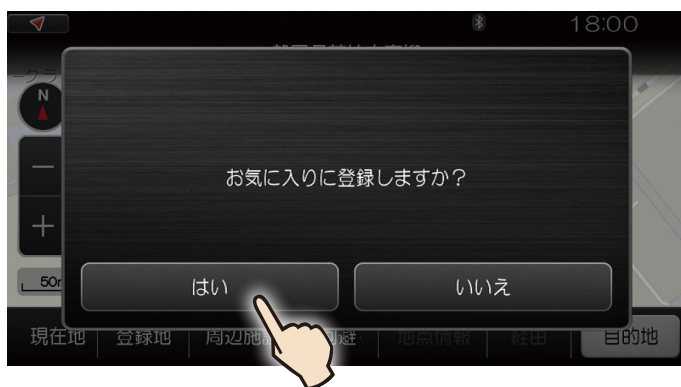
2. 地図をスクロールして、お気に入りとして登録したい場所を中心に表示する

より正確に位置を決めるために、目的の場所に近づいたら地図のスケールを拡大するとよいでしょう。最後に、登録したい所をタッチすると、そこに十字カーソルが移動します。

3. [登録地]をタッチする

「地点をどちらで登録しますか？」と表示されます。

4. [お気に入り]をタッチする

5. [はい]をタッチする

地図画面に戻ります。

お気に入りが登録されたことを確認

住所で探す

場所や施設のいろいろな検索方法のうち、その住所で探す方法を説明します。

ここでは、例として「東京都渋谷区代々木３丁目 2-1」を検索してみます。

1. → [ナビゲーション] → [目的地設定] の順にタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

2. [住所] をタッチする

3. ［た］をタッチする

「た」行で始まる都県名が読みの順に一覧表示されます。

4. ［東京都］をタッチする

東京都内の市区町村を選ぶ画面に切り替わります。

5. [さ]→[渋谷区]の順にタッチする

6. [や]→[代々木]の順にタッチする

7. [3丁目]をタッチする

8. [2]→[1]の順にタッチする

「東京都渋谷区代々木3丁目2-1」の場所が検索され、地図画面に切り替わります。

便利な検索方法－お出かけサーチ

本機には、観光地やドライブコースなどのデータがあらかじめ搭載されています。
その中から、見たいこと、やりたいこと、食べたいものなどにしたがって目的の場所や施設を検索することができます。

お出かけサーチの「ご当地グルメ」で検索すると･･･

たとえば、次のような詳細画面が表示されます。

MEMO

・ お出かけサーチについて詳しくは *「お出かけサーチを使う」(76ページ)参照*

オーディオ・ビデオの操作

CD

ディスク挿入

① トラックのリストを表示します。リストから再生する曲を選ぶことができます。

② 再生中のCDの情報を表示します。

③ 再生中のトラック番号/総トラック数を示します。

④ 再生中のトラックの経過時間を表示します。

⑤ 再生中のトラックの総演奏時間を表示します。

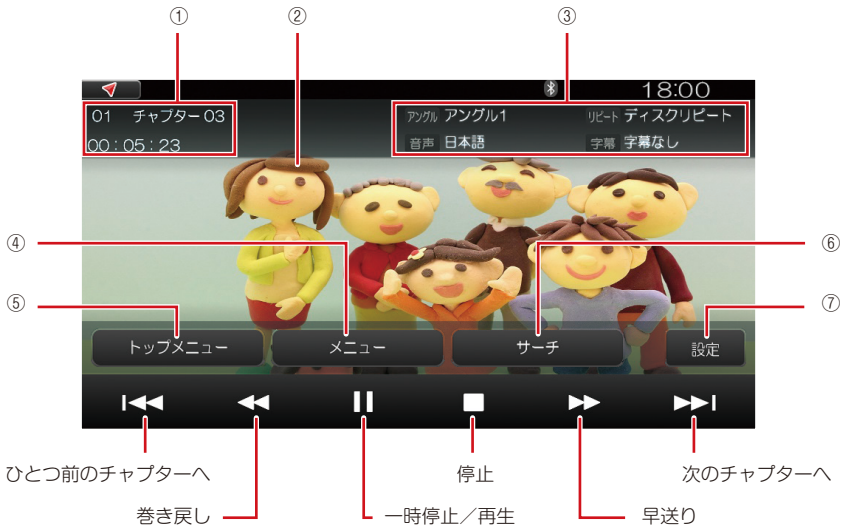
CD再生中に地図画面などに切り替えた後、再びCD画面に戻るには

→[メディア]→[ディスク]の順にタッチする

MEMO

・CDの操作について詳しくは「音楽CDを聴く」(102ページ)参照

DVD

ディスク挿入

① 再生中のタイトル番号、チャプター番号、先頭からの再生経過時間を表示します。

② 再生画面です。約5秒後にDVDビデオ映像の全画面表示に切り替わりますが、画面をタッチすると、再び上記の画面が表示されます。

③ 再生中のDVDビデオについての情報が表示されます。

④ 再生中のタイトルのメニューを表示します。（ディスク全体でタイトルがひとつの場合は何も表示されません。）

⑤ 再生中のディスクのトップメニューを表示します。

⑥ タイトル番号、チャプター番号を指定して再生を開始します。

⑦ 音声や字幕などに関する設定ができます。

DVD再生中に地図画面などに切り替えた後、再びDVD画面に戻るには

→［メディア］→［ディスク］の順にタッチする

MEMO

- DVDの操作について詳しくは *「DVDビデオを見る」（105ページ）参照*

ラジオ

① 受信中の周波数表示と選局ボタンです。[＋]／[－]をタッチするごとに1ステップ周波数が切り替わります。タッチし続けると自動的に受信可能な放送局を検出します(自動選局)。

② 受信可能な放送局を自動的にプリセットリストに登録します。

③ プリセットされた周波数(放送局)のリストです。タッチして希望の局を選びます。

MEMO

・ラジオの操作について詳しくは *「ラジオを聴く」(98ページ)、「交通情報を聴く」(101ページ)参照*

テレビ

① チャンネルプリセットしたカテゴリー(ホーム／ドライブ／エリア)を切り替えます。

② テレビ番組画面です。約5秒後にテレビ番組の全画面表示に切り替わりますが、画面をタッチすると、再び上記の画面が表示されます。

③ 音声チャンネルや字幕などの設定ができます。

MEMO

- はじめてテレビを見る場合、まずチャンネルをプリセットします。*「チャンネルをプリセットする」(113ページ)参照*
- テレビの操作について詳しくは *「テレビを見る」(113ページ)参照*

USBメモリー

USBメモリー(音楽)の場合

① トラックやフォルダのリストを表示します。フォルダのリストが表示された場合、いずれかのフォルダを選ぶとその中のトラックがリスト表示されます。リストから再生する曲を選ぶことができます。

② 再生中の音楽の情報を表示します。

③ 再生中のトラックの経過時間を表示します。

④ 再生中のトラックの総演奏時間を表示します。

⑤ 再生中のトラック番号/総トラック数を示します。

⑥ リピート再生　／　⑦ランダム再生

	曲選択で「曲」を選択した場合	曲選択で「フォルダ」を選択した場合
リピート再生方法	全曲リピート／1曲リピート	フォルダリピート／1曲リピート
ランダム再生方法	全曲ランダム再生のオン／オフ	フォルダ内ランダム再生のオン／オフ

MEMO

・USBメモリー(音楽)の再生操作について詳しくは *「USBメモリー(音楽)の場合」(123ページ)参照*

クイックガイド

USBメモリー(動画)の場合

① 動画のファイルやフォルダのリストを表示します。フォルダのリストが表示された場合、いずれかのフォルダを選ぶとその中のファイルがリスト表示されます。リストから再生する動画ファイルを選ぶことができます。

② 再生中の動画です。

③ 再生中の動画の情報を表示します。

④ 全画面表示に切り替えます。

⑤ ファイルの再生経過時間を表示します。

⑥ 再生中のファイル番号/総ファイル数を示します。

⑦ 再生中のファイルの総再生時間を表示します。

⑧ リピート再生 ／ ⑨ランダム再生

	曲選択で「ファイル」を選択した場合	曲選択で「フォルダ」を選択した場合
リピート再生方法	全ファイルリピート／1ファイルリピート	フォルダリピート／1ファイルリピート
ランダム再生方法	全ファイルランダム再生のオン／オフ	フォルダ内ランダム再生のオン／オフ

MEMO

・USBメモリー(動画)の再生操作について詳しくは *「USBメモリー(動画)の場合」(125ページ)参照*

iPod／iPhoneのオーディオ

① 曲やカテゴリーのリストを表示します。リストから再生する曲を選ぶことができます。

② 再生中の曲の情報を表示します。

③ 再生中の曲の経過時間を表示します。

④ 再生中の曲の総演奏時間を表示します。

MEMO

- iPodやiPhoneの再生操作について詳しくは *「iPod／iPhoneの場合」(128ページ)参照*

Bluetooth機器のオーディオ

① 曲やカテゴリーのリストを表示します。リストから再生する曲を選ぶことができます。

② 再生中の曲の情報を表示します。

③ 再生中の曲の経過時間を表示します。

④ 再生中の曲の総演奏時間を表示します。

MEMO

- Bluetooth機器の再生操作について詳しくは *「Bluetooth機器の場合」(130ページ)参照*

ahaラジオ

① プリセット／周辺ステーションリストから放送局を選びます。

② 現在再生中の番組を放送している局の、他の番組リストから番組を選びます。

③ 番組に番号が存在している場合、電話をかけることができます。

④ 番組に住所などの地点情報が存在する場合、その地点を目的地や経由地に設定できます。

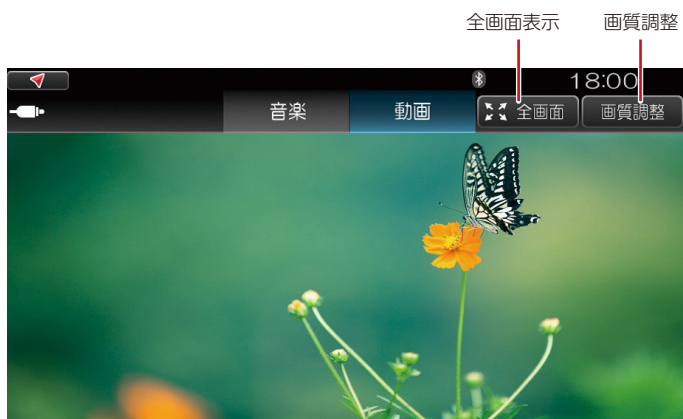
MEMO

- ahaラジオについて詳しくは *「ahaラジオを聴く」(100ページ)参照*

外部機器(AUX)

音楽の場合

外部機器を操作して再生、停止などの操作を行います。
本機では、音量の調整ができます。

動画の場合

MEMO

- 外部機器(AUX)の再生について詳しくは *「外部機器(AUX)を再生する」(132ページ)参照*

Bluetooth機器の登録

携帯電話やスマートフォンなどのBluetooth対応機器を本機とともに使用して、Bluetooth対応機器の音楽などを再生したり、ハンズフリーでの電話の発着信をしたりすることができます。

はじめてBluetooth対応機器を使用するときは、本機に登録(ペアリング)する必要があります。

MEMO

- 登録後に利用可能な機能は以下の3とおりで、登録の操作時にどの機能とどの機能を使うかを選びます。

ハンズフリー通話	Bluetooth対応機器をハンズフリー通話用の電話として使用
音楽再生	Bluetooth対応機器の音楽を本機で再生
スマートフォン連携	Bluetooth対応のスマートフォンにインストールされているアプリケーションを利用

- あらかじめ、Bluetooth対応機器側でもBluetoothをオンに設定して、本機側から検索可能な状態にしてください。オフになっていると正しく登録できない場合があります。
- 本機を待ち受け状態にしてBluetooth対応機器を登録することもできます。以下の方法で登録できない場合は、この方法をお試しください。

「Bluetooth対応機器との接続」(170ページ)参照

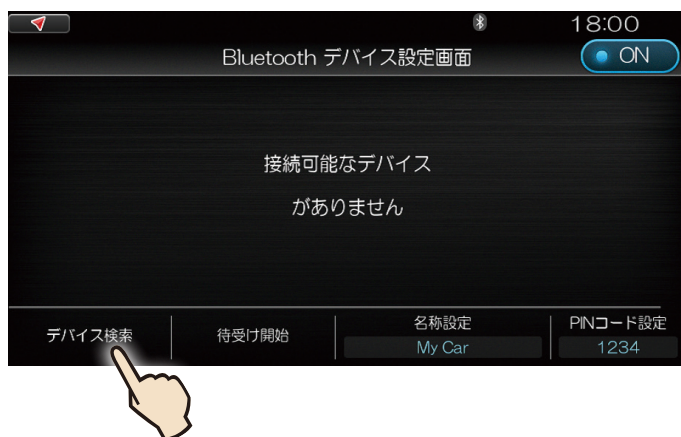
ご注意

- iPhoneの場合、音楽再生とスマートフォン連携を同時に使用することはできません。

Bluetooth機器を本機に登録する

1. →[Bluetooth設定]の順にタッチする

[Bluetoothデバイス設定画面]が表示されます。

2. ［デバイス検索］をタッチする

本機が周囲のBluetooth対応機器の検索を開始します。
Bluetooth対応機器が見つかると、その機器の名称とともに[NEW]と表示されます。

3. 表示されたBluetooth機器名をタッチする

どの機能を利用するかを選択する画面が表示されます。

MEMO

- 表示された機器が希望のものと異なる場合は［検索結果クリア］をタッチして、操作をやり直してください。

4. 利用したい機能の[ON]／[OFF]をタッチする

タッチするごとに[ON]／[OFF]が切り替わります。

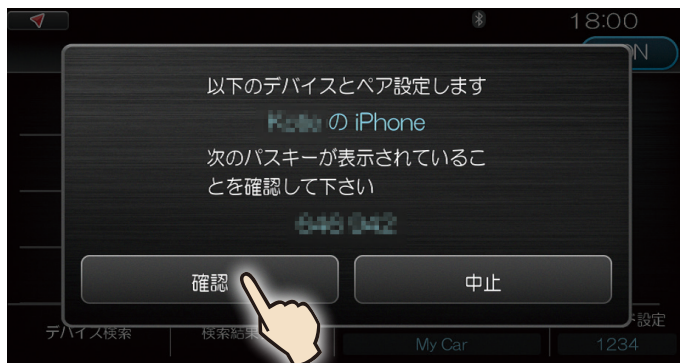
ご注意

・iPhoneの場合、[音楽]と[スマートフォン連携]を同時に[ON]にすることはできません。

MEMO

・手順3で選んだ機器を一覧から削除するには、手順4で[デバイス削除]をタッチします。

5. [上記の設定で接続]をタッチする

6. [確認]をタッチする

Bluetooth対応機器によっては、機器側で、表示されたパスキーの確認操作が必要です。
登録(ペアリング)が完了すると、機器の名称と、利用する機能が表示されます。

MEMO

- 一度登録をした機器は、Bluetoothをオフにしたり本機の使用をいったん終了したりしても、→[Bluetooth設定]でその名前が一覧に表示されます。接続状態になっていないときは、[デバイス検索]をタッチし、機器名称に[Found]と表示されたら、上記の手順3～5の操作をしてください。
- 本機の名称は、「My Car」(初期値)に設定されています。Bluetooth対応機器側で、この名称が表示されることがあります。
- 本機の名称は変更可能です。上記の画面で[名称設定]をタッチし、操作を進めてください。
- Bluetooth対応機器は、10台まで登録できます。11台目を登録するには、すでに登録されている機器を削除する必要があります。

スマートフォン連携の接続方法

スマートフォン連携により、スマートフォン（iPhoneやAndroidタイプ）にインストールした、本機と連動するアプリを利用することができます。

スマートフォンと本機をスマートフォン連携のために接続する方法には、Bluetooth接続およびケーブル接続の2通りがあります。

Bluetoothで接続する

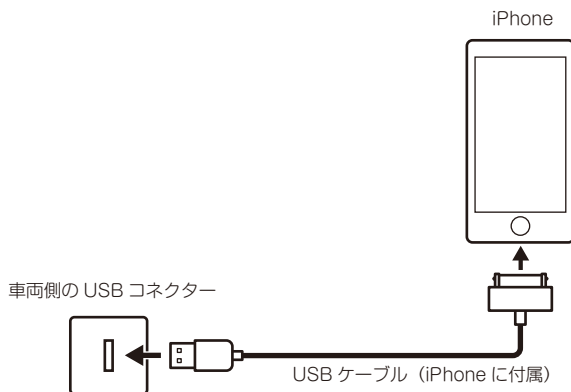
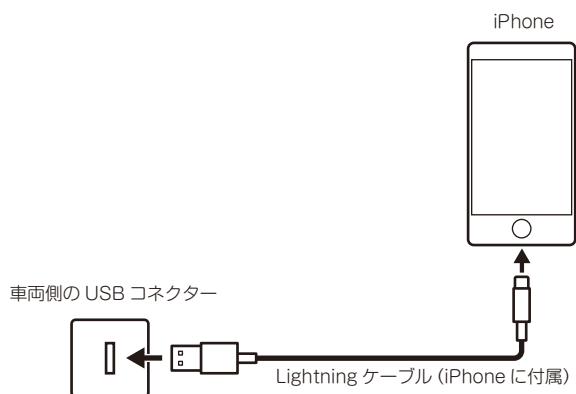
スマートフォンと本機をBluetoothで接続することを、スマートフォンを登録（ペアリング）する、といいます。

MEMO

- スマートフォンの登録（ペアリング）の方法について詳しくは *「Bluetooth機器の登録」（59ページ）参照*

ケーブルで接続する

iPhoneの接続

iPhone4、iPhone4sの場合

iPhone5、iPhone5s、iPhone5c、iPhone6、iPhone6 Plusの場合

スマートフォン連携で利用できるアプリ（例）

スマートフォン連携で利用できるアプリである、NaviConおよびahaラジオについて、利用する際の接続方法について以下にまとめます。

アプリ	スマートフォン	接続方法　（○：可　×：不可）	
		Bluetooth 接続	ケーブル接続
NaviCon	iPhone	○	○
	Androidタイプ	○	×
ahaラジオ	iPhone	×	○
	Androidタイプ	○	×

場所のいろいろな検索方法

「クイックガイド」で紹介した方法以外にも、本機にはさまざまな場所の検索方法が用意されています。
検索したい場所や施設が見つかると、その場所を中心とした地図画面が表示されます。

■ 地図画面でできること

検索した場所を目的地や経由地としてルート設定します。*「ルートを設定する」（81 ページ）参照*

検索した場所をお気に入りに登録します。*「お気に入りに登録する」（41 ページ）参照*

検索した場所を回避エリアに設定します。*「回避エリアを設定する」（90 ページ）参照*

50音で探す

探したい場所や施設の読みの一部またはすべてを 50 音（ひらがな）で入力して、それを含む施設などを検索します。
読みではなく、かな漢字で入力して検索したいときは、フリーワード検索を使用してください。
ここでは、例として「六本木ヒルズ」を検索してみます。

1 →[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

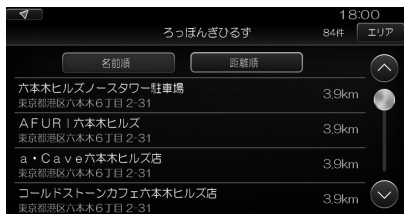
2 [50音]をタッチする

「ひらがなフルキーボード」が表示されます。

「ひらがなフルキーボード」（23 ページ）参照

3 「ろっぽんぎひるず」と入力する

4 [完了]をタッチする

候補の一覧が表示されます。

5 画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の施設をタッチする

最初は、現在地からの距離の順番で表示されています。

［名前順］をタッチすると、文字コード順で並べ替えられます。

［エリア］をタッチすると、さらに希望の都道府県で絞り込みができます。

目的の施設をタッチすると、地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

フリーワードで探す

かな漢字、アルファベットや数字を使って任意の文字を入力して、それを含む施設などを検索します。
ここでは、例として「水族館」と入力して検索してみます。

1 **→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする**

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 **[フリーワード]をタッチする**

「かな漢字ほかフルキーボード」が表示されます。

「かな漢字ほかフルキーボード」(24 ページ)参照

3 **「水族館」と入力する**

4 **[完了]をタッチする**

候補の一覧が表示されます。

5 **画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の施設をタッチする**

最初は、現在地からの距離の順番で表示されています。

[名前順] をタッチすると、文字コード順で並べ替えられます。

[エリア] をタッチすると、さらに希望の都道府県で絞り込みができます。

目的の施設をタッチすると、地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

MEMO

- 検索結果が500件以上ある場合は、「検索結果が多すぎます。エリアで絞り込むか入力文字数を増やしてください」と表示されます。その場合は、検索のための文字を追加するか、[エリア]をタッチしてエリアで絞り込んでください。

選択した場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

電話番号で探す

場所や施設などの電話番号を入力して検索します。

1 **→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする**

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 **[電話番号]をタッチする**

「数字キーボード」が表示されます。

3 **電話番号を入力する**

4 **[検索]をタッチする**

地図画面に切り替わります。

入力した電話番号の場所が地図の中央に表示されています。

電話番号検索で見つかった場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

周辺施設から探す

現在地の周辺にある施設を、そのカテゴリーの一覧から絞り込んで検索します。

1 ■■■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定]メニューが表示されます。

2 [周辺施設]をタッチする

[ジャンル検索]画面が表示されます。

MEMO

- ■■■→[ナビゲーション]→[周辺検索]でも[ジャンル検索]画面に切り替わります。
- 現在地の地図をスワイプ、フリックすると表示される[周辺施設]をタッチしても[ジャンル検索]画面に切り替わります。

第一階層には、以下のカテゴリーが表示されます。

- グルメ
- レジャー・観光・スポーツ
- ホテル・旅館
- 駅・車・交通
- 公共・病院・銀行・学校
- ショッピング
- 生活

3 希望のカテゴリーをタッチする

次の階層が表示されます。

例：[グルメ]を選んだ場合

4 以下同様に希望のカテゴリーをタッチする

現在地の周辺で該当する施設が一覧表示されます。

5 画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の施設をタッチする

地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

選択した場所を示す(ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

ジャンル一覧から探す

検索したい施設などのジャンルを選び、場所を絞り込んで検索します。

1 ▪▪▪→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 [ジャンル]をタッチする

[ジャンル検索] メニューが表示されます。

3 希望のジャンルをタッチする

「エリアを選択してください」画面が表示されます。

MEMO

- [ジャンルリスト]をタッチした場合は、*「周辺施設から探す」(69ページ)*の手順2と同じ「ジャンル検索画面」が表示されます。「周辺施設から探す」と同様に操作して階層をたどると「エリアを選択してください」画面が表示されます。

4 希望の都道府県名をタッチする

[あ] ～ [わ] をタッチして都道府県名をすばやく切り替えることができます。

5 希望の市町村名などをタッチする

[全域] をタッチすると、一つ前の階層（この場合は都道府県）の全域が検索の対象となります。

最後に選んだ階層で該当する施設が見つかると、一覧表示されます。

6 画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の施設をタッチする

地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

選択した場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

お気に入りから探す

場所や施設をお気に入りに登録してある場合、その一覧から希望の場所・施設を選ぶことができます。

1 ■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

［目的地設定］メニューが表示されます。

画面を上方向にスワイプします。

2 [お気に入り]をタッチする

［お気に入り検索］画面が表示されます。

最初は、登録した時間の順番で表示されています。

［名前順］をタッチすると、文字コード順で並べ替えられます。

［距離順］をタッチすると、現在地からの距離の順番で並べ替えられます。

MEMO

- 自宅がお気に入りに登録されている場合は、どの並び順でもいちばん上に表示されます。
- ■をタッチして、お気に入りの名称やピンの種類を変更できます。
- 場所をお気に入りから削除するときは■をタッチします。

3 **画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の場所をタッチする**

地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

選択した場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

ナビゲーション

検索履歴から探す

1 ■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

［目的地設定］メニューが表示されます。

2 [履歴]をタッチする

［検索履歴］画面が表示されます。

最初は、検索した順番で表示されています。

［名前順］をタッチすると、文字コード順で並べ替えられます。

［距離順］をタッチすると、現在地からの距離の順番で並べ替えられます。

3 画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的の場所をタッチする

地図画面に切り替わります。

選択した場所が地図の中央に表示されています。

選択した場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

地図上で探す

地図画面をスクロールして場所や施設などを探します。例として、現在地画面から始めてみます。

1 **→[ナビゲーション]→[現在地地図]の順にタッチする**

現在地の地図が表示されます。

2 **画面をスワイプして場所を探す**

大きく移動するときは地図を縮小し、希望の場所に近づいたら拡大するとよいでしょう。

3 **目的の場所･施設に十字カーソルを合わせる**

目的の場所、施設

MEMO

以降の操作について

- 検索した場所を目的地や経由地としてルート設定します。*「ルートを設定する」(81ページ)参照*
- 検索した場所をお気に入りに登録します。*「お気に入りに登録する」(41ページ)参照*
- 検索した場所を回避エリアに設定します。*「回避エリアを設定する」(90ページ)参照*

■ 地点情報を利用する

地図画面をスクロール中に、[地点情報]が表示されてタッチできる状態になった場合、地点情報を表示することができます。

[地点情報]は、十字カーソルの周辺に地点情報が登録されている施設がある場合に有効になります。対象となる範囲は、スケールにより異なります。

1 **[地点情報]をタッチする**

十字カーソルの位置の情報が表示されます。

2 **地点の名称をタッチする**

地点の詳細情報が表示されます。

MEMO

以降の操作について

- この地点を目的地や経由地としてルート設定します。*「ルートを設定する」(81ページ)参照*
- この地点をお気に入りに登録します。*「お気に入りに登録する」(41ページ)参照*
- 電話番号が表示されている場合、ハンズフリー通話が可能な状態であれば、[発信]をタッチしてこの地点の施設に電話をかけることができます。
- 地点情報を確認した後、もとの地図画面に戻るには を2回タップします。

緯度・経度で探す

場所や施設の緯度と経度を入力して検索します。

1 ■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定]メニューが表示されます。

画面を上方向にスワイプします。

2 [緯度経度]をタッチする

数字キーボードが表示されます。

3 北緯と東経の数字を入力する

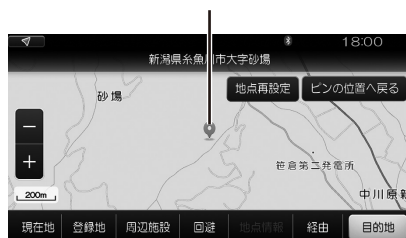
北緯と東経を、それぞれ度・分・秒まで入力します。

入力できない数字はグレーで表示され、タッチしても入力できません。

4 [検索]をタッチする

地図画面に切り替わります。

入力した緯度・経度の場所が地図の中央に表示されています。

入力した緯度・経度の場所を示す (ピン)

MEMO

- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

お出かけサーチを使う

本機にあらかじめ搭載されている観光地やドライブコースなどのデータから、見たいこと、やりたいこと、食べたいものなどにしたがって目的の場所や施設を検索したり、ルートを設定したりします。

■ るるぶDATAで調べる

株式会社 JTB パブリッシングの「るるぶ DATA」の情報が掲載されています。

1 ■■■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 [お出かけサーチ]をタッチする

[お出かけサーチ] メニューが表示されます。

3 [るるぶDATA]をタッチする

[るるぶ DATA エリア選択] メニューが表示されます。

4 希望のエリアをタッチする

[るるぶ DATA 都道府県選択] メニューが表示されます。

5 希望の都道府県をタッチする

[おでかけサーチエリア選択] 画面が表示されます。

6 画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的のエリアをタッチする

[観光ジャンル (大分類)] 画面が表示されます。

7 以下、目的にしたがって場所を絞り込む

目的の場所・施設の詳細情報が表示されます。

MEMO

- 詳細画面で、情報をしらべます。電話番号が登録されており、Bluetoothのハンズフリーが使える状態であれば、[発信]をタッチして電話をかけることができます。
- この画面から直接[お気に入り]／[経由地]／[目的地]をタッチすることで、それぞれに登録できます。
- [地図]をタッチすると、検索結果の場所･施設が地図の中央に表示されます。
- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

■ 現在地周辺の観光スポットを調べる

1 ■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

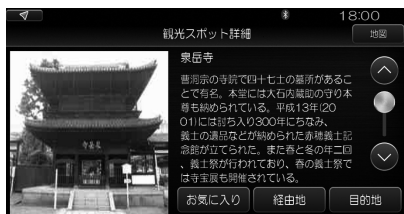
[目的地設定]メニューが表示されます。

2 [お出かけサーチ]をタッチする

[お出かけサーチ]メニューが表示されます。

3 [周辺観光スポット]をタッチする

[観光ジャンル(大分類)]画面が表示されます。

4 以下、目的にしたがって場所を絞り込む

目的の場所・施設の詳細情報が表示されます。

MEMO

- 詳細画面で、情報をしらべます。電話番号が登録されており、Bluetoothのハンズフリーが使える状態であれば、[発信]をタッチして電話をかけることができます。
- この画面から直接[お気に入り]/[経由地]/[目的地]をタッチすることで、それぞれに登録できます。
- [地図]をタッチすると、検索結果の場所･施設が地図の中央に表示されます。
- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

■ ドライブコースを探してルート設定する

おすすめのドライブコースを検索し、立ち寄る場所・施設を選んで現在地からのルート設定ができます。

1 **■■■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする**

［目的地設定］メニューが表示されます。

2 **[お出かけサーチ]をタッチする**

［お出かけサーチ］メニューが表示されます。

3 **[ドライブコース]をタッチする**

［都道府県を選択してください］画面が表示されます。

4 **希望の都道府県をタッチする**

［あ］～「わ」をタッチして都道府県名をすばやく切り替えることができます。

［ドライブコース（都道府県名）］画面が表示されます。

5 **画面を上下にスワイプまたはフリックして、目的のコースをタッチする**

コースに取り入れたい施設などが一覧表示されます。

施設名などをタッチすると詳細画面が表示されます。

詳細画面から［ドライブコース詳細］画面に戻るには、⮌ をタップします。

6 **コースに取り入れる場所･施設の[ON][OFF]をタッチする**

［OFF］に設定した場所・施設はコースから外されます。

7 **[ルート設定]をタッチする**

現在地から選んだ場所・施設までのルート計算が始まります。

MEMO

・ルート計算が終わったら *「案内開始画面」(82ページ)参照*

■ 温泉地を探す

1 ■→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 [お出かけサーチ]をタッチする

[お出かけサーチ] メニューが表示されます。

3 [日帰り温泉]をタッチする

[都道府県を選択してください] 画面が表示されます。

4 希望の都道府県をタッチする

[あ] ～「わ」をタッチして都道府県名をすばやく切り替えることができます。

[お出かけサーチエリア選択] 画面が表示されます。

5 希望のエリアをタッチする

[日帰り温泉リスト] 画面が表示されます。

6 温泉施設をタッチする

施設の詳細が表示されます。

MEMO

- 詳細画面で、情報をしらべます。電話番号が登録されており、Bluetoothのハンズフリーが使える状態であれば、[発信]をタッチして電話をかけることができます。
- この画面から直接[お気に入り]／[経由地]／[目的地]をタッチすることで、それぞれに登録できます。
- [地図]をタッチすると、検索結果の場所・施設が地図の中央に表示されます。
- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

■ ご当地グルメを探す

1 **→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする**

[目的地設定] メニューが表示されます。

2 **[お出かけサーチ]をタッチする**

[お出かけサーチ] メニューが表示されます。

3 **[ご当地グルメ]をタッチする**

[都道府県を選択してください] 画面が表示されます。

4 **希望の都道府県をタッチする**

[あ] 〜「わ」をタッチして都道府県名をすばやく切り替えることができます。

[お出かけサーチエリア選択] 画面が表示されます。

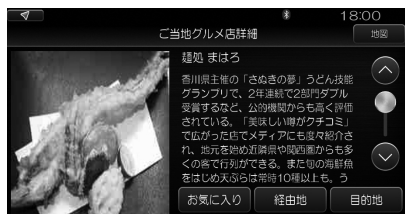
5 **希望のエリアをタッチする**

[ご当地グルメリスト] 画面が表示されます。

6 **希望のジャンルをタッチする**

[ご当地グルメ店リスト] 画面が表示されます。

7 **希望の店･施設の名前をタッチする**

施設の詳細が表示されます。

MEMO

- 詳細画面で、情報をしらべます。電話番号が登録されており、Bluetoothのハンズフリーが使える状態であれば、[発信]をタッチして電話をかけることができます。
- この画面から直接[お気に入り]／[経由地]／[目的地]をタッチすることで、それぞれに登録できます。
- [地図]をタッチすると、検索結果の場所･施設が地図の中央に表示されます。
- 地図画面をスワイプ、フリックした場合、[ピンの位置に戻る]をタッチすると元の地図に戻ります。
- スワイプ、フリック後、[地点再設定]をタッチすると十字カーソルの位置にピンが移動します。

ルートの設定

いろいろな検索方法で目的の場所や施設が見つかったら、目的地へのルート設定を行います。

ご注意

以下のような場合は、ルート計算が正しく行われません。
- 出発地および目的地が、最寄りの道路から400m以上離れている。
- 目的地が、自車から道路リンク接続ができない(例:フェリー航路がデータ上整備されていない孤島など)。
- 自車から目的地までの直線距離が50m以内。
- 自車から目的地までの直線距離が10,000km以上。

ルートを設定する

1 **→[ナビゲーション]→[目的地設定]の順にタッチする**

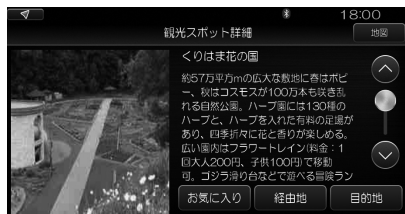
[目的地設定] メニューが表示されます。

2 **検索方法を選択***(65ページ~80ページ)*して、**目的地を検索する**

(65ページ~80ページ)

検索して見つかった場所、施設が で示されます。

場所、施設を示す (ピン)

[お出かけサーチ] で検索した場合は、見つかった場所、施設などの詳細情報が表示されます。

[地図] をタッチすると、上記同様の地図画面に切り替わります。

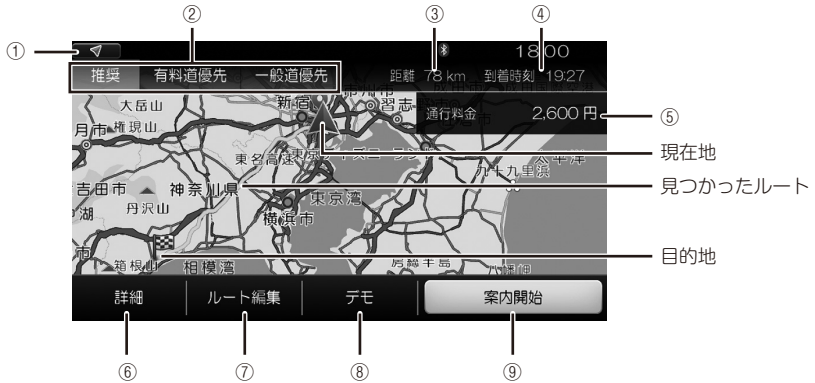
地図画面に切り替えることなく手順 3 に進んでルート設定することもできます。

3 **[目的地]をタッチする**

検索結果の地図画面または詳細画面で、[目的地]をタッチします。

現在地から検索した場所、施設までのルート探索が始まります。

ルートが見つかると、案内開始画面が表示されます。

案内開始画面

①	◁	見つかったルートの情報を消去して、現在地画面に戻ります。
②	ルート探索条件	ルートの探索条件を**[推奨][有料道優先][一般道優先]**のいずれかに切り替えます。 **[推奨]**：有料道の料金といった経済性と目的地までの時間の両方のバランスを考慮したルートを探索します。 **[有料道優先]**：目的地の近くまで、有料道を優先して使用するルートを探索します。 **[一般道優先]**：目的地の近くまで、一般道を優先して使用するルートを探索します。 ルート探索直後は、推奨のルートが表示されます。
③	距離	現在地から目的地までの距離を表示します。
④	到着予想時刻	目的地に到着する予定の時刻を表示します。 MEMO ・予定時刻を計算する条件を変更することができます。 *「ルート計算の設定をする」(164ページ)参照*
⑤	[通行料金]	見つかったルート中の有料道の通行料金を表示します。
⑥	[詳細]	出発地から目的地までの主なポイント、距離、進行方向を表示します。 *「ルートの詳細を見る」(83ページ)参照*
⑦	[ルート編集]	経由地の追加など、ルートの編集を行います。 *「ルートの編集」(86ページ)参照*
⑧	[デモ]	実際に走行する前に、地図上でデモ走行します。 *「デモ走行する」(84ページ)参照*
⑨	[案内開始]	目的地までのルート案内を開始します。

ルートの詳細を見る

ルート案内を開始する前、ルート案内開始後、それぞれの方法でルートの詳細を見ることができます。

■ ルート案内前に詳細を見る

案内開始画面で［詳細］をタッチします。

現在地から目的地までの主なポイントが表示されます。

■ ルート案内開始後に詳細を見る

案内開始画面で［案内開始］をタッチすると、ルート案内が始まります。

ルート案内中は、画面の右側にルート中にある主なポイントが表示されます（ルートモニター）。

ご注意

- 案内開始画面で［詳細］をタッチしたときに表示される情報は、主なポイントのみ表示しているため、ルートモニター表示とは異なります。

MEMO

- ルートモニターは、オン／オフを切り替えることができます。*「ルート案内中の表示を設定する」（162ページ）参照*

各ポイントの名称、進行方向、現在地からの距離

画面をスワイプ、フリックすると詳細表示は消えます。［◁］または画面左下の［現在地］をタッチすると、再び現在地を中心とする上記の画面に戻ります。

デモ走行する

ルート案内を開始する前に、地図上でデモ走行することができます。

案内開始画面で、［デモ］をタッチします。

自車マークが、設定されたルート上を目的地に向かって移動していきます。

このとき、実際のルート走行時と同様に音声案内が聞こえ、案内図が表示されます。

■ デモ走行中の画面例

• 一般道におけるレーン案内

• 一般道における進行方向案内（イラスト）

• ジャンクションにおける分岐案内（イラスト）

MEMO

・デモ走行中に地図画面をスクロールすると、ポイント案内は消えますが、［◁］または画面左下の［現在地］をタッチすると再びポイント案内が表示されます。

■ デモ走行の速度

デモ走行を開始すると、一般道では時速 50km、高速道路では時速 100km の速度になります。

［速く］／［遅く］をタッチして、0.3 倍、0.6 倍、1 倍、2 倍、3 倍の 5 段階に速度を切り替えることができます。

■ デモ走行から実際のルート案内に切り替える

デモ走行の途中で［案内開始］をタッチすると、現在地の地図に戻り、ルート案内が始まります。

別ルートが見つかった場合

走行中も、本機は VICS 情報を参考に、よりよいルートを検索しています（動的ルート計算）。

VICS 情報が更新され、現在のルートよりも目的地に到着するまでの距離、時間、料金がよりよくなると予想されるルートが見つかると、本機は別のルートが見つかったことを音声と画面でお知らせします。

■ 別ルートを使うかどうかを決める

別ルートを使う場合は、上記の画面で［はい］をタッチします。新しく見つかったルートでのルート案内に切り替わります。

別ルートを使わない場合は、上記の画面で［いいえ］をタッチします。現在のルートでルート案内が継続します。

MEMO

- ［はい］、［いいえ］のどちらもタッチせずに500m走行すると、現在のルートでのルート案内が継続します。

■ 動的ルート計算をやめる

設定を変更して、動的ルート計算をしないようにすることもできます。「ルート計算の設定をする」（164 ページ）参照

ナビゲーション

ルートの編集

一度ルートを設定した後、目的地を変更する、経由地を追加するなどの編集ができます。

目的地を変更する

ルート案内を開始した後に、目的地を変更することができます。
ルート案内中の画面で、以下のように操作します。

1 **画面をスクロールして、新しく目的地にしたい場所、施設に十字カーソルを合わせる**

より正確な目的地に設定するために、地図を拡大してカーソルを合わせてください。

新しく目的地にしたい場所、
施設に十字カーソルを合わせる

2 **[目的地]をタッチする**

指定した場所、施設を目的地とする新しいルートに切り替わり、案内開始画面に戻ります。

経由地を追加する

出発地から目的地までの間に、通過や立ち寄りするための経由地を追加します。

■ 案内を開始する前に経由地を追加する

案内開始画面で、以下のように操作します。

MEMO

- 経由地は、最大5件追加できます。

1 [ルート編集]をタッチする

[ルート編集] 画面が表示されます。

2 [追加]をタッチする

[目的地設定] メニューが表示されます。

3 場所、施設を検索する

目的地の検索と同様に操作します。

「場所のいろいろな検索方法」(65 ページ)参照

4 [経由]をタッチする

検索した場所、施設を示す (ピン)

「経由地設定」画面が表示されます。

5 [+　経由地を追加]をタッチする

経由地を含むルートが設定され、案内開始画面に戻ります。

MEMO

- 目的地は、一番下に表示されます。

■ ルート案内中に経由地を追加する

1 **画面をスクロールして、経由地にしたい場所、施設に十字カーソルを合わせる**

経由地にしたい場所、施設

2 **[経由]をタッチする**

［経由地設定］画面が表示されます。

3 **[＋　経由地を追加]をタッチする**

指定した場所、施設が経由地として追加されます。

経由地を示すマーク

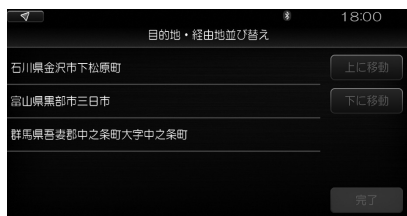
目的地と経由地を並べ替える

案内開始画面で、以下のように操作します。

1 **[ルート編集]をタッチする**

[ルート編集] 画面が表示されます。

2 **[並び替え]をタッチする**

[目的地・経由地並び替え] 画面が表示されます。

3 **移動したい場所をタッチする →[上に移動]/[下に移動]をタッチする**

ひとつ上に移動するときは [上に移動]、ひとつ下に移動するときは [下に移動] をタッチします。

指定どおりに並び替えが行われます。

一番上が目的地になります。

4 **[完了]→ ⮌ をタップする**

ナビゲーション

回避エリアを設定する

ルート設定する前に、回避したいエリア（場所とその広さ）を設定しておくことができます。

MEMO

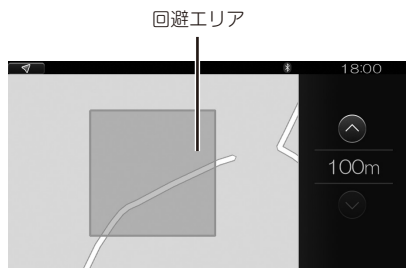
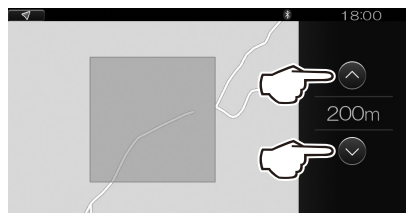
- 回避エリアは､5件まで登録することができます。
- 条件によっては回避エリア内を通行するルートが設定されることがあります｡(例:回避エリア内に目的地を設定した場合や､山道など一本しか道がなく他に回避可能なルートがない場合など)その場合は､経由地を追加するなどして回避したいエリアを通らないルートに設定してください。

現在地画面から、以下のように操作します。

1 地図画面をスクロールし､回避したい地点の中央に十字カーソルを合わせる

大きく移動するときは地図を縮小し、希望の場所に近づいたら拡大するとよいでしょう。

2 [回避]をタッチする

十字カーソルの位置が回避エリアに設定されます。

3 必要に応じて回避エリアの大きさを変更する

回避エリアの一辺を、100m、200m、500m、1km のいずれかに設定できます。

4 ⮌ をタップする

■ 回避エリアを削除するとき

「回避エリアを編集する」（165 ページ）参照

ルート情報を確認する

すでに設定されているルートの情報を確認することができます。

1 →[ナビゲーション]の順にタッチする

［ナビゲーション］メニューが表示されます。

2 [ルート情報]をタッチする

出発地の次のポイントを先頭に、目的地を最後に、出発地から目的地までの各ポイントが表示されます。

ポイントごとに、ポイント間の距離と進行方向が示されます。

ルートを削除する

1 →[ナビゲーション]の順にタッチする

［ナビゲーション］メニューが表示されます。

2 [ルート消去]をタッチする

「ルートを消去します。よろしいですか？」と表示されます。

3 [はい]をタッチする

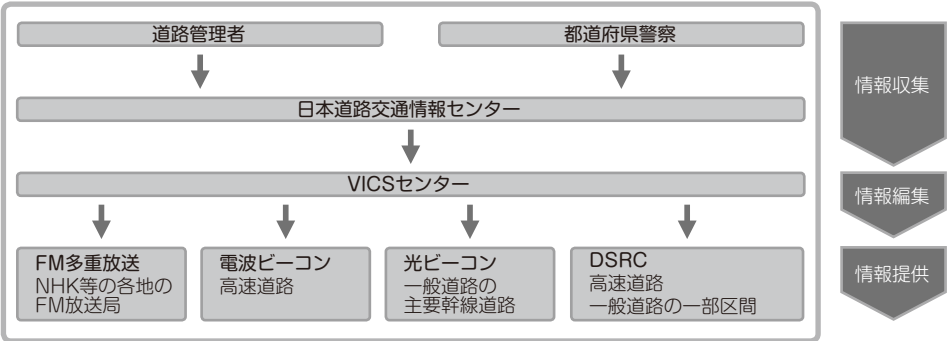
消去を中止するときは［いいえ］をタッチします。

VICS情報の受信

本機では、VICS情報を受信して、交通情報などを見ることができます。

VICSとは

VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、渋滞や事故などの影響による規制情報や、目的地までの所要時間などの道路交通情報を伝えるための通信システムです。

■ VICS情報の流れ

本機は、FM 多重放送と DSRC にのみ対応しています。ビーコン VICS 情報は受信できません。
FM 多重放送と DSRC では、受信できる情報が以下のように異なります。

（○：受信可　×：受信不可）

	FM 多重放送	DSRC
緊急メッセージ	○	○
注意警戒情報	×	○
駐車場情報	○	○
SA･PA情報	○	○
渋滞･旅行時間リンク情報	○	○
事象規制リンク情報	○	○
センターネットワーク障害通知情報	×	○
安全運転支援情報	×	○
多目的情報	×	○
長文読み上げ情報	×	○
電子標識情報	×	○

ご注意

・DSRCを受信するには、DSRC車載器（別売）が必要です。

■ VICS情報の表示形態

VICS 情報には、レベル 1 からレベル 3 までの 3 種類の表示形態があります。
（以下の画面例は、FM 多重放送の場合です。）

- レベル 1：文字表示

本機の画面上に文字で表示されます。

- レベル 2：簡易図形表示

本機の画面上に図形情報として表示されます。

- レベル 3：地図表示

地図画面上に道路交通情報が表示されます。

MEMO

- 文字情報が文字化けしたり、ネットワークの障害で受信できないなどのメッセージが表示されたりすることがありますが、本機の故障ではありません。
- VICS情報は、その表示／非表示を設定することができます。 「VICS表示の設定」（186ページ）参照

文字情報・簡易図形情報を確認する

文字情報（レベル 1）と簡易図形情報（レベル 2）は、［情報］メニューから確認することができます。

「VICS 情報」（146 ページ）参照

地図上に表示されるVICS情報（レベル3）

VICS 情報を受信すると自動的に地図上に表示され、内容が更新されるごとに情報が書き換わります。ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声によっても案内します。

⚠警告	安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。 前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

受信マーク

VICS情報マーク	以下の情報をマークで表示します。 **・交通障害情報** **・交通規制情報** **・駐車場情報、SA／PA情報** *「VICS情報マーク」（このページ）参照*
受信マーク	VICS情報が提供された時刻を表示します。（受信した時刻ではありません。） ルート案内中は、ルート上に存在する自車に近い渋滞情報が時刻の下に表示されます。
渋滞情報 （1km以下のスケールで表示）	渋滞情報を線で表示します。 **・赤色　：渋滞** **・オレンジ色：混雑** **・黄色　：規制** **・緑色　：順調** 200m以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。 渋滞情報の表示のオン／オフを設定することができます。 *「VICS表示の設定」（186ページ）参照*

■ VICS情報マーク

交通障害情報

事故　障害物・路上障害　工事　故障車　作業　凍結

交通規制情報

通行止・閉鎖　速度規制　車線規制　入口制限　徐行　進入禁止
片側交互通行　対面通行　入口閉鎖　大型通行止め　チェーン規制
右左折禁止　右折禁止　左折禁止　直進禁止　その他の規制

駐車場情報・SA ／ PA 情報

満車（赤）　混雑（黄）　空車（青）　閉鎖　不明（黒）　SA／PA満車（赤）
SA／PA混雑（黄）　SA／PA空車（青）　SA／PA閉鎖　SA／PA不明（黒）

その他のマーク

気象　地震　行事　火災

NaviConとナビの連携

NaviConは、スマートフォンから本機の地図を操作したり、スマートフォンで探した目的地を本機に転送するアプリです。数多くの多彩なアプリやWebサイトが連携しており、これらを利用してワンタッチでカーナビの目的地設定ができます。
NaviConをインストールしたスマートフォンをご用意ください。

⚠警告	安全のため、運転者は走行中にスマートフォンの操作をしないでください。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
- NaviConのインストール方法の詳しい説明は、
  NaviConのホームページ(http://navicon.denso.co.jp/user/support/)を参照してください。

準備

NaviConをインストールしたスマートフォンと本機を接続します。

iPhone の場合は、Bluetooth での接続、ケーブルでの接続、いずれでも NaviCon を使用することができます。

Android タイプの場合は、Bluetooth で接続します。

「スマートフォン連携の接続方法」(63 ページ)参照

本機の電源がオンになっていれば、いつでも NaviCon からの操作ができます。

MEMO

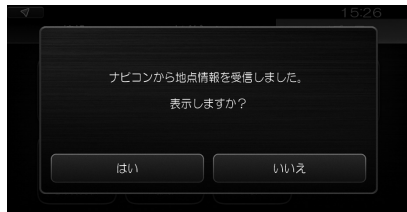
- NaviConの操作方法について詳しくは、
  NaviConのホームページ(http://navicon.denso.co.jp/user/support/)を参照してください。

NaviConから本機の地図を操作する

NaviCon の地図画面を操作して、本機の地図表示を動かします。

1 スマートフォンでNaviConを起動する

2 NaviConの地図画面でスクロールする

本機の画面に、「ナビコンから地点情報を受信しました。表示しますか？」と表示されます。

MEMO

- 全方位モニター画面のときは、メッセージは表示されませんが、別の画面に切り替えると表示されます。

3 [はい]をタッチする

NaviCon の地図と同じ場所を示す地図が、本機にも表示されます。

操作を中止するときは、[いいえ] をタッチします。元の画面に戻ります。

4 NaviConの地図画面でスクロールやスケールの変更を行う

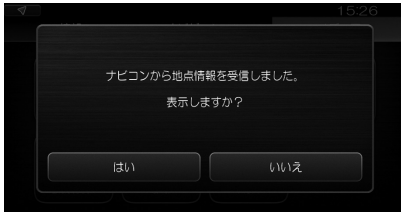
本機の地図画面も同様に動きます。

NaviConから地点情報を転送する

NaviCon から転送された地点を目的地としてルート設定したり、経由地に設定したり、お気に入りに登録したりすることができます。

1 スマートフォンでNaviConを起動する

2 本機が地図画面以外のときにスマートフォンで地図をスクロールする

本機の画面に、「ナビコンから地点情報を受信しました。表示しますか？」と表示されます。

MEMO

- 全方位モニター画面のときは､メッセージは表示されませんが､別の画面に切り替えると表示されます。

3 [はい]をタッチする

NaviCon から転送された地点を示す地図画面に切り替わります。

操作を中止するときは、[いいえ] をタッチします。元の画面に戻ります。

■ 地図画面での操作

NaviCon から転送された地点情報にしたがって、以下の操作ができます。

[目的地]	転送された地点を目的地としてルート探索します。
[回避]	転送された地点を回避エリアに設定します。
[周辺施設]	転送された地点の周辺にある施設を探します。
[登録地]	転送された地点を自宅またはお気に入りとして登録します。
[現在地]	現在地画面に切り替えます。

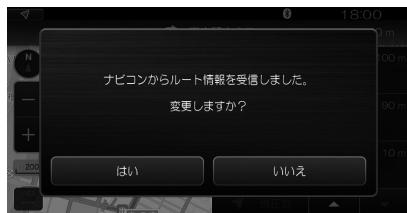
NaviConからルート情報を転送する

NaviCon で設定したルートを本機に転送することができます。

1 スマートフォンでNaviConを起動する

2 NaviConでルート設定する

3 NaviConから本機にルートを送信する

本機の画面に、「ナビコンからルート情報を受信しました。変更しますか？」と表示されます。

4 [はい]をタッチする

案内開始画面に切り替わります。

操作を中止するときは、［いいえ］をタッチします。元の画面に戻ります。

■ 案内開始画面での操作

表示される案内開始画面は、本機でルート探索したときの案内開始画面と同じです。

「案内開始画面」（82 ページ）参照

ナビゲーション

ラジオを聴く

本機は、AM放送、FM放送およびインターネットラジオのひとつであるahaラジオを受信することができます。

FM放送・AM放送を聴く

■ バンドを切り替える

1 ■■■ →［ラジオ］の順にタッチする

2 ［FM1］／［FM2］／［AM1］／［AM2］をタッチする

タッチしたバンドに切り替わります。

■ 自動で放送局を選ぶ

1 希望のバンドを選ぶ

「バンドを切り替える」（このページ）参照

2 ＋／－を、周波数が連続して切り替わるまで押し続ける。

受信可能な放送局が見つかると自動的にその放送局を受信します。

■ 手動で放送局を選ぶ

1 希望のバンドを選ぶ

「バンドを切り替える」（このページ）参照

2 をタッチする

タッチするごとに周波数が切り替わります。

MEMO

・放送局名は、現在の自車位置から自動的に表示されます。

放送局をプリセットする

本機では、各バンドに放送局を 6 局まで登録しておくことができます。登録した局はリストに一覧表示されます。

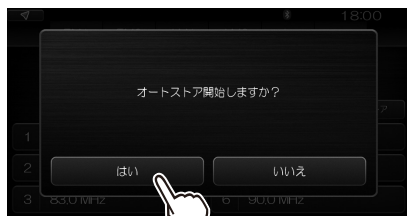
■ リストに自動で登録する

1 **希望のバンドを選ぶ**

「バンドを切り替える」（98 ページ）参照

2 **[オートストア]をタッチする**

「オートストア開始しますか？」と表示されます。

3 **[はい]をタッチする**

受信可能な放送局が、現在のプリセットリストに上書き登録されます。

■ リストに手動で登録する

1 **希望のバンドを選ぶ**

「バンドを切り替える」（98 ページ）参照

2 **希望の放送局を受信する**

3 **リスト内の上書きするチャンネルを、登録が完了するまでタッチし続ける**

■ リストから選局する

希望のバンドを選んだら、リスト内の聴きたい放送局をタッチします。

ahaラジオを聴く

aha ラジオはインターネットラジオのひとつで、過去に放送された番組を聴きなおしたり、すでに聴いた箇所を聴き直したり、といった聴きかたが可能です。

■ 準備

aha ラジオのアプリをインストールしたスマートフォンを準備してください。

iPhone の場合は、ケーブルで本機に接続します。

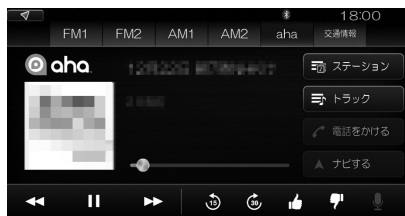
Android タイプの場合は、Bluetooth で接続します。

「スマートフォン連携の接続方法」(63 ページ)参照

■ ahaラジオを聴く

1　スマートフォンでahaラジオのアプリを起動する

2　→[aha]の順にタッチする

現在スマートフォンで受信中の番組が再生されます。

MEMO

- →[ラジオ]→[aha]とタッチしてもahaラジオの受信ができます。他のラジオ放送を聴いていたときは、[aha]をタッチして直接ahaラジオに切り替えることができます。
- スマートフォンでahaラジオのアプリを起動しないで上記の手順2の操作を行うと、スマートフォンの機種によってはスマートフォン側でahaラジオのアプリを起動してよいかを確認するメッセージが表示される場合があります。その場合、起動を許可すると、ahaラジオを受信します。

■ 番組を切り替える

[ステーション]	プリセット／周辺施設リストから放送局を選びます。
[トラック]	現在再生中の番組を放送している局の、他の番組リストから番組を選びます。

■ 番組を操作する

番組によって、できることに制限があります。

◀◀	同じ局のひとつ前の番組に進みます。
❚❚／▶	再生を一時停止／再開します。
▶▶	同じ局の次の番組に進みます。
15	番組を15秒戻します。
30	番組を30秒進めます。
	番組を良く評価します。
	番組を悪く評価します。
	ボイスメモを残します。

■ その他の機能

番組によって、できることに制限があります。

[電話をかける]	番組に番号が存在し、かつ電話がBluetoothで接続されている場合、電話をかけることができます。
[ナビする]	番組に住所などの地点情報が存在する場合、その地点を目的地や経由地に設定できます。

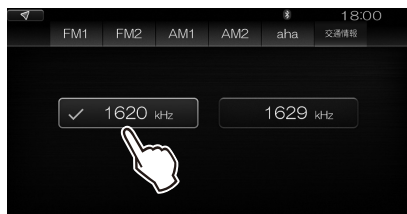
交通情報を聴く

本機は、2つの周波数の交通情報を聴くことができます。

1 ■■■ →[ラジオ]の順にタッチする

2 [交通情報]をタッチする

3 [1620 kHz]または[1629 kHz]を
タッチする

現在受信可能な周波数を選びます。

音楽CDを聴く

本機は、どの画面の状態のときでも、音楽CDを挿入すると自動的に再生が始まります。

本機で使用できるＣＤについて

ご注意

- 次のようなディスクは、本機に挿入すると、傷が付いたり、取り出せなくなって本機の故障の原因となることがありますので、使用しないでください。
  - 円形以外のディスク
  - シールなどを貼り付けたディスク
  - セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したディスクや、はがした跡があるディスク
- ディスクにラベルを貼ったり、ボールペンなどで文字を書き込まないでください。
- ディスクは、次のような場所に保管しないでください。変形したり、再生できなくなることがあります。
  - 直射日光の当たる場所、とくに、直射日光のもとで窓を閉め切った自動車内
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 暖房器具からの熱に直接さらされている場所

■ 本機で再生できるCD

以下の CD は、本機で再生することができます。

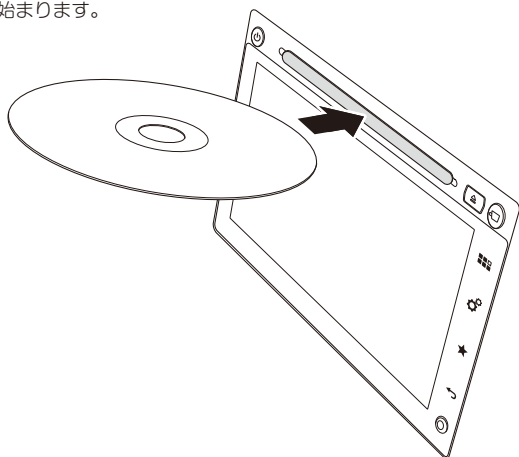
- COMPACT disc DIGITAL AUDIOが付いている市販の音楽CD
- CDレコーダーで録音したCD-R、CD-RWディスク
- CD-TEXTディスク
- コンピューターで、音楽CDとして正しいフォーマットで録音したディスク
- DTS CD
- ビデオCD
- スーパービデオCD

■ 本機で再生できないCD

以下の CD は、本機で再生できません。

- Dual Disc（ただし、DVD面は、再生できます。）
- 8cm CD（挿入すると、自動的に排出されます。）
- スーパーオーディオCD
- Photo CD
- コピーコントロールCD
- HDCDフォーマットで記録されたCD

再生を始める／終了する

ディスク挿入口に、音楽 CD のラベル面を上にして挿入します。
途中まで挿入すると、自動的に引き込まれ、再生が始まります。

■ 再生可能なフォーマット

本機で再生可能な CD のフォーマットは以下のとおりです。

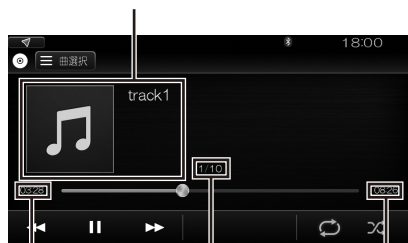
- Audio：MP3、AAC、WMA
- Video Codec：MPEG-4 AVC、H.264、WMV9（VC-1）
- Video container：MP4、WMV

MP4 は、MPEG-4 AVC または H.264 codec を含むことができます。また、WMV は WMV9 のためのフォーマットです。

MEMO

- 動画ディスクの再生については*「USBメモリー（動画）の場合」（125ページ）参照*

■ 再生中の画面

再生中のCDや、MP3／WMA／AACディスクの情報

トラック再生経過時間

再生中のトラック番号/総トラック数

再生中のトラックの総演奏時間

上の画面は音楽 CD の場合の例です。

MP3 ／ WMA ／ AAC ディスクの場合については*「USB メモリー（音楽）の場合」（123 ページ）参照*

MEMO

- 再生中に地図画面などに切り替えるには、■■■をタップしてトップメニューを表示し、そこから希望の操作をします。

  例：現在地の地図に切り替える

  ■■■ →［ナビゲーション］→［現在地地図］の順、

  または ◁ をタッチする

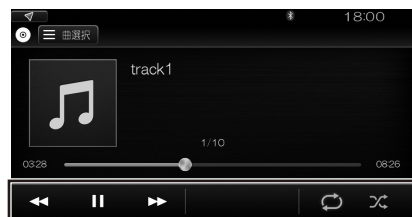
- 再び音楽CD再生中の画面に戻るには

  ■■■ →［ディスク］の順にタッチする

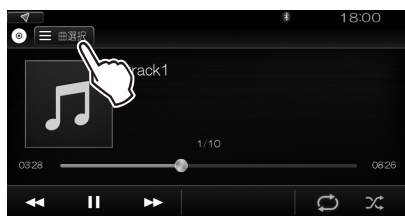
■ ディスクを取り出す

1 **⏏ を押す**

音楽ディスクが、ディスク挿入口から出てきます。途中まで出てきたら、手で引き出してください。

再生中の操作

◀◀	タッチするとトラックの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のトラックに移動します。 タッチし続けると巻き戻しします。
❚❚／▶	再生を一時停止／再開します。
▶▶	タッチすると次のトラックに移動します。 タッチし続けると早送りします。
（リピート）	全曲のリピート再生中であることを示します。 一度タッチすると数字の「1」が表示され、再生中のトラックだけをリピート再生します。中止するにはもう一度タッチします。
（シャッフル）	全曲を、再生順を変えてランダム再生します。

リストから曲を選ぶ

1 ［曲選択］をタッチする

CD 内のトラックが一覧表示されます。

2 希望のトラックをタッチする

選んだ曲の再生が始まります。

DVDビデオを見る

⚠警告 運転者がビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

本機で使用できるDVDについて

ご注意

- 次のようなディスクは、本機に挿入すると、傷が付いたり、取り出せなくなって本機の故障の原因となることがありますので、使用しないでください。
  - 円形以外のディスク
  - シールなどを貼り付けたディスク
  - セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したディスクや、はがした跡があるディスク
- ディスクにラベルを貼ったり、ボールペンなどで文字を書き込まないでください。
- ディスクは、次のような場所に保管しないでください。変形したり、再生できなくなることがあります。
  - 直射日光の当たる場所、とくに、直射日光のもとで窓を閉め切った自動車内
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 暖房器具からの熱に直接さらされている場所

■ 本機で再生できるDVD

以下の DVD は、本機で再生することができます。

- DVD VIDEOが付いた市販のDVDで、リージョン番号が「ALL」または「2」のもの
- DVDレコーダーで録画したDVD+R、DVD-Rディスク
- Dual DiscのDVD面

■ 本機で再生できないDVD

以下の DVD は、本機で再生できません。

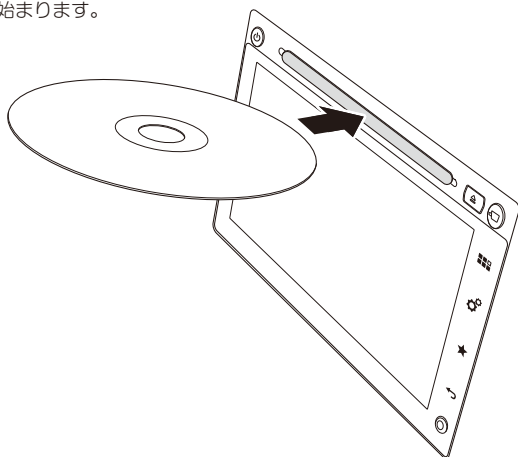
- リージョン番号が「ALL」および「２」以外のDVD
- DVD-RAM
- DVDオーディオディスク

オーディオ・ビデオ

再生を始める

ご注意

- 走行中は、安全のために音声のみ聴くことができます。

ディスク挿入口に、DVD のラベル面を上にして挿入します。
途中まで挿入すると、自動的に引き込まれ、再生が始まります。

■ 再生中の画面(操作画面と全画面表示)

再生中の動画の上に、再生制御のためのボタンなどが重なって表示されています(操作画面)。

5 秒後、動画が全画面表示されます。

全画面表示のときに画面をタッチすると、再び操作画面になり、5 秒後自動的に全画面表示に戻ります。

MEMO

・再生中に地図画面などに切り替えるには、をタップしてトップメニューを表示し、そこから希望の操作をします。

例:現在地の地図に切り替える

→[ナビゲーション]→[現在地地図]の順、

または をタッチする

・再びDVD再生中の画面に戻るには

→[ディスク]の順にタッチする

再生中の操作

◀◀ (先頭へ)	ひとつ前のチャプターに戻ります。
◀◀	巻き戻しします。タッチするごとに、2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、2倍速･･･と切り替わります。通常の再生に戻すには、▶をタッチします。
❚❚／▶	再生を一時停止／再開します。
■	再生を停止します。
▶▶	早送りします。タッチするごとに、2倍速、4倍速、8倍速、16倍速、2倍速･･･と切り替わります。通常の再生に戻すには、▶をタッチします。
▶▶❙	次のチャプターに進みます。

操作メニューを表示する

■ ディスクのトップメニューを表示する

1　画面をタッチする

操作画面が表示されます。

2　[トップメニュー]をタッチする

トップメニューは、本機の画面をタッチして操作できます。

■ 再生中のタイトルのメニューを表示する

ディスクに2つ以上のタイトルが記録されているとき、再生中のタイトルのメニューを表示することができます。

1　画面をタッチする

操作画面が表示されます。

2　[メニュー]をタッチする

メニューは、本機の画面をタッチして操作できます。

タイトル番号／チャプター番号を指定する

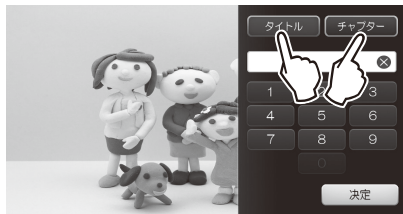
タイトル番号やチャプター番号を数字で指定して、そのタイトル／チャプターに切り替えることができます。

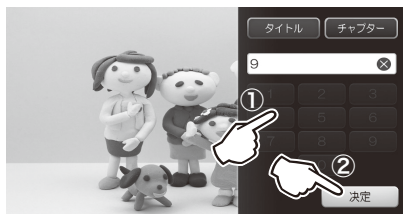
1　画面をタッチする

操作画面が表示されます。

2　[サーチ]をタッチする

3　[タイトル]／[チャプター]をタッチする

タイトルを指定するときは［タイトル］を、チャプターを指定するときは［チャプター］をタッチします。

4　タイトル番号またはチャプター番号をタッチ→[決定]をタッチする

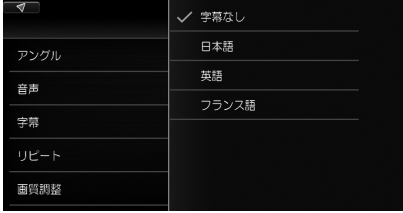
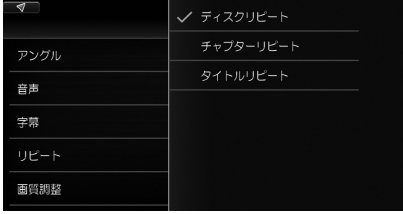
入力できない数字はグレーで表示されます。

指定したタイトルやチャプターに切り替わります。

オーディオ・ビデオ

字幕の言語などを切り替える

1 画面をタッチする

操作画面が表示されます。

2 [設定]をタッチする

［設定］画面が表示されます。

［アングル］／［音声］／［字幕］／［リピート］で、以下の設定ができます。

項 目	説 明
[アングル]	複数のアングルが記録されているDVDで、希望のアングルを選びます。
[音声]	複数の言語が記録されているDVDで、聴きたい言語を選びます。

項目	説明
[字幕]	複数の字幕が記録されているDVDで、希望の字幕言語を選びます。
[リピート]	リピート再生の方法を選びます。 [ディスクリピート]：　ディスク全体をリピート再生します。 [チャプターリピート]：再生中のチャプターをリピート再生します。 [タイトルリピート]：　再生中のタイトルをリピート再生します。

画質を調整する

1 **画面をタッチする**

操作画面が表示されます。

2 **[設定]をタッチする**

［設定］画面が表示されます。

3 **[画質調整]をタッチする**

［明るさ］／［コントラスト］／［彩度］／［色相］の調整が可能になります。

［−］／［＋］をタッチして、以下の調整が可能です。
それぞれ、0 から 20 の範囲で調整できます。
タッチし続けると、連続して数値が変化します。

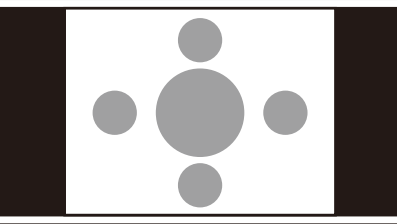
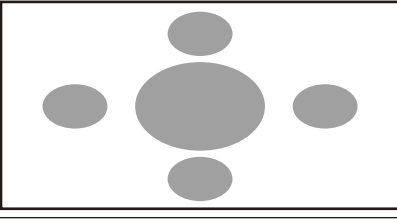
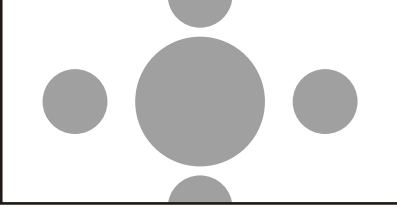
［明るさ］	動画再生画面の明るさを調整します。
［コントラスト］	画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。
［彩度］	画面の色の鮮やかさを調整します。
［色相］	画面の色合いを調整します。

画面サイズを切り替える

1 **画面をタッチする**

操作画面が表示されます。

2 **[設定]をタッチする**

［設定］画面が表示されたら、上にスクロールします。

3 **[ワイド]をタッチする**

4 **[ノーマル]／[フル]／[ズーム]をタッチする**

それぞれ、以下のように画面サイズが切り替わります。

［ノーマル］		映像の縦横の比率を変えずに画面に表示します。画面に余った部分がある場合は黒く表示されます。
［フル］		映像を画面いっぱいに表示します。 映像と画面の縦横の比率が異なる場合、映像の比率が異なって表示されます。
［ズーム］		映像を横方向いっぱいに表示します。 映像と画面の縦横の比率が異なる場合、画面の一部が途切れて表示されます。 DVDの画像の横と縦の比率が16:9の場合は、［ノーマル］を［ズーム］に切り替えても画面は変化しません。

テレビを見る

⚠警告	運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

ご注意

・ 走行中は、安全のために音声のみ聴くことができます。

チャンネルをプリセットする

本機でテレビを見るには、まずチャンネルをプリセットする必要があります。
チャンネルは、以下の 3 つの場所ごとにプリセットすることができます。
以下の例をご参考にプリセットしてください。

カテゴリー	チャンネルプリセットする場所
ホーム	自宅のある住所など、通常テレビを視聴する場所で、手動でチャンネルをプリセットします。
ドライブ	ドライブなどでの立ち寄り先など、一時的にテレビを視聴する場所で、手動でチャンネルをプリセットします。
エリア	現在地で受信可能なチャンネルを自動でプリセットします。移動に伴い電波が弱くなった放送局があると、自動的にその系列局に切り替わります。

エリアチャンネルは自動でプリセットされますが、更新のタイミングにより、チャンネルをタッチしても受信できない場合があります。その場合は、チャンネルが更新されるまでしばらくお待ちください。

■ 初めてテレビを使用するとき

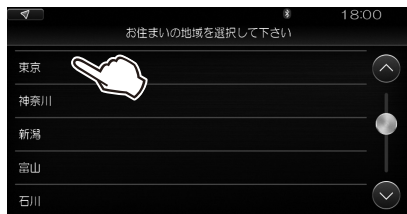
初めてテレビを使用する場合、自動的にチャンネルをプリセットする状態になります。

ここでは、[ホーム] でチャンネルをプリセットする手順を説明します。

1 ⁝⁝⁝ →[テレビ]の順にタッチする

「お住まいの地域を選択して下さい」と表示されます。

2 画面を上下にスクロールし、プリセットする地域をタッチする

例：東京

3 [ホーム]→[設定]の順にタッチする

4 [CHスキャン]をタッチする

「ホームチャンネルスキャンを実行しますか」と表示されます。

5 [はい]をタッチする

チャンネルスキャン実行中は、以下の画面が表示されます。

MEMO

・チャンネルスキャンを中断するときは、[中断]をタッチします。

6 チャンネルスキャンが終了したら[完了]をタッチする

スキャンを中断した場合は、それまでに受信したチャンネルは登録されません。

プリセットされたチャンネルの番組が表示され、5秒後に以下の画面に切り替わります。

この画面で選局すると、番組の全画面表示に切り替わります。全画面表示のときに画面をタッチすると、上の画面に戻り、チャンネルを切り替えるなどいろいろな操作ができます。

■ [ホーム]のプリセットチャンネルを変更する

1 →[テレビ]の順にタッチする

2 [ホーム]→[設定]の順にタッチする

3 [受信エリア]をタッチする

「お住まいの地域を選択して下さい」と表示されます。

続いて、「初めてテレビを使用するとき」の手順2以降の操作を行ってください。

■ [ドライブ]/[エリア]でチャンネルをプリセットする

[ドライブ]でチャンネルをプリセットする手順も[ホーム]の場合と同様です。ただし、[ドライブ]の場合は地域を設定する操作はありません。

[エリア]でチャンネルをプリセットする場合は、上記手順5の[CHスキャン]をタッチする操作はありません。[エリア]では、そのときの自車の位置で自動的にチャンネルスキャンが実行されます。

受信中の操作

①	チャンネルリスト	希望のチャンネルをタッチして切り替えます。
②	[+CH−]	[+]をタッチして次のチャンネル、[−]をタッチしてひとつ前のチャンネルに切り替えます。 [+]をタッチし続けると現在視聴中のチャンネルより上の周波数の受信可能なチャンネルを、[−]をタッチし続けると現在視聴中のチャンネルより下の周波数の受信可能なチャンネルを探します。
③	[ワンセグ]／[フルセグ]／[自動]	電波の受信状況に応じて、ワンセグまたはフルセグの見やすいほうを選ぶことができます。[自動]では、本機が自動的にワンセグ／フルセグを切り替えます。 ⑥[設定]をタッチすると表示される[設定]画面でも、[受信モード]をタッチして切り替え可能です。
④	[番組表]	番組表を表示します。
⑤	[番組詳細]	番組の詳細情報を表示します。
⑥	[設定]	テレビ受信に関する[設定]画面を表示します。

受信モードを設定する

［設定］メニューから、ワンセグ／フルセグ／自動の切り替えができます。

1 画面をタッチする

2 ［設定］をタッチする

［設定］画面が表示されます。

3 ［受信モード］をタッチする

4 ［ワンセグ］／［フルセグ］／［自動］をタッチする

映像／音声／字幕／文字スーパーを設定する

1 **画面をタッチする**

2 **[設定]をタッチする**

[設定］画面が表示されます。

[映像］／［音声］／［字幕］／［文字スーパー］で、以下の設定ができます。

[文字スーパー］は、画面を上にスクロールすると表示されます。

項目	説明
[映像]	複数の映像がある場合、希望の映像に切り替えます。
[音声]	複数の音声がある場合、希望の音声に切り替えます。
[字幕]	番組に字幕があるとき、字幕を表示するかどうかを選びます。 表示する場合は、[字幕1]／[字幕2]のいずれかを選びます。 表示しない場合は[字幕なし]を選びます。
[文字スーパー]	番組に字幕があるとき、希望の言語に切り替えます。

自動で系列局をサーチする

走行中、テレビの受信状態が悪くなったときに、受信中の放送局の系列局を自動で探して番組を切り替えることができます。

1 **画面をタッチする**

2 **[設定]をタッチする**

［設定］画面が表示されたら、上にスクロールします。

3 **[自動系列局サーチ]の[ON]／[OFF]をタッチして切り替える**

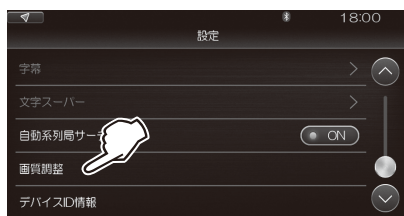
自動で系列局をサーチするときは［ON］に、しないときは［OFF］に設定します。

画質を調整する

1 **画面をタッチする**

2 **[設定]をタッチする**

[設定]画面が表示されたら、上にスクロールします。

3 **[画質調整]をタッチする**

[明るさ]/[コントラスト]/[彩度]/[色相]の調整が可能になります。

[−]/[+]をタッチして、以下の調整が可能です。
それぞれ、0 から 20 の範囲で調整できます。
タッチし続けると、連続して数値が変化します。

[明るさ]	動画再生画面の明るさを調整します。
[コントラスト]	画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。
[彩度]	画面の色の鮮やかさを調整します。
[色相]	画面の色合いを調整します。

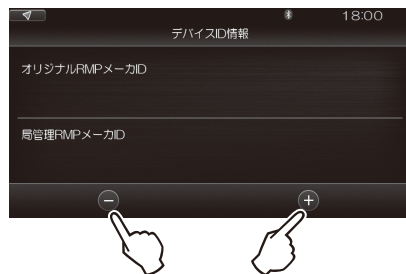
本機のテレビ装置についての情報を見る

1 画面をタッチする

2 [設定]をタッチする

［設定］画面が表示されたら、上にスクロールします。

3 [デバイスID情報]をタッチする

4 [＋]／[−]でチャンネルを切り替え、情報を見る

本機のテレビ受信機のデバイス ID が表示されます。

MEMO

・この機能は、とくにデバイスIDを参照したい場合のために設けられているもので、通常使用するものではありません。

いろいろなメディアを再生する

⚠警告 運転者が動画を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

本機で再生することのできるメディア

本機では、以下のメディアの音楽や動画も再生することができます。
再生できるメディアと、本機との接続方法は、以下のとおりです。

メディア（再生内容）	接続方法
USBメモリー(音楽)	･車両のUSBコネクターに接続
USBメモリー(動画)	･車両のUSBコネクターに接続
iPod/iPhone(音楽)	･車両のUSBコネクターにケーブル接続 ･Bluetooth接続
Bluetooth機器(音楽)	･Bluetooth接続

MEMO

- USBコネクターとのケーブル接続について *「スマートフォン連携の接続方法」(63ページ)参照*
- Bluetooth接続について *「Bluetooth機器の登録」(59ページ)参照*

■ 再生可能なフォーマット

本機で再生可能な音楽と映像のフォーマットは、以下のとおりです。

音楽	MP3､WMA､AAC
動画	MP4､H.264(MP4 AVC)､WMV

メディア共通の操作

各メディアの再生中あるいは停止中、画面の下部に以下の操作ボタン（アイコン）が表示されます。
（メディアの内容によっては、表示されないものもあります。）

それぞれのはたらきは、以下のとおりです。

ボタン	はたらき
◀◀	タッチするとトラックの先頭に戻ります。さらにタッチすると前のトラックに移動します。 タッチし続けると、巻き戻しになります。
▶	再生を開始します。 再生中は ❙❙ に変わります。 ❙❙ をタッチすると一時停止し、▶ に戻ります。
▶▶	次のトラックに進みます。 タッチし続けると、早送りになります。
（フォルダ↑）	ひとつ前のフォルダに戻り、そのフォルダ内の最初の曲（動画）を再生します。 「曲選択」で曲を選択した場合は、フォルダの表示はされません。
（フォルダ↓）	次のフォルダに進み、そのフォルダ内の最初の曲（動画）を再生します。 「曲選択」で曲を選択した場合は、フォルダの表示はされません。
（リピート）	全曲（全動画）のリピート再生中であることを示します。 一度タッチすると数字の「1」が表示され、再生中のトラックだけをリピート再生します。フォルダがある場合は、さらにタッチするとフォルダアイコンが表示され、再生中のフォルダをリピート再生します。中止するにはもう一度タッチします。 メディアが USB メモリー（音楽／動画）の場合： ［曲選択］で「曲（ファイル）」を選択した場合は全曲（全ファイル）リピート／1 曲（1 ファイル）リピートを選択します。 ［曲選択］で「フォルダ」を選択した場合はフォルダリピート／1 曲リピートを選択します。
（ランダム）	全曲（全動画）を、再生順を変えてランダム再生します。 メディアが USB メモリー（音楽／動画）の場合： ［曲選択］で「曲（ファイル）」を選択した場合は全曲（全ファイル）ランダム再生のオン／オフを選択します。 ［曲選択］で「フォルダ」を選択した場合はフォルダ内ランダム再生のオン／オフを選択します。

USBメモリー(音楽)の場合

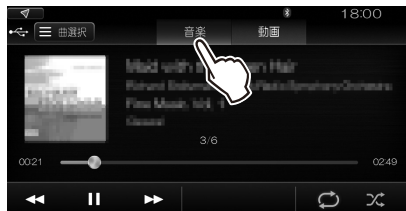
パソコンで編集して USB メモリーに記録した MP3、WMA または AAC 形式の音楽ファイルを再生します。

ご注意

- USBメモリーを車内に放置しないでください。特に炎天下など、車内が高温になり、USBメモリーの故障の原因となることがあります。
- 接続中のUSBメモリーの上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。USBメモリーの故障の原因となることがあります。

1 USBメモリーを車両のUSBコネクターに接続する

2 → [USB/iPod] の順にタッチする

3 [音楽] をタッチする

■ 再生中の画面

MEMO

- USBメモリーに音楽ファイルと動画ファイルが混在している場合は、[音楽] をタッチしてください。

■ リストから曲を選ぶ

1 **[曲選択]をタッチする**

2 **[曲]／[フォルダ]をタッチする**

［曲］をタッチすると、USB メモリー内の全曲が一覧表示されます。

手順 4 に進んでください。

［フォルダ］をタッチすると、USB メモリー内にフォルダを作ってある場合に、フォルダ名が一覧表示されます。

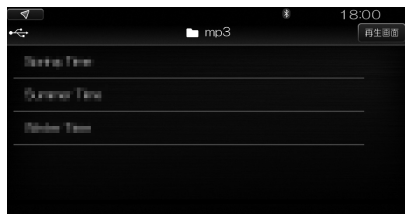
手順 3 に進んでください。

例：［フォルダ］をタッチした場合

MEMO

・［再生画面］をタッチすると、現在再生中の再生画面に戻ります。

3 **フォルダ名をタッチする**

そのフォルダ内の曲名が一覧表示されます。

4 **聴きたい曲名をタッチする**

再生が始まります。

USBメモリー(動画)の場合

パソコンで編集してUSBメモリーに記録したMP4、H.264(MP4 AVC)またはWMV形式の動画ファイルを再生します。

ご注意

・ 走行中は、安全のために音声のみ聴くことができます。

1 USBメモリーを車両のUSBコネクターに接続する

2 ▦ →[USB/iPod]の順にタッチする

3 [動画]をタッチする

■ 再生中の画面

MEMO

・ USBメモリーに音楽ファイルと動画ファイルが混在している場合は、[動画]をタッチしてください。

■ リストから動画を選ぶ

1 [曲選択]をタッチする

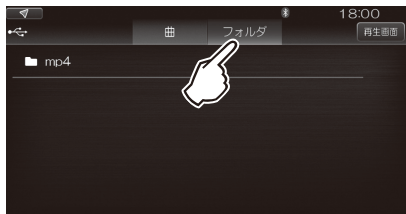
2 [ファイル]／[フォルダ]をタッチする

[ファイル] をタッチすると、USB メモリー内の全動画ファイルが一覧表示されます。

手順 4 に進んでください。

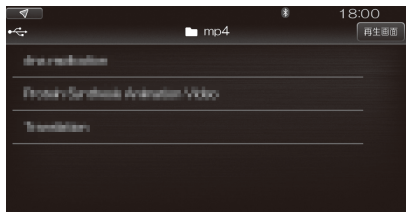
[フォルダ] をタッチすると、USB メモリー内にフォルダを作ってある場合に、フォルダ名が一覧表示されます。

手順 3 に進んでください。

例：[フォルダ] をタッチした場合

MEMO

・[再生画面]をタッチすると、現在再生中の再生画面に戻ります。

3 フォルダ名をタッチする

そのフォルダ内のファイル名が一覧表示されます。

4 見たいファイル名をタッチする

再生が始まります。

■ 画面を拡大する／全画面表示にする

1 [全画面]をタッチする

再生画面が拡大されます。

操作ボタン付きの全画面表示になります。

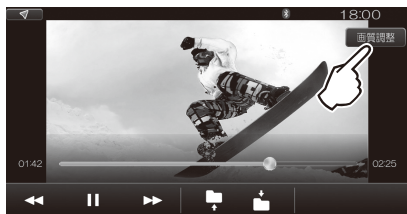
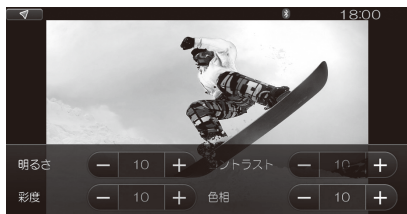
5 秒経過すると、操作ボタンが消え、動画だけの全画面表示になります。この画面をもう一度タッチすると、操作ボタンが表示されます。

■ 画質を調整する

現在再生中の動画の画質を調整することができます。

1 [全画面]をタッチする

画面が拡大表示されます。

2 [画質調整]をタッチする

[明るさ] ／ [コントラスト] ／ [彩度] ／ [色相] の調整が可能になります。

[−] ／ [+] をタッチして、以下の調整が可能です。

それぞれ、0から20の範囲で調整できます。

タッチし続けると、連続して数値が変化します。

[明るさ]	動画再生画面の明るさを調整します。
[コントラスト]	画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。
[彩度]	画面の色の鮮やかさを調整します。
[色相]	画面の色合いを調整します。

3 ⮌ をタップする

拡大画面に戻ります。

iPod／iPhoneの場合

本機に接続した iPod ／ iPhone の音楽を再生し、車両のスピーカーで聴くことができます。

ご注意

- iPod、iPhoneや接続ケーブルを車内に放置しないでください。特に炎天下など、車内が高温になり、iPod／iPhoneやケーブルが変形･変色したり、それらの故障の原因となることがあります。
- 接続中のiPodやiPhoneの上に物を乗せたり、強い力を加えたりしないでください。iPod／iPhoneの故障の原因となることがあります。
- 車のエンジンスイッチをオフにした後は、必ずiPod／iPhoneを取り外してください。接続したままではiPod／iPhoneの電源が切れない場合があるため、iPod／iPhoneの電源を消耗するおそれがあります。
- iPod／iPhoneの動作については、すべてを保証するものではありません。
- 本機と接続するときは、iPod／iPhoneのヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- iPod／iPhoneの機種やソフトウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。
- ビデオファイルのみ保存している場合、「ファイルが見つかりませんでした」と表示されます。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機からiPod／iPhoneを取り外して再度接続してください。
- iPod／iPhoneが操作不能になった場合は、iPod／iPhone本体をリセットし、再度接続してください。
- リセット方法の例

  iPodの場合：
  「センター」ボタンと「メニュー」ボタンをAppleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  iPod touchの場合：
  「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Appleのロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  iPodのリセット方法は、iPodの取扱説明書などで確認してください。
  iPodをリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。

1 **iPod／iPhoneを車両のUSBコネクターに接続する**

2 **→［USB/iPod］の順にタッチする**

■ 再生中の画面

■ リストから曲を選ぶ

1 **[曲選択]をタッチする**

2 **表示するリストを選ぶ**

タッチして、リストの種類を切り替える

リストの種類（3項目まで表示）

リストの種類によって、以下の選択ができます。
ただし、機種によっては表示されない項目があります。

[プレイリスト]	プレイリストを作成してある場合、プレイリストが一覧表示されます。希望のプレイリストをタッチすると、そのプレイリストに登録された曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[アーティスト]	アーティスト名が一覧表示されます。希望のアーティスト名をタッチすると、そのアーティストの作品が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[曲]	全曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチします。
[アルバム]	曲がアルバムごとに分類されている場合、アルバムのタイトルが一覧表示されます。希望のタイトルをタッチすると、そのアルバムに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[ジャンル]	曲がジャンルごとに分類されている場合、ジャンル名が一覧表示されます。希望のジャンルをタッチすると、そのジャンルに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[コンピレーション]	特定の意図に基づいて編集されたアルバム（トリビュートなど）がある場合、それらのアルバムのタイトルが一覧表示されます。希望のタイトルをタッチすると、そのアルバムに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[作曲者]	各曲の作曲者が一覧表示されます。希望の作曲者名をタッチすると、その作品が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[ポッドキャスト]	インターネットラジオ、インターネットテレビの一種で、接続した機種が受信可能な場合に表示されます。聴きたいポッドキャストをタッチしてください。
[オーディオブック]	書籍などの朗読を録音したものです。接続した機種が受信可能な場合に表示されます。聴きたいオーディオブックをタッチしてください。

Bluetooth機器の場合

本機に接続（登録）した Bluetooth 機器の音楽を再生し、車両のスピーカーで聴くことができます。

ご注意

- Bluetooth機器を車内に放置しないでください。特に炎天下など、車内が高温になり、Bluetooth機器が変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

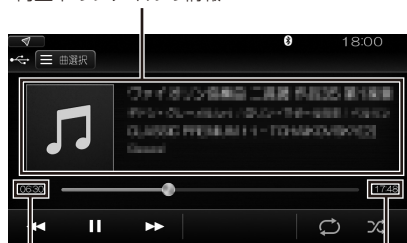
MEMO

- Bluetooth方式に対応しているオーディオ機器をお使いください。ただし、Bluetooth機器の種類によっては、ご利用になれない場合や、利用できる機能に制限がある場合があります。
- Bluetooth機器の収納場所、本機との距離によっては、音楽を再生できなかったり、音飛びが発生したりする場合があります。できるだけ通信状態のよい場所においてご利用ください。
- Bluetoothオーディオ対応のスマートフォンや携帯電話を使用して電話機能やオンライン機能を実行している場合は、再生音は聴こえません。
- Bluetoothオーディオ機器について詳しくは、それぞれに付属の取扱説明書をご覧ください。

1 Bluetooth機器を接続する

2 →[Bluetooth]の順にタッチする

■ 再生中の画面

再生中のファイルの情報

ファイル再生経過時間

再生中のファイルの総再生時間

■ リストから曲を選ぶ

MEMO

- 機種によっては、リストからの曲の選択ができない場合があります。

1 [曲選択]をタッチする

2 表示するリストを選ぶ

タッチして、リストの種類を切り替える

リストの種類（3項目まで表示）

オーディオ・ビデオ

リストの種類によって、以下の選択ができます。
ご使用の Bluetooth 機器によって、リストの種類は異なります。

[プレイリスト]	プレイリストを作成してある場合、プレイリストが一覧表示されます。希望のプレイリストをタッチすると、そのプレイリストに登録された曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[アーティスト]	アーティスト名が一覧表示されます。希望のアーティスト名をタッチすると、そのアーティストの作品が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[曲]	全曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチします。
[アルバム]	曲がアルバムごとに分類されている場合、アルバムのタイトルが一覧表示されます。希望のタイトルをタッチすると、そのアルバムに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[ジャンル]	曲がジャンルごとに分類されている場合、ジャンル名が一覧表示されます。希望のジャンルをタッチすると、そのジャンルに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[コンピレーション]	特定の意図に基づいて編集されたアルバム(トリビュートなど)がある場合、それらのアルバムのタイトルが一覧表示されます。希望のタイトルをタッチすると、そのアルバムに含まれる曲が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。
[作曲者]	各曲の作曲者が一覧表示されます。希望の作曲者名をタッチすると、その作品が一覧表示されます。聴きたい曲をタッチしてください。

外部機器(AUX)を再生する

本機のAUX端子に市販のポータブルオーディオ機器やビデオ機器を接続して、その音楽や動画を本機で楽しむことができます。

⚠警告	運転者が映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。

ご注意

- 接続する外部機器を車内に放置しないでください。特に炎天下など、車内が高温になり、外部機器が変形・変色したり、故障の原因となることがあります。

外部機器を接続する

■ 準備

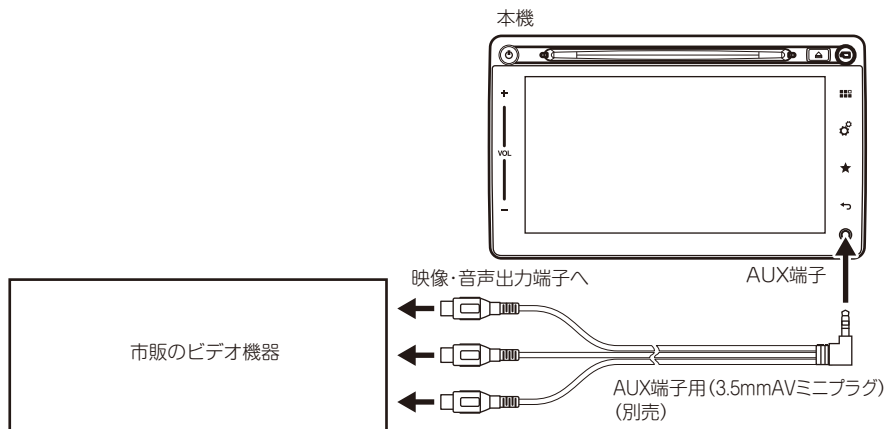
本機に外部機器を接続するために、以下のケーブルが必要です。

- **音楽を聴く場合**

  市販の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルをご使用ください。

- **動画を見る場合**

  別売の接続ケーブル（スマートフォン連携ナビゲーション用）の AUX 端子用（3.5mmAV ミニプラグ）をご使用ください。このケーブル以外をご使用になると、正常に動作しないことがあります。

■ 映像を見る場合の接続例

MEMO

- 接続する外部機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。
- 本機のAUX端子には、3.5mmステレオAVミニプラグを接続することができます。
- 接続する外部機器の電源は、機器に付属のバッテリーをお使いください。車両のアクセサリーソケットで充電しながら使用すると、雑音が出ることがあります。
- 外部機器からの出力信号は、本機にアナログで入力されます。

外部機器の音楽を聴く

1 外部機器を接続する

2 ■ →[AUX]の順にタッチする

3 [音楽]をタッチする

4 外部機器で再生を始める

MEMO

- 音量の調節は本機でできます。
  それ以外の操作は、外部機器で行ってください。

外部機器の動画を再生する

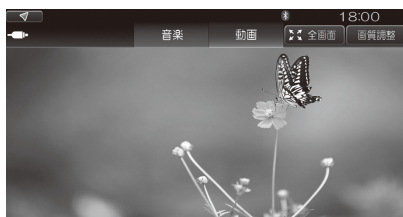
ご注意

- 走行中は、安全のために音声のみ聴くことができます。

1 外部機器を接続する

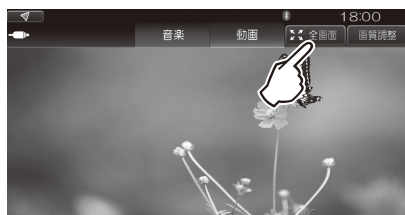
2 ■ →[AUX]の順にタッチする

3 [動画]をタッチする

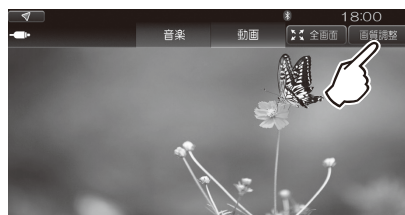
4 外部機器で再生を始める

MEMO

- 音量の調節は本機でできます。
  それ以外の操作は、外部機器で行ってください。

■ 全画面表示にする

1 **[全画面]をタッチする**

もう一度画面をタッチすると、元に戻ります。

■ 画質を調整する

1 **[画質調整]をタッチする**

[明るさ] ／ [コントラスト] ／ [彩度] ／ [色相] の調整が可能になります。

2 [−] ／ [+] をタッチして、以下の調整が可能です。

それぞれ、0 から 20 の範囲で調整できます。

タッチし続けると、連続して数値が変化します。

[明るさ]	動画再生画面の明るさを調整します。
[コントラスト]	画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。
[彩度]	画面の色の鮮やかさを調整します。
[色相]	画面の色合いを調整します。

3 **⮌ をタップする**

電話

本機と携帯電話やスマートフォンを接続すると、電話の発着信ができます。
ハンズフリー通話、プライベート通話が可能です。

⚠注意	安全のため、走行中の電話はなるべく避けてください。どうしても必要な場合は、いったん安全な場所に駐車するか、周囲の安全を確認してから電話の発着信を行ってください。

ご注意

・携帯電話などを車の室内に放置しないでください。炎天下などで室内が高温になると、故障の原因となります。

MEMO

・ハンズフリー通話では、相手の声が車両のスピーカーを通して聴こえます。
・プライベート通話は、携帯電話などで通常通話するのと同じ通話方法です。

携帯電話と本機を接続する

携帯電話、スマートフォンと本機とは、Bluetooth で接続します。

Bluetooth に対応した携帯電話、スマートフォンを準備しください。

1 ■■■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [Bluetooth設定]をタッチする

[Bluetooth デバイス設定画面]が表示されます。

3 [デバイス検索]をタッチする

本機が周囲の Bluetooth 対応機器の検索を開始します。

Bluetooth 対応機器が見つかると、その機器の名称とともに [NEW] と表示されます。

4 表示されたBluetooth機器名をタッチする

どの機能を利用するかを選択する画面が表示されます。

MEMO

・表示された機器が希望のものと異なる場合は［検索結果クリア］をタッチして、操作をやり直してください。

5 利用したい機能の[ON]／[OFF]をタッチする

タッチするごとに [ON] ／ [OFF] が切り替わります。

ご注意

- [ハンズフリー]は必ず[ON]にしてください。
- iPhoneの場合、[音楽]と[スマートフォン連携]を同時に[ON]にすることはできません。

6 [上記の設定で接続]をタッチする

7 [確認]をタッチする

Bluetooth 対応機器によっては、機器側で、表示されたパスキーの確認操作が必要です。

登録（ペアリング）が完了すると、機器の名称と、利用する機能が表示されます。

(電話アイコン)	ハンズフリー電話
(音符アイコン)	音楽再生
app	スマートフォン連携

選択した機能のアイコンが青くなっていることをご確認ください。

MEMO

- 一度登録をした機器は、Bluetoothをオフにしたり本機の使用をいったん終了したりしても、→[Bluetooth設定]でその名前が一覧に表示されます。
  接続状態になっていないときは、[デバイス検索]をタッチし、機器名称に[Found]と表示されたら、上記の手順4～6の操作をしてください。
- 本機の名称は、「My Car」（初期値）に設定されています。Bluetooth対応機器側で、この名称が表示されることがあります。
- 本機の名称は変更可能です。
  上記の画面で[名称設定]をタッチし、操作を進めてください。
- Bluetooth対応機器は、10台まで登録できます。11台目を登録するには、すでに登録されている機器を削除する必要があります。

情報

アドレス帳を本機に転送する

携帯電話やスマートフォンに登録されているアドレス帳の情報を本機に転送します。

転送したアドレス帳から相手を検索して電話をかけることができます。

MEMO

- アドレスは、最大で2000件まで転送できます。

1 ■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

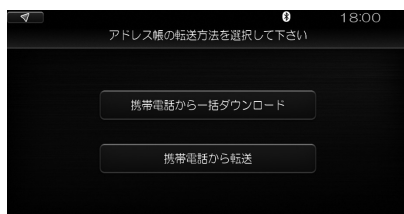
2 [アドレス帳]をタッチする

「アドレス帳が登録されていません。アドレス帳の転送を行いますか？」と表示されます。

MEMO

- すでにアドレス帳が転送されていた場合は、アドレス帳の内容が表示されます。
- 現在接続中の携帯電話やスマートフォンのアドレス帳を転送するときは、[電話帳の転送]をタッチし、手順3に進んでください。

3 [はい]をタッチする

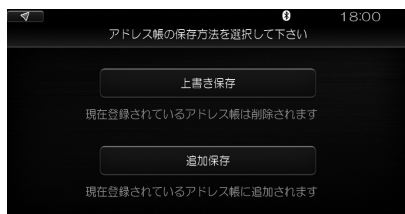
「アドレス帳の転送方法を選択して下さい」と表示されます。

お使いの携帯電話、スマートフォンのBluetoothのプロファイルにより、[携帯電話から一括ダウンロード]または[携帯電話から転送]のいずれか一方を選ぶことができます。

4 [携帯電話から一括ダウンロード]をタッチした場合:

アドレス帳が本機に転送され、その内容が表示されます。

これで、アドレス帳の転送は完了です。

[携帯電話から転送]をタッチした場合:

「アドレス帳の保存方法を選択して下さい」と表示されます。

手順 5 に進んでください。

5 すでにあるアドレス帳を削除して現在の携帯電話やスマートフォンのアドレス帳を転送するとき:

[上書き保存]をタッチします。

「携帯電話からアドレス帳の転送を開始して下さい」と表示されます。

すでにあるアドレス帳に、現在の携帯電話やスマートフォンのアドレス帳を追加するとき:

[追加保存]をタッチします。

「携帯電話からアドレス帳の転送を開始して下さい」と表示されます。

6 携帯電話、スマートフォンからアドレス帳を転送する

お使いの携帯電話、スマートフォンの操作方法にしたがって転送してください。

転送中は、以下の画面が表示されます。

MEMO

- 転送を中止するときは、[中止]をタッチします。

転送が終了すると、その内容が表示されます。

これで、アドレス帳の転送は完了です。

MEMO

- アドレス帳は電話ごとに記録されます。Bluetooth接続する携帯電話、スマートフォンを切り替えると、接続した電話のアドレス帳だけが表示されます。

■ アドレス帳を削除する

1 ■■■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [アドレス帳]をタッチする

アドレス帳が表示されます。

3 [全件削除]をタッチする

「アドレス帳を全件削除します」と表示されます。

4 [はい]をタッチする

削除を中止するときは[いいえ]をタッチします。

ワンタッチダイヤルを登録する

アドレス帳や発着信履歴から、よく使う番号をワンタッチダイヤルに登録することができます。

最大5件まで登録できます。

MEMO

・発着信履歴にあっても、アドレス帳に登録されていない番号はワンタッチダイヤルに登録できません。

■ アドレス帳からワンタッチダイヤルを登録する

1 ■■■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [アドレス帳]をタッチする

アドレス帳が表示されます。

3 ワンタッチダイヤルに登録する相手をタッチする

「あ」〜「他」をタッチすると、その行(「あ」行、「か」行など)の先頭に移動します。

相手の詳細画面が表示されます。手順7に進んでください。

キーワードで検索する場合は、手順4に進んでください。

情報

4 [検索ワード入力]をタッチする

「かな漢字ほかフルキーボード」が表示されます。

5 検索するためのキーワードを入力し、[完了]をタッチする

キーワードに該当する候補が表示されます。

MEMO

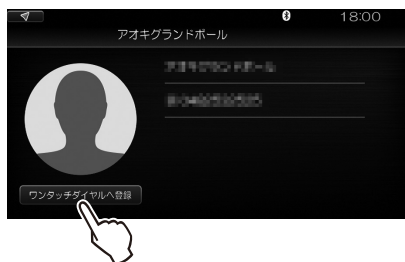
・「かな漢字ほかフルキーボード」の使い方について
「文字の入力」(23ページ)参照

6 ワンタッチダイヤルに登録する相手をタッチする

相手の詳細画面が表示されます。

MEMO

・登録したい相手が見つからなかった場合は[検索結果クリア]をタッチし、手順2から操作し直してください。

7 [ワンタッチダイヤルへ登録]→[はい]の順にタッチする

登録が完了します。

さらに登録を続けるときは↩をタップして、手順3から繰り返してください。

MEMO

・1件のアドレス帳に複数の電話番号が登録されている場合でも、ワンタッチダイヤルにはひとつの番号しか登録できません。

■ 発着信履歴からワンタッチダイヤルに登録する

1 →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [発着信履歴]をタッチする

発着信履歴が一覧表示されます。

3 [発信]または[着信]をタッチする

発信の履歴か着信の履歴かを切り替えます。

4 ワンタッチダイヤルに登録したい相手の ⓘ をタッチする

相手の詳細画面が表示されます。

5 [ワンタッチダイヤルへ登録]→[はい]の順にタッチする

登録が完了します。

さらに登録を続けるときは↩をタップして、手順2から繰り返してください。

MEMO

・ワンタッチダイヤルは電話ごとに記録されます。Bluetooth接続する携帯電話、スマートフォンを切り替えると、接続した電話のワンタッチダイヤルだけが表示されます。

■ ワンタッチダイヤルから詳細情報を見る

1 ■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [ワンタッチダイヤル]をタッチする

「ワンタッチダイヤル一覧」が表示されます。

3 詳細を見たい相手の ⓘ をタッチする

詳細画面が表示されます。

MEMO

- 詳細画面には、電話番号のほか、メールアドレスや画像など、転送もとの携帯電話やスマートフォンに登録してあった内容がすべて表示されます。

■ ワンタッチダイヤルを削除する

1 ■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [ワンタッチダイヤル]をタッチする

「ワンタッチダイヤル一覧」が表示されます。

3 削除したい相手の 🗑 をタッチする

4 [はい]をタッチする

削除を中止するときは[いいえ]をタッチします。

情報

電話をかける

■ 通話中の画面について

本機では、以下に説明するように、番号を直接入力したり、アドレス帳やワンタッチダイヤルから相手を選んだりして電話をかけることができます。

どの場合も、通話中は次のような画面が表示されます。

[プライベート]	ハンズフリー通話からプライベート通話に切り替えます。
[ハンズフリー]	プライベート通話からハンズフリー通話に切り替えます。
[終話]	電話を切ります。
[ダイヤル]	ダイヤル画面が表示されます。 自動音声案内のガイダンスにしたがって番号などを入力するときに使用します。

MEMO

・通話中の画面が表示されているときは、■■ ／ ◁ ／ ⚙ ／ ★ は使用できません。

■ 番号を入力して電話をかける

1 ■■ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [ダイヤル入力]をタッチする

ダイヤル画面が表示されます。

3 かけたい番号をタッチする

最後の文字を削除する。

4 [完了]をタッチする

入力した電話番号に発信します。

発信を中止するときは、[終話] をタッチします。

情報

■ リダイヤルする

直前にかけた電話番号に、もう一度かけ直します。

1 ▪▪▪ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [リダイヤル]をタッチする

直前にかけた電話番号に発信します。

発信を中止するときは、[終話] をタッチします。

■ アドレス帳から検索して電話をかける

1 ▪▪▪ →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [アドレス帳]をタッチする

アドレス帳が表示されます。

3 アドレス帳で、電話をかける相手をタッチする

「あ」～「他」をタッチすると、その行（「あ」行、「か」行など）の先頭に移動します。

相手の詳細画面が表示されます。手順 7 に進んでください。

キーワードで検索する場合は、手順 4 に進んでください。

MEMO

- 詳細画面には、電話番号のほか、メールアドレスや画像など、転送もとの携帯電話やスマートフォンに登録してあった内容がすべて表示されます。

情報

4 [検索ワード入力]をタッチする

「かな漢字ほかフルキーボード」が表示されます。

5 検索するためのキーワードを入力し、[完了]をタッチする

キーワードに該当する候補が表示されます。

MEMO

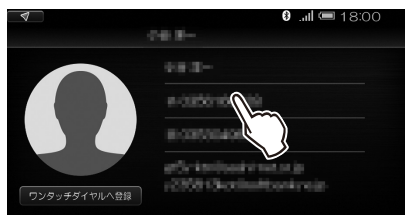
- 「かな漢字ほかフルキーボード」の使い方について
「文字の入力」(23ページ)参照

6 電話をかける相手をタッチする

相手の詳細画面が表示されます。

MEMO

- 電話をかけたい相手が見つからなかった場合は[検索結果クリア]をタッチし、手順2から操作し直してください。

7 電話番号をタッチする

1 件のアドレス帳に複数の電話番号が登録されている場合、かけたい方の番号をタッチします。

タッチした電話番号に発信します。

発信を中止するときは、[終話]をタッチします。

■ ワンタッチダイヤルで電話をかける

1 →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [ワンタッチダイヤル]をタッチする

「ワンタッチダイヤル一覧」が表示されます。

3 電話をかける相手をタッチする

タッチした相手に発信します。

発信を中止するときは、[終話]をタッチします。

情報

着信したとき

本機に接続した携帯電話やスマートフォンが着信すると、着信画面が表示されます。

着信相手の情報

[通話]	相手との通話を開始し、通話中の画面に切り替わります。 *「通話中の画面について」(142ページ)参照*
[終話]	通話を終了します。着信中画面が表示される直前の画面に戻ります。
[保留]	すでに別の相手と通話中だった場合、タッチすると通話中の相手を保留状態にして、新しく着信した相手と通話を開始します。 このとき、通話中の画面の[ダイヤル]は[切り替え]となり、[切り替え]をタッチすることで通話の相手を切り替えることができます。 *「通話中の画面について」(142ページ)参照*

MEMO

- 保留の機能は、電話のキャリアやその契約内容により、使用できない場合があります。

発着信履歴を見る

すでに電話を発信、着信していた場合、その記録が履歴として残ります。

■ 発着信履歴を表示する

本機を使って発信、着信した電話の履歴を見ることができます。

1 →[情報]→[電話]の順にタッチする

2 [発着信履歴]をタッチする

[発信]	発信の履歴を表示します。
[着信]	着信の履歴を表示します。
ⓘ	発着信相手の詳細情報を表示します。

- 発着信履歴は電話ごとに記録されます。
  Bluetooth 接続する携帯電話、スマートフォンを切り替えると、接続した電話の発着信履歴だけが表示されます。

VICS情報

メニュー操作により、最新の VICS 情報を表示することができます。

FMのVICS情報を見る

1 **[MENU] →[情報]→[VICS]の順にタッチする**

以下の画面に切り替わります。

ステータス表示

「ステータス表示」が受信の状況を示します。

未受信：情報が受信できていません。

選局中：受信できる周波数を探しています。

選局：受信できる周波数が見つかり、VICS 情報を受信しています。

2 **[FM図形情報]／[FM文字情報]／[FM緊急放送]をタッチする**

希望の情報をタッチします。

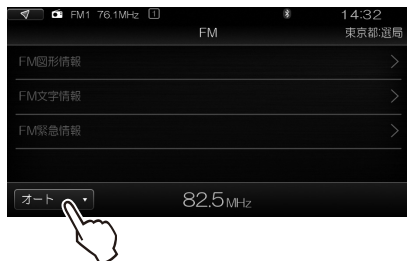
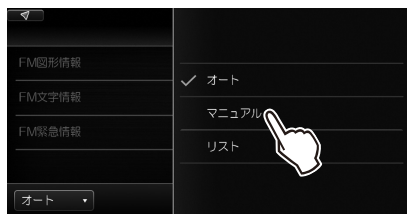
MEMO

- 受信できる情報がないときは、[FM図形情報]／[FM文字情報]／[FM緊急放送]はグレーで表示され、タッチしてもなにも表示されません。

情報

■ FMのVICS情報を手動で受信する

VICS 情報は、通常はオートモードで受信しますが、意図的に周波数を指定して受信したいときなどは以下のように操作します。

1 「FMのVICS情報を見る」*(146ページ)*の手順2で[オート]をタッチする

2 [マニュアル]をタッチする

3 [－]／[＋]をタッチする

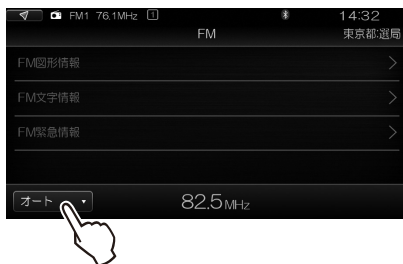
タッチし続けると周波数が連続して切り替わります。

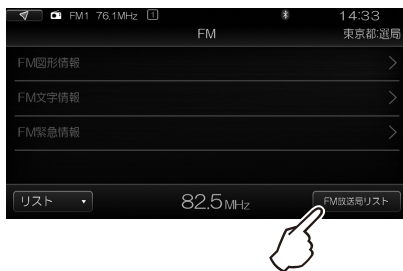
情報を受信すると、[FM 図形情報] ／ [FM 文字情報] ／ [FM 緊急放送] がタッチ可能になります。

4 [FM図形情報]／[FM文字情報]／[FM緊急放送]をタッチする

希望の情報をタッチします。

■ 地域を指定してFMのVICS情報を受信する

1 「FMのVICS情報を見る」*(146ページ)*の手順2で[オート]をタッチする

2 [リスト]をタッチする

3 [FM放送局リスト]をタッチする

4 現在地の都道府県をタッチする

5 [FM図形情報]／[FM文字情報]／[FM緊急放送]をタッチする

希望の情報をタッチします。

車両情報(車種・グレード別機能)

本機では、車両のさまざまな情報を画面に表示することができます。
表示することができる情報には、以下のものがあります。

ご注意

- 車種により、表示できない情報もあります。
- 車両情報に対応していない車種の場合、「車両情報」は表示されません。

情 報	内 容
燃費情報	情報を表示した時点における平均燃費と航続可能距離を示します。
燃費履歴	燃料の1リッター当たりの走行距離を、2つの方法で計算して表示します。 ・ワンドライブ燃費: エンジンスイッチをオンにしてからオフにするまでを1回として、1回ごとの燃費を表示します。 ・給油間燃費: 給油と給油の間ごとの燃費を表示します。
車両警告情報	車両などに発生した異常やトラブルを表示します。
エコ運転診断	1回の運転で、燃費効率が良いと判定された割合から、どのくらいエコ運転ができたかを採点します。
エコ運転履歴	燃費効率が良いと判定された割合から、どのくらいエコ運転ができたかを、2つの方法で計算して表示します。 ・ワンドライブスコア: エンジンスイッチをオンにしてからオフにするまでを1回として、1回ごとのエコ運転度を採点します。 ・給油間スコア: 給油と給油の間ごとのエコ運転度を採点します。

燃費情報を見る

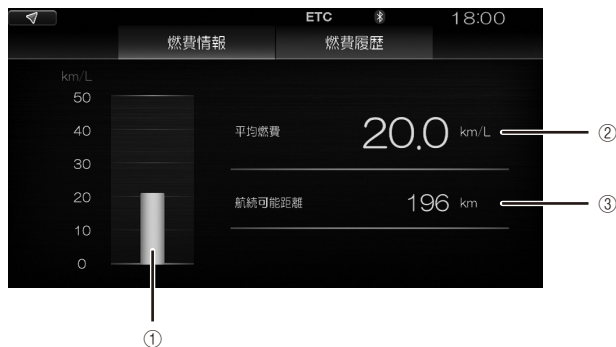
1 → [情報] → [車両情報] の順にタッチする

[車両情報] メニューが表示されます。

2 [燃費情報] をタッチする

MEMO

- → [情報] → [車両情報] → [燃費履歴] → [燃費情報] とタッチしても燃費情報を見ることができます。

■ 燃費情報の見かた

①	瞬間燃費	走行中の瞬間燃費をグラフ表示します。 ・停車中は表示されません。 ・最大表示は50km/Lです。下り坂などで燃料のカット制御が作動しているときでも、それ以上の値は表示されません。
②	平均燃費	車両メーターの表示をリセットしてからの平均燃費を表示します。 ・車両メーターの表示リセット後、しばらくは値が表示されません。
③	航続可能距離	過去の平均燃費で走行を続けた場合の、現在の燃料残量で走行できるおよその距離が表示されます。 ・航続可能距離は、過去の平均燃費をもとに算出される目安であるため、表示される距離を実際に走行できるとは限りません。 ・給油すると表示が更新されます。給油が少ないと、表示が更新されない場合があります。 ・算出に使用される過去の平均燃費は、表示される平均燃費とは異なります。

MEMO

・表示される情報は、刻々とリアルタイムに変化します。

ワンドライブの燃費履歴を見る

1 →[情報]→[車両情報]の順にタッチする

[車両情報］メニューが表示されます。

2 [燃費履歴]をタッチする

MEMO

- →[情報]→[車両情報]→[燃費情報]→[燃費履歴]とタッチしてもワンドライブ燃費履歴を見ることができます。

■ ワンドライブ燃費履歴の見かた

エンジンスイッチをオンにしてからオフにするまでを1 回として、1 回前から 5 回前までの燃費がグラフ表示されます。

■ 履歴を削除するには

［履歴削除］ → ［はい］をタッチします。

給油間の燃費履歴を見る

1 →[情報]→[車両情報]の順にタッチする

[車両情報］メニューが表示されます。

2 [燃費履歴]をタッチする

3 [給油間燃費]をタッチする

MEMO

- →[情報]→[車両情報]→[燃費情報]→[燃費履歴]→[給油間燃費]とタッチしても給油間燃費履歴を見ることができます。

■ 給油間燃費履歴の見かた

給油から給油までの間を 1 回として、その間の燃費が日付とともにグラフ表示されます。

■ 履歴を削除するには

［履歴削除］ → ［はい］をタッチします。

車両警告情報を見る

1 **[menu icon] →[情報]→[車両情報]の順にタッチする**

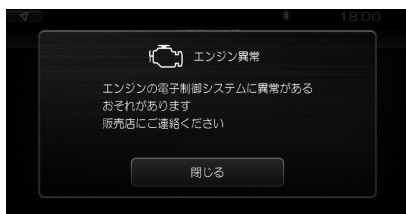
［車両情報］メニューが表示されます。

2 **[車両警告情報]をタッチする**

■ 車両警告情報の見かた

以下は、車両警告情報の画面例です。

例1：警告発生

例2：エンジン異常

その他の異常やトラブルに対しても、以下のようなメッセージが表示されます。

異常／トラブル	メッセージ
シートベルト未装着（運転席）	運転席のシートベルトを着用してください
シートベルト未装着（助手席）	助手席のシートベルトを着用してください
ブレーキ系統異常	パーキングブレーキを解除してください
半ドア状態	ドアが開いています ドアを完全に閉めてください
車両の鍵（ワイヤレスキー）の電池切れ	携帯リモコンの電池切れが近いです。 電池交換を行ってください
燃料切れ	燃料の残量が少なくなりました。 すみやかに給油してください。 MEMO ・[近くのガソリンスタンドを探す]をタッチすると、現在地周辺のガソリンスタンドが一覧表示されます。希望のガソリンスタンドを目的地に設定することもできます。
ABS異常	ABS（アンチロックブレーキシステム）の電子制御システムに異常があるおそれがあります ABSが作動しないおそれがあります 販売店にご連絡ください
SRSエアバック異常	SRSエアバック、シートベルトプリテンショナーの電子制御システムに異常があるおそれがあります 販売店にご連絡ください
エンジン異常	エンジンの電子制御システムに異常があるおそれがあります 販売店にご連絡ください
トランスミッション異常	CVTの電子制御システムに異常があるおそれがあります 販売店にご連絡ください

ご注意

- 「車両信号が受信できていません。」と表示されたときは、販売店にご連絡ください。
- [設定]メニューの[システム設定]→[車両情報　割り込み設定]で[OFF]に設定した項目は、異常が発生しても、その情報は表示されません。
- [ON]／[OFF]の設定ができるのは、以下の項目です。
  - 警告表示（異常発生）
  - シートベルトお知らせ表示
  - ブレーキお知らせ表示
  - 半ドアお知らせ表示
  - 携帯リモコン電池消耗表示
  - 凍結注意お知らせ表示
  - 燃料残量お知らせ表示

  より安全な車両の運用のため、各項目を[ON]に設定しておくことをおすすめします。
- 本機で表示される車両警告情報は、メーターの補助表示です。メーターの表示が正しい情報になります。

MEMO

- 車両などに異常やトラブルが発生すると、警告音とともにメッセージが自動的に表示されます。（全方位モニターの画像表示中はメッセージは表示されません。）
- 一度画面から消した警告情報を、■ →[情報]→[車両情報]→[車両警告情報]をタッチして、もう一度確認することができます。

エコ運転診断を見る

1 ■■■ →[情報]→[車両情報]の順にタッチする

[車両情報]メニューが表示されます。

2 [エコ運転診断]をタッチする

MEMO

- ■■■ →[情報]→[車両情報]→[エコ運転履歴]→[エコ運転診断]とタッチしてもエコ運転診断を見ることができます。

ワンドライブのエコ運転履歴を見る

1 ■■■ →[情報]→[車両情報]の順にタッチする

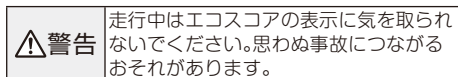
[車両情報]メニューが表示されます。

2 [エコ運転履歴]をタッチする

MEMO

- ■■■ →[情報]→[車両情報]→[エコ運転診断]→[エコ運転履歴]とタッチしてもワンドライブエコ運転履歴を見ることができます。

■ エコ運転診断の見かた

⚠警告	走行中はエコスコアの表示に気を取られないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中の燃費効率に対する運転内容を採点し、その点数を 100 点満点で表示します。

また、車両のメーター表示をリセットしてからの平均燃費が表示されます。

■ ワンドライブエコ運転履歴の見かた

エンジンスイッチをオンにしてからオフにするまでを 1 回として、1 回前から 5 回前までのエコ運転の採点結果が 100 点満点で表示されます。採点は、燃費効率が良いと判断された割合を基準に行われます。

■ 履歴を削除するには

[履歴削除] → [はい] をタッチします。

情報

給油間のエコ運転履歴を見る

1 ■■■ →[情報]→[車両情報]の順にタッチする

［車両情報］メニューが表示されます。

2 [エコ運転履歴]をタッチする

3 [給油間スコア]をタッチする

MEMO

- ■■■ →[情報]→[車両情報]→[エコ運転診断]→[エコ運転履歴]→[給油間スコア]とタッチしても給油間エコ運転履歴を見ることができます。

■ 給油間エコ運転履歴の見かた

給油から給油までの間を 1 回として、その間のエコ運転の採点結果が 100 点満点で表示されます。採点は、燃費効率が良いと判断された割合を基準に行われます。

■ 履歴を削除するには

［履歴削除］ → ［はい］ をタッチします。

情報

ソフトウェアと地図の更新

本機のソフトウェアおよび収録されている地図データは、必要に応じて更新されます。
ホームページをご覧になり、ソフトウェアと地図の更新のお知らせにしたがってダウンロードしてください。

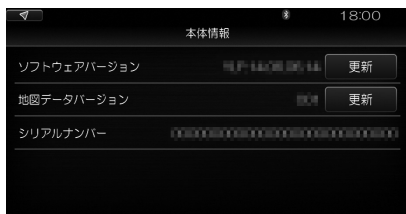
準備

ダウンロードしたソフトウェアと地図のデータは、USB メモリーを介して本機にインストールします。
空き領域が 8GB 以上ある USB メモリーをご用意ください。

インストール

更新されたソフトウェアや地図データが保存されている USB メモリーを車両の USB コネクターに接続し、以下のように操作します。

1 **→[情報]→[本体情報]の順にタッチする**

[本体情報]画面が表示されます。

2 **ソフトウェアまたは地図データの[更新]をタッチする**

ETC情報

DSRC 車載器（別売）を搭載し、DSRC 車載器と本機の連動を有効にしてある場合は、ETC の利用に関する情報を表示したり、ETC カードに関する案内のオン／オフを設定したりすることができます。

ETCの利用履歴を見る

1 →[情報]→[ETC情報]の順にタッチする

[ETC メニュー］画面が表示されます。

2 [ETC利用履歴]をタッチする

ETC の利用の履歴が、最新のものを先頭に一覧表示されます。（最大 100 件）

3 詳細を見たい項目をタッチする

ETC を利用した日時、入口、出口および料金が表示されます。

ETCカードに関する情報を表示する

ETC カードが差し込まれていないなど、ETC カードに関する情報を画面に表示させることができます。

1 →[情報]→[ETC情報]の順にタッチする

[ETC メニュー］画面が表示されます。

2 [ETC警告表示]の[OFF]をタッチして[ON]にする

MEMO

- ルート設定後に[ETC警告表示]の設定を変更しても、変更内容が反映されません。ルートを削除するか、再度エンジンを始動してください。

ETCカードに関する音声案内を聴く

ETC カードが差し込まれていないなど、ETC カードに関する情報を音声で聴くことができます。

1 ▪▪▪ →[情報]→[ETC情報]の順にタッチする

[ETC メニュー] 画面が表示されます。

2 [ETC音声案内]の[OFF]をタッチして[ON]にする

MEMO

- ルート設定後に[ETC音声案内]の設定を変更しても、変更内容が反映されません。ルートを削除するか、再度エンジンを始動してください。

ETCカードの使用期限を調べる

現在使用中の ETC カードの使用期限を表示することができます。

1 ▪▪▪ →[情報]→[ETC情報]の順にタッチする

[ETC メニュー] 画面が表示されます。

2 [ETCカード使用期限情報]をタッチする

ETC カードの使用期限が表示されます。

期限を確認したら、[OK] をタッチします。

情報

DSRC車載器の情報を見る

現在使用中の DSRC 車載器に関する情報を表示することができます。

1 **■■■ →[情報]→[ETC情報]の順にタッチする**

[ETC メニュー] 画面が表示されます。

2 **[DSRC車載器情報]をタッチする**

DSRC 車載器に関する情報が表示されます。

情報を確認したら、[OK] をタッチします。

情報

[設定] メニューの表示

本機が、もっとも使いやすい状態になるように各種の設定を変更することができます。
各種設定には、[設定] メニューを使います。

1 をタップする

[設定] メニューが表示されます。

地図とナビゲーションの設定

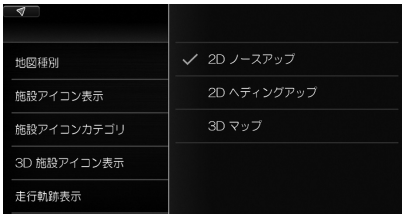
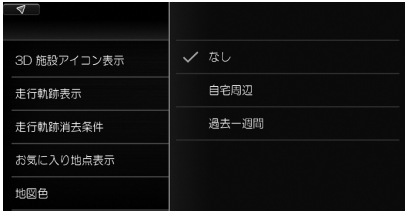
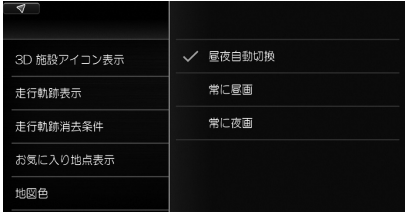
ナビ設定メニューの表示

地図とナビゲーションに関する設定には、[ナビ設定] メニューを使います。

1 →[ナビ設定] の順にタッチする

[ナビ設定] メニューが表示されます。

以下、[ナビ設定] メニューを使って行う各種設定について説明します。

地図の設定をする

1 →[ナビ設定]→[地図]の順にタッチする

［地図設定］画面が表示されます。

以下の設定ができます。

項目	説明
[地図種別]	地図画面に切り替えたときの表示のしかたを選びます。 [2Dノースアップ]／[2Dヘディングアップ]／[3Dマップ]から選ぶことができます。 地図上の方位アイコンをタッチして選ぶこともできます。 *「地図表示のしかたを切り替える」(31ページ参照)*
[施設アイコン表示]	コンビニ、ガソリンスタンドといった施設のアイコンを表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。

項目	説明
[施設アイコンカテゴリ]	施設アイコン表示を[ON]にしたとき、さらにどの施設のアイコンを表示するかを細かく設定できます。 タッチすると、「地図設定＞POIカテゴリ」画面が表示されます。 表示される分類をたどり、[ON]／[OFF]が表示されたらそれぞれの表示／非表示を設定します。 [全解除]をタッチすると、すべての施設アイコンが非表示になります。 カテゴリごとの一覧で[すべて]を[ON]にすると、再びそのカテゴリのアイコンのみ表示状態になります。
[3D施設アイコン表示]	3Dの施設アイコンを表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[走行軌跡表示]	車の走行軌跡を表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[走行軌跡消去条件]	車の走行軌跡を消去する条件を選びます。 **[なし]**（古いデータから自動的に消去）、**[自宅周辺]**（ルートの有無にかかわらず、自車が自宅に近づくと（半径300mの円内）消去）、**[過去一週間]**（一週間過ぎたら消去）から選びます。
[お気に入り地点表示]	地図上にお気に入り地点を表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[地図色]	地図の色を昼夜で切り替えるかどうかを選びます。 [昼夜自動切換]：車両のライトを点灯すると夜用の色に、消灯すると昼用の色に自動的に切り替わります。 「常に昼画」：常に昼用の色で表示します。 「常に夜画」：常に夜用の色で表示します。

ルート案内中の表示を設定する

1 **→[ナビ設定]→[案内]の順にタッチする**

［案内設定］画面が表示されます。

以下の設定ができます。

項目	説明
[交差点拡大図表示]	ルート案内中、曲がるべき交差点に近づいたとき、その拡大図を表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[交差点イラスト表示]	ルート案内中、交差点に近づいたとき、交差点のイラストを表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[都市高速入口イラスト表示]	ルート案内中、都市高速の入口に近づいたとき、入口のイラストを表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[高速分岐図表示]	ルート案内中、高速道路の分岐地点に近づいたとき、分岐地点と進行方向をイラストで表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。

項目	説明
[ルートモニター表示]	ルート案内中、ルート上の曲がり角やインターチェンジ、サービスエリアなどの情報を表示するかどうかを選びます。画面右側に、最大3か所の情報を表示できます。 [高速／一般道両方]：高速道路、一般道路とも表示します。 [高速のみ]：高速道路の場合のみ表示します。 [表示なし]：情報表示しません。 高速道路では、ルート案内中以外でもルートモニター表示を行います。
[交通情報案内]	ルート案内中、VICSから受信した交通情報がある地点に近づいたとき、音声で知らせるかどうかを選びます。 [ON]にすると音声案内を行います。[OFF]にすると行いません。
[県境案内]	県境が近づいたことを音声で知らせるかどうかを選びます。 [ON]にすると音声案内を行います。[OFF]にすると行いません。
[合流案内]	ルート案内中、合流地点が近づいたことを音声で知らせるかどうかを選びます。 [ON]にすると音声案内を行います。[OFF]にすると行いません。
[踏切案内]	ルート案内中、踏切が近づいたことを音声で知らせるかどうかを選びます。 [ON]にすると音声案内を行います。[OFF]にすると行いません。

MEMO

・ルートが設定されていない場合、交通情報案内、合流案内、踏切案内は行われません。

ルート計算の設定をする

1 [icon] →[ナビ設定]→[ルート計算]の順に タッチする

[ルート計算設定] 画面が表示されます。

以下の設定ができます。

項目	説明
[フェリールート考慮]	ルート設定に、フェリールートを考慮に入れるかどうかを設定します。 [ON]にすると考慮に入れます。[OFF]にすると考慮に入れません。
[スマートIC考慮]	ルート設定に、スマートインターチェンジを考慮に入れるかどうかを設定します。 [ON]にすると考慮に入れます。[OFF]にすると考慮に入れません。
[動的ルート計算]	ルート案内中、走行中のルート周辺に、道路事情を考慮してよりよいルートが見つかったときに画面と音声で知らせるかどうかを設定します。 [ON]で通知を行います。[OFF]にすると行いません。
[到着時刻計算用車速の自動設定]	設定したルートによる目的地への到着時刻予測を、本機が自動的に行うかどうかを設定します。 [ON]にすると、本機が自動的に行います。 [OFF]にすると、道路の走行時速をあらかじめ設定しておくことができます。 下記の「到着予想時刻速度（高速道）」、「到着予想時刻速度（一般道）」をご覧ください。
[到着予想時刻速度（高速道）]	[到着時刻計算用車速の自動設定]が[OFF]のときに表示されます。 高速道路走行時の平均速度を予想して入力し、[完了]をタッチしてください。
[到着予想時刻速度（一般道）]	[到着時刻計算用車速の自動設定]が[OFF]のときに表示されます。 一般道路走行時の平均速度を予想して入力し、[完了]をタッチしてください。

回避エリアを編集する

回避エリアを設定してあるとき、その位置や範囲を変更するなどの編集ができます。

1 **→[ナビ設定]→[回避エリア]の順にタッチする**

［回避エリア一覧］画面が表示されます。

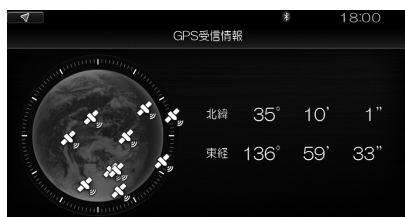
一覧を登録順、名前の読み順、出発地点からの距離順に並べ替える。

以下の編集ができます。

操 作	説 明
住所をタッチ	回避エリアの大きさを変更します。 正方形の一辺を、100m、200m、500m、1kmのいずれかに設定し、を タップします。
をタッチ	左側の地図を、指定した回避エリア周辺に切り替えます。
をタッチ	回避エリアの登録名を変更します。 「かな漢字ほかフルキーボード」が表示されますので、登録名を変更して［完了］をタッチしてください。 *「文字の入力」(23ページ)参照*
をタッチ	指定した回避エリアを削除します。

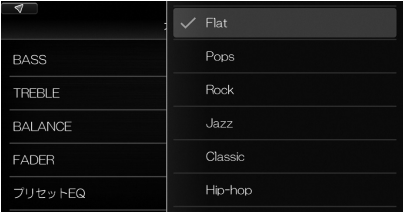
GPSの受信情報を見る

1 →[ナビ設定]→[GPS]の順にタッチする

［GPS 受信情報］画面が表示されます。

この画面では、GPS 衛星の位置と、GPS 信号により測位した現在地の緯度・経度が 3 秒周期で表示されます。

オーディオの設定

オーディオに関する設定は、[オーディオ設定]画面で行います。
ここでの設定は、音楽CDの再生、ラジオの受信など、車両内のスピーカーから聴こえる音声のすべてに共通です。
ただし、ルート案内中の音声ガイドやハンズフリーでの通話の音声には影響しません。

1 → [オーディオ設定]の順にタッチする

[オーディオ設定] 画面が表示されます。

以下の設定ができます。

項目	説明
[BASS]	スピーカーの低音域を強調するレベルを設定します。−9〜+9の範囲で設定できます(初期設定0)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[TREBLE]	スピーカーの高音域を強調するレベルを設定します。−9〜+9の範囲で設定できます(初期設定0)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[BALANCE]	スピーカーの左右の音量を調節します。左9〜右9の範囲で設定でき、「左」の数値が大きいほど左側の音量が大きくなり、「右」の数値が大きいほど右側の音量が大きくなります(初期設定0)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[FADER]	スピーカーの前後の音量を調節します。後9〜前9の範囲で設定でき、「後」の数値が大きいほど後ろ側の音量が大きくなり、「前」の数値が大きいほど前側の音量が大きくなります(初期設定0)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。

項目	説明
[プリセットEQ]	プリセットEQにより、低音域、中音域、高音域のそれぞれを強調したり弱めたりして、好みの音質に設定できます。 本機では、あらかじめ音楽のジャンルに合った以下の6種類の設定から選ぶことができます。 [Flat]／[Pops]／[Rock]／[Jazz]／[Classic]／[Hip-hop] [Flat]（初期設定）では、特に何の補正も行いません。
[AVC]	AVC（Automatic Volume Control）は、車の速度に連動してオーディオの音量や低音域、高音域などを自動で変化させる機能です。 AVCは、以下の4通りのいずれかに設定できます。 [OFF]：AVC機能をオフにする（初期設定） [AVC1]／[AVC2]／[AVC3]：車両の速度に連動してオーディオの音量や低音域、高音域を補正します。いずれかお好みのものを選んでください。[AVC3]が、最も補正量が大きくなります。

画質の調整

画面の明るさを昼と夜のそれぞれで個別に設定することができます。

MEMO

- 昼用の設定と夜用の設定は、車両のライトの点灯、消灯によって切り替わります。ライトを点灯すると、夜用の設定に切り替わります。
- 常に昼用の表示にしたり、夜用の表示にして使うこともできます。

「地図の設定をする」(160ページ)の「地図色」参照

1 **→[画質調整]の順にタッチする**

[画質調整]画面が表示されます。

以下の設定ができます。

項目	説明
[液晶の明るさ(昼)]	昼用の画面の明るさを設定します。0〜20の範囲で設定でき、数値が大きいほど明るくなります(初期設定は20)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[液晶の明るさ(夜)]	夜用の画面の明るさを設定します。0〜20の範囲で設定でき、数値が大きいほど明るくなります(初期設定は10)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。

MEMO

- ライト消灯中は[液晶の明るさ(昼)]の調整のみできます。ライト点灯中は[液晶の明るさ(夜)]の調整のみできます。

Bluetooth対応機器との接続

携帯電話やスマートフォンなどのBluetooth対応機器を本機に接続して、Bluetooth対応機器の音楽などを再生したり、ハンズフリーでの電話の発着信をしたりすることができます。

MEMO

- 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。
- 本機側からBluetooth対応機器を検索して登録するには *「Bluetooth機器の登録」(59ページ)参照*

本機を待ち受け状態にしてBluetooth対応機器を登録する

1 **→[Bluetooth設定]の順にタッチする**

[検索結果クリア] が表示されていたら一度タッチします。

[待ち受け開始] に切り替わります。

2 **[待受け開始]をタッチする**

どの機能を利用するかを選択する画面が表示されます。

3 **利用したい機能の[ON]／[OFF]をタッチする**

タッチするごとに [ON] ／ [OFF] が切り替わります。

ご注意

- iPhoneの場合、[音楽]と[スマートフォン連携]を同時に[ON]にすることはできません。

4 **[開始]をタッチする**

5 **Bluetooth対応機器側から接続の操作をする**

本機の名称は、「My Car」に設定されています。

Bluetooth 対応機器で、「My Car」を探し、接続します。

6 [確認]をタッチする

Bluetooth 対応機器によっては、機器側で、表示されたパスキーの確認操作が必要です。

登録（ペアリング）が完了すると、機器の名称と、利用する機能が表示されます。

（電話アイコン）	ハンズフリー電話
（音符アイコン）	音楽再生
app	スマートフォン連携

MEMO

- 本機の名称は、「My Car」（初期値）に、PINコードは「1234」（初期値）に設定されています。
- 本機の名称とPINコードは変更可能です。
  上記の画面で[名称設定／PINコード設定]をタッチし、操作を進めてください。
  Bluetooth対応機器は、10台まで登録できます。11台目を登録するには、すでに登録されている機器を削除する必要があります。

設定

使用するBluetooth機器を切り替える

本機に 2 台以上の Bluetooth 対応機器を登録してある場合、以下の操作で使用する機器を切り替えます。

1 → [Bluetooth設定] の順にタッチする

登録済みのBluetooth機器が一覧表示されます。

2 現在使用中の機器をタッチする

「xxxxx を切断します。」と表示されます。

3 [はい] をタッチする

4 使用したい機器をタッチする

5 使用したい機能をONにする

6 [上記の設定で接続] をタッチする

MEMO

・ 現在使用中のBluetooth対応機器の切り替えを行うと、発着信履歴などの機器情報も自動的に切り替わります。

登録したBluetooth機器を消去する

登録（ペアリング）済みの Bluetooth 対応機器の情報を消去します。

1 → [Bluetooth設定] の順にタッチする

登録済みのBluetooth機器が一覧表示されます。

2 消去したい機器をタッチする

3 [デバイス削除] → [はい] をタッチする

設定

Wi-Fi接続の設定(車種・グレード別機能)

本機では、自車(本機)をWi-Fiのアクセスポイントとして設定することができます。
周囲のWi-Fiアクセスポイントを検索して接続することも可能です。

ご注意

- Wi-Fiで他のデバイスと接続中は、設定を切り替えることができません。設定を切り替えるには、他のデバイスとの接続を切断してください。
- 設定を切り替える際は、一時的にBluetooth接続が切断されます。
- 本機をWi-Fiのアクセスポイントにすることと、本機からWi-Fiのアクセスポイントに接続する操作を同時に行うことはできません。

Japanese Radio Law and Japanese Telecommunications Business Law Compliance.
This device is granted pursuant to the Japanese Radio Law (電波法) and the Japanese Telecommunications Business Law (電気通信事業法).
This device should not be modified (otherwise the granted designation number will become invalid).
日本国内電波法および電気通信事業法遵守について
本製品は、電波法と電気通信事業法に基づく適合証明を受けております。
本製品の改造は禁止されています。(改造した場合、適合証明番号などが無効となります。)

本機をWi-Fiのアクセスポイントにする

MEMO

- 本機をWi-Fiのアクセスポイントとする場合、そのセキュリティとしてWPA2-PSKを採用しています。
- この方式では、事前に8~63文字のパスワードを設定し、通信したいWi-Fi機器のそれぞれで設定したパスワードを入力します。

1 → [Wi-Fi設定] の順にタッチする

[Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

2 [アクセスポイント用設定] をタッチする

[Wi-Fi アクセスポイント設定] 画面が表示されます。

3 アクセスポイントの名称を入力する

初期設定として、[Wi-Fi point] という名称が設定されています。
[Wi-Fi point] をタッチします。

「携帯電話型英字配列キーボード」が表示されます。
任意の名称を入力して、[完了] をタッチしてください。

MEMO

- 他の種類のキーボードも使用できます。
  「文字の入力」(23ページ)参照

設定

4 ［パスワード生成］→［保存］の順にタッチする

［パスワード生成］をタッチするごとに、英数字8 文字のパスワードがランダムに生成されます。

表示されたパスワードに決定する場合、［保存］をタッチします。

これで本機が Wi-Fi のアクセスポイントになりました。

設定

本機からWi-Fiのアクセスポイントに接続する

周囲に Wi-Fi のアクセスポイントがある場合、以下の手順で接続することができます。

1 →[Wi-Fi設定]の順にタッチする

[Wi-Fi 設定] 画面が表示されます。

2 [クライアント用設定]をタッチする

周囲の接続可能な Wi-Fi アクセスポイントが一覧表示されます。

3 接続したいアクセスポイントをタッチする

ネットワークキーが設定されていることを示す。

信号の強度

選んだアクセスポイントにネットワークキーが設定されている場合、その入力画面が表示されます。

4 [編集]をタッチする

「携帯電話型英字配列キーボード」が表示されます。

「文字の入力」(23 ページ) 参照

アクセスポイントに与えられているネットワークキーを入力して、[完了] をタッチしてください。

5 [接続]をタッチする

接続に成功すると、選んだアクセスポイントにチェックマークが付きます。

MEMO

- 接続に失敗すると、「XXXXXと接続できませんでした。」と表示されます。
  [OK]をタッチし、操作をやり直してみてください。

6 チェックマークが付いたアクセスポイントをタッチする

アクセスポイントの認証画面が表示されます。

7 ［接続］をタッチする

これで、選んだ Wi-Fi ポイントに接続されます。
接続を中止するときは［認証削除］をタッチします。

設定

システムに関する設定

ここでは、以下の設定のしかたについて説明します。

- 時刻表記
- メニュー操作時のポッという音のオン・オフ
- ルート案内、ハンズフリー着信音、ハンズフリー通話音の音量
- ショートカットキー
- セキュリティコード
- 車両情報、お知らせとして表示する内容

時刻表記を設定する

1 →[システム設定]の順にタッチする

［システム設定］画面が表示されます。

2 [時刻表示(12H/24H)]をタッチする

3 [12時間表記]または[24時間表記]をタッチする

タッチしたほうにチェックマークがつき、［システム設定］画面に戻ります。

音量に関する設定をする

1 **→[システム設定]の順にタッチする**

[システム設定] 画面が表示されます。

2 **[メニュー操作音]/[ナビ案内音量]/[ハンズフリー着信音量]/[ハンズフリー通話音量]をタッチする**

それぞれで、以下の設定ができます。

項目	設定
[メニュー操作音]	メニュー操作時にポッという音を鳴らすかどうかを設定します。 [ON]で鳴り、[OFF]で無音になります。
[ナビ案内音量]	ルート案内の音声の音量を調節します。0(無音)〜16の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります(初期設定は7)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[ハンズフリー着信音量]	ハンズフリーで電話着信したときのお知らせ音の音量を調節します。 0(無音)〜16の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります(初期設定は7)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。
[ハンズフリー通話音量]	ハンズフリーで通話中のスピーカーからの音量を調節します。 0(無音)〜16の範囲で設定でき、数値が大きいほど音量が大きくなります(初期設定は7)。 [+]で増加、[−]で減少します。タッチし続けると、連続して変化します。

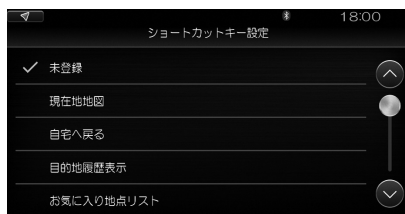
ショートカットキーを設定する

1 ⚙ →[システム設定]の順にタッチする

［システム設定］画面が表示されます。

2 画面を上にスワイプする

3 [ショートカットキー設定]をタッチする

［ショートカットキー設定］画面が表示されます。

★ をタップしたときに働く機能を以下の中から選ぶことができます。（車種・グレードによって、選ぶことができる機能は異なります。）

- 現在地地図
- 自宅へ戻る
- 目的地履歴表示
- お気に入り地点リスト
- ルート編集
- ルート消去
- 発着信履歴表示
- リダイヤル
- 燃費情報
- エコ運転履歴

［未登録］を選ぶと、何も登録されません。

MEMO

- ショートカットキーが未登録の場合、★ をタップするとショートカットキー設定を行うことができます。

セキュリティコードを設定する

セキュリティコードを設定すると、いったん本機を取り外したりバッテリーを交換したりした後に本機を使用する際に、設定したセキュリティコードの入力が求められます。正しいセキュリティコードを入力しないと本機の使用ができなくなります。

ただし、以下の操作は可能です。

- 全方位モニターを見る
- CD ディスク、DVD ディスクを取り出す

工場出荷時は、セキュリティコードは設定されていません。

設定するには、以下のように操作します。

1 **⚙ →[システム設定]の順にタッチする**

［システム設定］画面が表示されます。

2 **画面を上にスワイプする**

3 **[セキュリティコード設定]の[OFF]をタッチする**

［ON］に切り替わります。

4 **数字キーボードで、4桁の数字(セキュリティコード)を入力し、[完了]をタッチする**

5 **もう一度同じ数字を入力して[完了]をタッチする**

設定したセキュリティコードを忘れないよう、記録を取っておいてください。

■ セキュリティコードを解除する

上記の手順 3 で［ON］をタッチして［OFF］に切り替え、［はい］をタッチします。

設定

車両警告情報を表示する

シートベルトやブレーキなど、車両の安全に関する警告情報を自動的に表示するかどうかを設定します。

1 **→[システム設定]の順にタッチする**

[システム設定] 画面が表示されます。

2 **画面を上にスワイプする**

3 **[車両情報　割り込み設定]をタッチする**

[車両警告情報] 画面が表示されます。

4 **以下の各項目の表示の[ON](自動表示)／[OFF](自動表示しない)を切り替える**

- 警告表示：車両に異常が発生したときのお知らせ
- シートベルトお知らせ表示：シートベルトを正しく締めていないときのお知らせ
- ブレーキお知らせ表示：ブレーキ系統に異常があるときのお知らせ
- 半ドアお知らせ表示：半ドア状態で走行しているときのお知らせ
- 携帯リモコン電池消耗表示：車両の鍵（ワイヤレスキー）の電池が切れかかっているときのお知らせ
- 凍結注意お知らせ表示：路面が凍結している可能性があるときのお知らせ
- 燃料残量お知らせ表示：燃料の残量が少なくなった時のお知らせ

[ON] に設定すると、車両などに異常やトラブルが発生すると、カメラの全方位モニター使用中以外のどんな場合でも、「ポッ」という音とともに以下のような警告のメッセージが表示されます。

例1:警告発生

例2:燃料残量お知らせ表示

ご注意

- [OFF]に設定すると、車両などに異常やトラブルが発生しても、その情報は表示されません。より安全な車両の運用のため、各項目を[ON]に設定しておくことをおすすめします。

MEMO

- 「燃料残量お知らせ表示」画面の[近くのガソリンスタンドを探す]をタッチして、現在地近辺のガソリンスタンドの一覧を表示することができます。

お知らせ機能を設定する

本機では、以下の項目について必要な条件を設定しておくと、事前にその時期をお知らせします。

項目	設定する条件	設定可能範囲	お知らせ時期
車検の更新日	更新日	—	満了日の3ヶ月前と1ヶ月前
定期点検の日	更新日	—	定期点検日の1ヶ月前
自動車保険の更新日	更新日	—	更新日の1ヶ月前
免許の更新日	更新日	—	更新日の1ヶ月前
以下の各時期 ・エンジンオイル交換 ・エンジンオイルフィルター交換 ・エアコンフィルター交換 ・ワイパーゴム交換 ・タイヤローテーション ・タイヤ交換 ・タイヤ空気圧点検 ・エアクリーナーエレメント交換 ・ブレーキパッド交換 ・ブレーキフルード交換 ・バッテリー交換 ・クーラント交換 ・ミッションオイル交換	走行距離（1,000km単位）	1,000km～30,000km	設定した距離を走行したとき
	経過時間（1ヶ月単位）	1ヶ月～99ヶ月	設定した月が経過したとき

■ あらかじめ日付を入力する場合

車検日や免許更新日などの重要な日付を入力しておくと、本機が事前にお知らせします。

1 →［システム設定］の順にタッチする

［システム設定］画面が表示されます。

2 画面を上にスワイプする

3 [お知らせ設定]をタッチする

[メンテナンス設定] 画面が表示されます。

以下の各項目について、あらかじめその日付を入力しておくと、事前にお知らせを表示します。

- 車検
- 定期点検
- 自動車保険更新
- 免許更新

4 設定したい項目を[ON]にするか[設定]をタッチする

5 [更新日]をタッチする

6 日付を入力して[完了]をタッチする

設定

MEMO

- 1桁の月、日の数字は先頭に0をつけて2桁で入力します。

■ 走行距離または経過月を指定する場合

エンジンオイルなどの消耗品について、一定の走行距離や月ごとに点検などのお知らせを表示するかどうかを設定します。

1 ⚙ →[システム設定]の順にタッチする

[システム設定] 画面が表示されます。

2 画面を上にスワイプする

3 [お知らせ設定]をタッチする

[メンテナンス設定] 画面が表示されます。

4 画面を上にスワイプする

(画面はさらに下に続きます。)

以下の各項目について、何千キロメートル走行したか、あるいは何ヶ月経過したかの数字を入力しておくと、そのタイミングでお知らせを表示します。

- エンジンオイル交換
- エンジンオイルフィルター交換
- エアコンフィルター交換
- ワイパーゴム交換
- タイヤローテーション
- タイヤ交換
- タイヤ空気圧点検
- エアクリーナーエレメント交換
- ブレーキパッド交換
- ブレーキフルード交換
- バッテリー交換
- クーラント交換
- ミッションオイル交換

5 設定したい項目を[ON]にするか[設定]をタッチする

6 走行キロメートル単位で設定する場合は[1,000km単位で選択]をタッチする

経過月単位で設定する場合は[1ケ月単位で選択]をタッチする

7 それぞれの場合で数値を入力して[完了]をタッチする

VICS表示の設定

本機は、FM多重放送およびITSスポットによるVICS情報（文字・図形・音声）を受信することができます。VICS情報を受信したときに、どの情報を表示するかを設定します。

1 → [VICS設定] の順にタッチする

［VICS 設定］画面が表示されます。

VICS 情報のうち、以下の項目について設定ができます。

項目	説明
[VICS地図表示]	VICS情報を受信したときに、それを表示（再生）するかどうかを選びます。 [ON] で表示（再生）します。 [OFF] に設定すると、VICS情報の地図表示（レベル3）が表示されなくなります。
[地図表示対象道路]	以下のいずれかを選びます。 ・ [高速／一般道両方] ・ [高速のみ] ・ [一般道のみ]
[渋滞／混雑表示]	渋滞／混雑情報を表示するかどうかを選びます。 地図上の道路側面の色が、渋滞では赤に、混雑ではオレンジ色になります。 [ON] で表示、[OFF] で非表示になります。

項目	説明
[順調表示]	順調情報を表示するかどうかを選びます。 順調時は、地図上の道路側面の色が緑色になります。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[規制表示]	交通規制情報を表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。
[駐車場／SA／PA表示]	駐車場情報、サービスエリア情報、パーキングエリア情報を表示するかどうかを選びます。 [ON]で表示、[OFF]で非表示になります。

DSRC 車載器(別売)を搭載し、DSRC 車載器と本機の連動を有効にしてある場合は、以下の設定も可能になります。

項目	説明
[ビーコン割り込み案内]	VICS情報を受信したときに、地図画面に割り込み表示するかどうかを設定します。 [ON]で表示します。[OFF]にすると表示しません。
[ビーコン割り込み時間]	VICS情報を受信したときに、画面にどのくらいの時間表示するかを設定します。 [5秒]／[10秒]／[15秒]のいずれかに設定できます。ただし、[音声情報読み上げ]が[ON]で、音声情報が設定した時間(5秒／10秒／15秒)より長い場合は、音声情報が終了するまで表示され続けます。
[音声情報読み上げ]	VICS情報を受信したときに、音声情報を再生するかどうかを設定します。 [ON]で再生します。[OFF]にすると再生しません。

その他の設定 設定の初期化／ETCの設定／接続チェック／車両タイプの設定

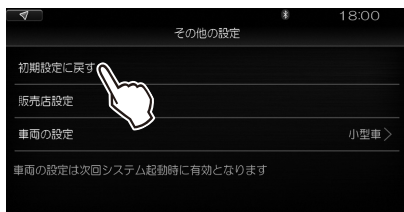
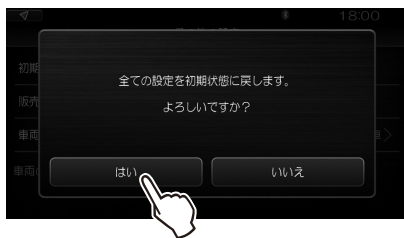
[その他の設定]では、本機のデータの消去(初期化)や、ETCを搭載したときの設定、各パーツの接続状態のチェック、および本機を搭載した車両のタイプの設定を行います。

設定の初期化

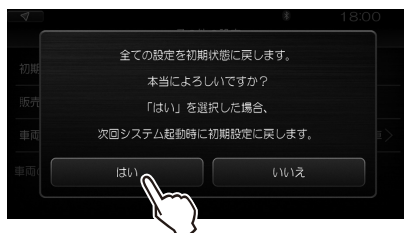
ご注意

- 設定を初期化すると、本機内のアドレス帳のデータや電話の発着信履歴、ルートの検索履歴など、お客様が本機の使用を始めてから蓄積されたデータはすべて消去されます。充分ご注意ください。

1 →[その他の設定]の順にタッチする

2 [初期設定に戻す]をタッチする

「全ての設定を初期状態に戻します。よろしいですか？」と表示されます。

3 [はい]をタッチする

「全ての設定を初期状態に戻します。本当によろしいですか？」と表示され、3秒経過後、もう一度［はい］／［いいえ］の選択画面になります。

4 [はい]をタッチする

初期化が行われ、いったん電源をオフにして、次に電源を入れると本機は初めて使用開始したときの状態に戻っています。

初期化を中止するときは、［いいえ］をタッチします。

ご注意

- 電源をオフにしてから5秒以上経過したのちに電源を入れてください。

MEMO

- ソフトウェアを更新した場合、初期化しても更新後のソフトウェアのバージョンが保持されます。

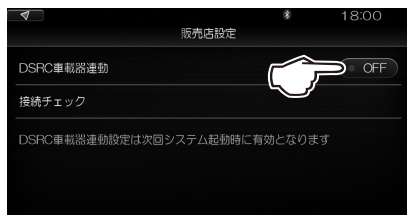
ETCの設定

車両に、ETC および ITS スポット（DSRC）による VICS 情報を利用可能にする DSRC 車載器（別売）を搭載したときは、本機で以下の設定を行うことにより、DSRC 車載器と本機との連動が有効になります。

■ DSRC車載器との連動を有効にする

1 →[その他の設定]の順にタッチする

2 [販売店設定]をタッチする

3 [DSRC車載器連動]の[OFF]をタッチして[ON]にする

［ON］に切り替わり、いったん電源をオフにして、次に電源を入れると DSRC 車載器の使用が可能になります。

ご注意

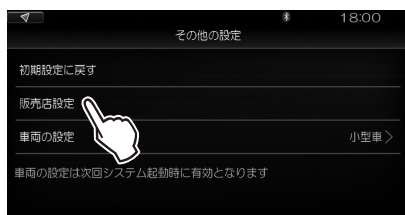
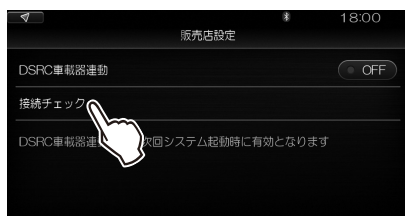
- 電源をオフにしてから5秒以上経過したのちに電源を入れてください。

設定

接続チェック

車両と各部の接続状態をチェックします。

1 ⚙ →[その他の設定]の順にタッチする

2 [販売店設定]をタッチする

3 [接続チェック]をタッチする

接続チェックの結果が表示されます。

[ライト]/[バックギア]/[パーキングブレーキ]/[スピードセンサー]/[カメラ接続]につきチェックすることができます。

ライトのオン/オフなどの操作を行うと、接続に異常がなければ[OK]が表示されます。

設定

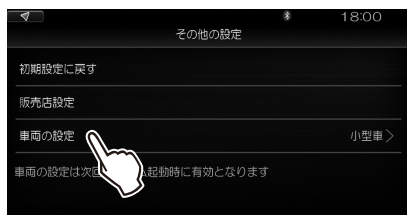
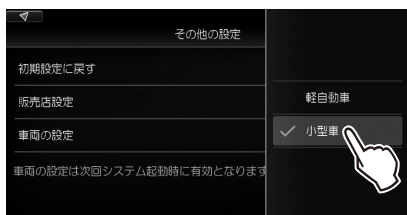
車両タイプの設定

本機を搭載した車両が軽自動車か小型車かを指定します。
この情報に基づき、有料道路の料金計算が行われます。

ご注意

・初期設定は[小型車]になっています。設定が正しくないと、表示される料金が実際と異なってしまいます。車両の排気量に応じて、正しく設定してください。

1 →[その他の設定]の順にタッチする

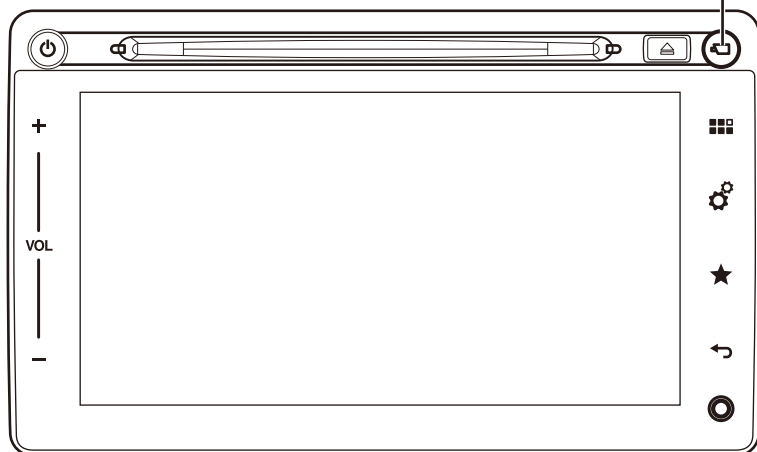
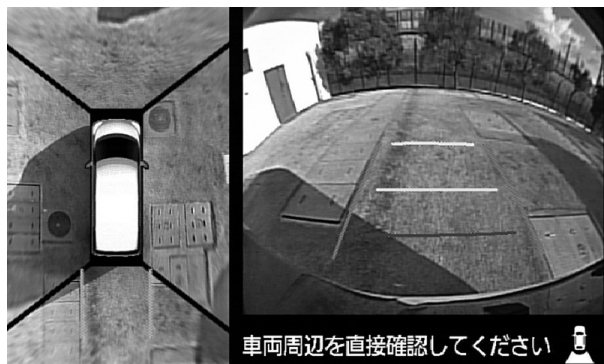
2 [車両の設定]をタッチする

3 [軽自動車]/[小型車]をタッチする

いったん電源をオフにして、次に電源を入れると設定が有効になります。

ご注意

・電源をオフにしてから5秒以上経過したのちに電源を入れてください。

全方位モニター

■ 全方位モニターの表示を切替える

本機の全方位モニターボタンを押すと、全方位モニターの表示を切替えることができます。詳細は、オーナーズマニュアルをご覧ください。

自車を真上から見ているような映像が、本機の画面に表示されます。

■ **画質を調整する**

画面の［画質調整］をタッチします。

［明るさ］／［コントラスト］／［彩度］／［色相］の調整が可能になります。

［−］／［＋］をタッチして、以下の調整が可能です。

それぞれ、0 から 20 の範囲で調整できます。

タッチし続けると、連続して数値が変化します。

［明るさ］	画面の明るさを調整します。
［コントラスト］	画面の明るい部分と暗い部分の輝度の差を調整します。
［彩度］	画面の色の鮮やかさを調整します。
［色相］	画面の色合いを調整します。

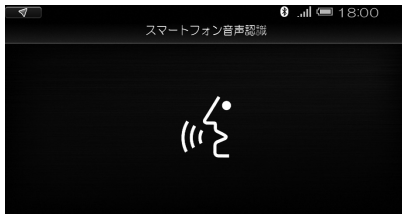
Siriアイズフリー

⚠警告	安全のため、走行中はiPhoneでの操作を行わないでください。

Bluetooth で接続した iPhone の Siri を、ステアリングスイッチを使って利用することができます。
あらかじめ、本機に iPhone を登録しておく必要があります。

「Bluetooth 機器の登録」（59 ページ）参照

1 ステアリングスイッチの発話／電話スイッチを長押しする

発信音が鳴り、Siri が起動します。

MEMO

・ステアリングスイッチについて
「ステアリングスイッチ」（16ページ）参照

2 Siriに話しかける

もう一度発話／電話スイッチを長押しすると、Siri アイズフリーが終了します。

MEMO

- iOS6.0以降のSiri対応機種に対応しています。
- あらかじめiPhoneのSiri機能をオンにする必要があります。
- Siriアイズフリーでは、画面にトークバックや発話可能な音声コマンドは表示されません。
- iPhoneの動作状態や電波状況によっては、Siriが適切に機能しなかったり、応答に時間がかかることがあります。

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

全般

症状	原因・処置
電源が入らない。	● エンジンスイッチがACCまたはオンになっていません。 エンジンスイッチをACCまたはオンにしてください。
電源を入れても画面が出ない。	● 前回、画面を一時消去した状態で電源を切りました。 ⏻（一時消去ボタン）を押してください。 ● ヒューズが切れている可能性があります。 お買い求めの販売店にご相談ください。
電源を入れた直後、画面が見づらい。	● 液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。しばらくお待ちください。
画面が乱れる。	● 電気的ノイズを発生する電装品（携帯電話、無線機、マイナスイオン発生器など）は、本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響がでる場合は、ご使用をお控えください。
本機使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	● いったんお車を安全な場所に停車してエンジンスイッチをオフにし、再度エンジンを始動するかまたはACCをオンにしてください。その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、本機の誤動作が考えられますので、お買い求めの販売店にご相談ください。
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	● しばらく待ってから操作を行ってください。
画面をタッチしても何も起こらない。	● 走行中の制限により操作できないキーなどは薄く表示されます。

ナビゲーション関連

症状	原因・処置
GPS受信の表示が出ない。	● アンテナケーブルが接続されていません。 アンテナケーブルを接続してください。 ● 障害物により受信できません。 障害物のないところを走行してください。 ● 衛星の配置が悪く、測位できません。 しばらくお待ちください。
自車位置がずれる(購入直後)。	● 車速信号と距離の学習が不十分な可能性があります。 GPSの受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。
自車位置がずれる(タイヤ交換後)。	● 車速信号と距離の学習が交換前のタイヤに最適化されています。 GPSの受信しやすい場所で、しばらく走行すると精度が向上します。
自車位置がずれる。	● ほかの電装品が装備されています。 装備されている電装品を、本機およびGPSアンテナ線から十分離してください。 ● 衛星の配置が悪く、正しく測位できません。 しばらく走行を続けてください。自車位置が修正されます。
画面をタッチしても何も起こらない。	● 走行中の制限により操作できないキーなどは薄く表示されます。
走行しても地図が動かない。	● 現在地の画面になっていません。 現在地画面に切り替えてください。
音声案内が聴こえない。	● 本機の音量が低すぎます。 適切な音量に上げてください。*「音量を調節する」(22ページ)参照*
検索した施設の入り口に案内されない。	● 本機には施設の入り口情報が格納されていません。 施設登録地点から一番近い道路まで案内を行います。
ルートが勝手に変更されている。	● 本機の電源がオフされると、起動後に目的地までのルートを再計算します。 ● VICS情報により、安全のため強制的にルートが変更になる場合があります。
FM VICSが表示されない。	● VICS選局の設定をオートに変更してください。 *「FMのVICS情報を見る」(146ページ)参照*

オーディオ・ビデオ関連

■ オーディオ・ビデオ全般

症状	原因・処置
音声は聴こえるが画面が出ない。	● 一時的に画面を消去しています。 ⏻(一時消去ボタン)を押してください。 ● 走行中の制限により画面が表示されません。 安全なところに停車して画面をご覧ください。
音声も画面も出ない。	● 一時的に音声と画面を消去しています。 ⏻(一時消去ボタン)を押してください。
音声がまったく聴こえない。	● 音量が0になっています。 適切な音量に上げてください。
音楽の音量が小さくなる。	● ナビの音声案内時は、音楽の音量が小さくなります。

■ ラジオ

症状	原因・処置
ラジオの雑音が多い。	● 正しい周波数に合わせてください。
ラジオを自動で選局できない。	● 手動で放送局を選んでください。
ahaラジオを聴くことができない。	● ahaラジオをインストールしたスマートフォンが必要です。 ahaラジオにログインしたスマートフォンを接続してください。 iPhoneの場合は、ケーブルで車両のUSBコネクターに接続します。 Androidタイプの場合は、本機とBluetoothで接続します。

■ 音楽ディスク

症状	原因・処置
音飛びする／ノイズなどが入る。	● ディスクが汚れている。 やわらかい布でふいてください。 ● ディスクに大きな傷やソリがある。 傷やソリのないものに交換してください。
電源を入れた直後、音が良くない。	● 湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがあります。 電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
ディスクが入らない。	● すでにディスクが入っています。 イジェクトボタンを押して取り出してから、ディスクを入れてください。
音楽ディスクのトラック名が表示されない。	● Gracenoteには対応していません。トラック名がわからないときは、不明なトラック、と表示されます。

■ DVD

症状	原因・処置
再生できない。	● 本機と異なるリージョン番号のディスクです。 本機と同じリージョン番号のディスクを再生してください。
自動的に再生が始まらない。	● ディスクによっては、メニューが表示される場合があります。 メニューを操作して再生を開始してください。

■ テレビ

症状	原因・処置
画面が停止したり、こま落ちする。	● 受信状態が悪い場所ではこのような現象が起こります。 受信状態が安定した場所に移動してください。 また、[ワンセグ]／[フルセグ]／[自動]を[フルセグ]に設定している場合は、設定をかえることで受信できる場合もあります。*「受信モードを設定する」(116ページ)参照*
放送を受信できない。	● 移動により、受信できなくなりました。 「エリア」で受信中は、移動により受信可能な放送局に自動的に切り替わります。
番組表が表示されない。	● 番組表の受信中です。 番組表が表示されるまでしばらくお待ちください。
エリアにチャンネルがプリセットされていない。	● 購入直後や初期設定に戻した場合、エリアに「CHスキャンは自動で実行されます」が表示されチャンネルがプリセットされていないことがあります。その際は、2、3分そのままお待ちください。

■ その他のメディア

症状	原因・処置
Bluetoothオーディオで、トラックの切り替えやリピート再生、ランダム再生ができない。	● Bluetooth機器がこれらのコマンドを受け付けない場合があります。故障ではありません。
Bluetooth機器を、「待ち受け開始」から登録することができない。	● Bluetooth機器側の登録済みデバイス一覧に本機の情報が記憶されていると、登録できない場合があります。 Bluetooth機器側の登録済みデバイス情報から本機の情報を削除した後、再度「待ち受け開始」から登録してください。
USBオーディオ･ビデオの再生ができない。	● USB機器が認識されていない。 USBコネクターを抜き差ししてください。それでも再生できない場合は、新しいUSB機器と交換してください。 ● USBオーディオの場合、ファイル形式がMP3、WMA、AACのもののみ再生できます。 ● USBビデオの場合、ファイル形式がMP4、H.264(MP4 AVC)、WMVのもののみ再生できます。 ● 本機で使えるUSBメモリーをご確認ください。*「本機で使えるUSBメモリー」(200ページ)参照* ● 本機で再生可能なファイルかご確認ください。*「本機で再生可能な音声ファイルについて」(200ページ)参照*
iPod／iPhoneが再生できない。	● iPodオーディオの場合、本機はiPod classic、iPod nano 5G／6G／7G、iPod touch 4G／5Gに対応しています。 接続できる機器の最新情報については、ホームページをご覧ください。 ● iPhoneオーディオの場合、本機は、iPhone 4／4S／5／5S／5C／6／6Plusに対応しています。 対応機種の最新の情報は、ホームページをご覧ください。 ● オーディオのファイル形式がMP3、WMA、AACのもののみ再生できます。 ● USB接続を解除し、iPod／iPhone本体を再生状態にしてから再度接続してください。 ● USB接続を解除し、iPod／iPhone本体のリセットを行ってから再度接続してください。

カメラ関連

症状	原因・処置
全方位モニターが表示されない。	● 周囲が暗すぎる、または明るすぎると画面が見にくいことがありますが、故障ではありません。

電話関連

症状	原因・処置
電話ができない。	● 使用する電話機器と本機のリンクが成立していません。 正しくリンクしてください。 ● ハンズフリーがオンになっていません。 ハンズフリーをオンにしてください。*「Bluetooth機器の登録」(59ページ)参照*

DSRC(ETC)関連

症状	原因・処置
ETC料金などの音声案内が聞こえない。	● ETC音声案内の設定をオンにしてください。*「ETCカードに関する音声案内を聴く」(157ページ)参照*
ETCカード挿入確認やDSRC情報が表示されない。	● ETC警告表示の設定をオンにしてください。*「ETCカードに関する情報を表示する」(156ページ)参照*
ETCゲートへ誘導案内されない。	● ルート案内開始後にETCカードを挿入しました。 エンジン始動前にETCカードを挿入してください。

車両情報関連

症状	原因・処置
車両警告情報が表示されない	● 本機の車両情報割り込み設定がオフになっています。 車両情報割り込み設定がオンになっているか確認してください。 ● 車両が停車中です。 シートベルト、パーキングブレーキ、半ドアのお知らせは車速と連動しているため、停車中は表示されません。
「車両信号が受信できていません」が表示される。	● 本機に対し車両通信が正常に行われていない可能性があります。 お買い求めの販売店にご相談ください。

本機で使えるUSBメモリー

本機では以下に記載された市販の USB メモリーを使用してください。

● 記録メディア

USB メモリー 1.0、1.1、2.0（lowspeed、fullspeed、highspeed）

● 記録フォーマット

FAT16、FAT32 に対応

● 拡張子が .MP3、.WMA、.AAC、.MP4、.WMV、または.H.264のファイル

（雑音や故障の原因となるため、MP3、WMA、AAC、MP4、WMV、H.264 ファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.AAC」「.MP4」「.WMV」「.H.264」の拡張子を付けないでください。）

● ファイルサイズが128GB未満のファイル

ただし、ファイルサイズが 1GB を超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、MP3、WMA、AAC、MP4、WMV、または H.264 ファイルが記録された USB メモリーを再生できます。

MP3 とは、MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3 ファイルは、元の音楽データを約 1/10 サイズに圧縮したものです。

WMA とは、Windows Media Audio の略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

AAC とは、Advanced Audio Coding 先進的音響符号化の略称で、Moving Picture Experts Group (MPEG) において規格化された音声圧縮方式のことです。

MP4 とは、動画像圧縮符号化の標準規格である MPEG-4 の第 14 部で規定されているファイルフォーマットです。

WMV とは、Windows Media Video の略称で、マイクロソフト社独自の動画圧縮フォーマットです。

H.264（MPEG-4 AVC）とは、ITU（国際電気通信連合）によって勧告された動画圧縮規格の一つです。

再生できる MP3、WMA、AAC、MP4、WMV、H.264 ファイルは以下のとおりです。

● 拡張子が.MP3、.WMA、.AAC、.MP4、.WMV、または.H.264のファイル

（雑音や故障の原因となるため、MP3、WMA、AAC、MP4、WMV、H.264 ファイル以外には「.MP3」「.WMA」「.AAC」「.MP4」「.WMV」「.H.264」の拡張子を付けないでください。）

MEMO

・MP3、WMA、AAC、MP4、WMV、H.264のVBRファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3ファイルについて

- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1/2/2.5：32 ～ 48kHz
- 再生可能なビットレート
  MPEG1/2/2.5：8 ～ 320kbps/VBR/CBR/ABR
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PROフォーマット非対応
- MP3ファイルのデータ内容によっては、音飛びすることがあります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できないことがあります。
- 低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes®以外のTAG編集ソフトでTAG情報を変更すると、TAGが正常に表示されないことがあります。

WMAファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- WMAファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数
  WMA7/8/9：8 ～ 48kHz
  WMA9 Lossless：8 ～ 96kHz
  WMA9 Voice：8 ～ 22.050kHz
  WMA9.1/9.2：8 ～ 48kHz
  WMA10 Pro/10 Pro LBR：8 ～ 96kHz
- 再生可能なビットレート
  WMA7/8/9：8 ～ 768kbps/VBR/CBR/ABR
  WMA9 Lossless：最大 20000kbps/VBR/CBR/ABR
  WMA9 Voice：最大 20kbps/VBR/CBR/ABR
  WMA9.1/9.2/10 Pro/10 Pro LBR：8 ～ 768kbps/VBR/CBR/ABR

AACファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- USBメモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- AACファイルのデータ内容によっては、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG2 AAC-LC/MPEG4 AAC-LC/MPEG4 AAC-HE V1(aacPlus, SBR)/MPEG4 AAC-HE V2 (Enhanced aacPlus, SBR+PS)：8 ～ 96kHz
- 再生可能なビットレート
  MPEG2 AAC-LC/MPEG4 AAC-LC：8 ～ 2048kbps/VBR/CBR/ABR
  MPEG4 AAC-HE V1 (aacPlus, SBR)：8 ～ 640kbps/VBR/CBR/ABR
  MPEG4 AAC-HE V2 (Enhanced aacPlus, SBR+PS)：8 ～ 64kbps/VBR/CBR/ABR

USBメモリーのフォルダ構成

USB メモリーの音楽データを認識できる階層は、ルートを除く 8 階層までです。この階層内にある MP3・WMA・AAC・MP4・WMV・H.264 音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。

フォルダ名、ファイル名の文字数合計は全角・半角ともに 250 文字以内にしてください。

MEMO

- MP3･WMA･AAC･MP4･WMV･H.264ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- USBメモリーは、8階層（ルートディレクトリを除く）までのファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生が始まるまでに時間がかかります。
- 1つのフォルダに255以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- 1つのフォルダにMP3･WMA･AAC･MP4･WMV･H.264ファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- 認識可能な最大ファイル数は以下のとおりです。
  デバイス内最大ファイル数：99999
  フォルダ内最大ファイル数：999
- 第1階層にファイルがある場は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

本機でMP3･WMAを再生するためのご注意

- ● 最大数を超えてフォルダ･ファイル･トラックが記録されている場合、超過しているフォルダ･ファイル･トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- ● フォルダを含めたファイル名が長い場合、フォルダ名やファイル名の先頭が「.（ドット）」の場合は、そのファイルは再生できません。
- ● MP3･WMAのファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WMなど）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります。）
- ● 著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

本機で使えるディスク

本機では、以下のフォーマットの CD を再生することができます。

- Audio：MP3、AAC、WMA
- Video Codec：MPEG-4 AVC、H.264、WMV9（VC-1）
- Video container：MP4、WMV

MP4 は、MPEG-4 AVC または H.264 codec を含むことができます。また、WMV は WMV9 のためのフォーマットです。

本機では、以下のディスクの種類を再生することができます。

- 12cm ディスク（8cm ディスクは再生できません）
- CD-ROM、CD-DA、CD-TEXT、DTS-CD、Video CD (VCD)、Super Video CD (SVCS)
- DVD-Video（リージョン番号に「ALL」または「2」を含むもの）
- CD-R/RW、DVD-ROM（一層 / 二層）、DVD+R/-R（一層 / 二層）、DVD+RW/-RW
- Dual Disc（ただし DVD レイヤのみ対応）

お手入れ

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときは、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。

  汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

  ※本体のお手入れをする際、ベンジンやシンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどは絶対に使用しないでください。火災の原因になる可能性があります。

- 液晶表示部は、ホコリが付きやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

主な仕様

■ ナビゲーション(GPS)部

受信周波数	:1575.42MHz、C/Aコード
感度	:−127dBm以下(C/No 41dB)
チャンネル数	:56チャンネル

■ LCDモニター部

画面寸法	:6.95インチ
表示方式	:透過型TN液晶パネル
駆動方式	:TFT(薄膜トランジスタ)アクティブマトリクス駆動方式
画素数	:1,152,000画素[水平800×垂直480×3(RGB)]

■ TVチューナー部

受信チャンネル	:UHF 13〜52ch
最大感度	:−83dm以下

■ FMチューナー部

受信周波数	:76.0MHz〜95.0MHz
実用感度	:6dBμV以下

■ AMチューナー部

受信周波数	:522〜1629kHz
実用感度	:34dBμV以下

■ オーディオ部

定格出力	:16W × 4(5%, 4Ω)
瞬間最大出力	:24W × 4
適合インピーダンス	:4Ω

■ Bluetooth部

受信周波数	:2402〜2480MHz (1MHz ステップ)
受信感度	:−80dBm以下
規格	:バージョン2.1＋EDR

■ 共通部

電源電圧	:14.0V (10.8〜15.6V許容電圧範囲)
接地方式	:マイナス接地
消費電流	:約2.3A(2W出力時)

商標について

- VICS は、(一財)道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

- “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance. iPad, iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
  Lightning is a trademark of Apple Inc.

Made for iPod iPhone

- Apple、Apple ロゴ、iPod、および Siri は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- 「Android」は、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

- NaviCon は株式会社デンソーの登録商標です。

- Aha™ は Harman International Industries, Incorporated. の商標です。

付録

Bluetoothについて

Bluetooth(ブルートゥース)とは

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。

本機では、Bluetooth に対応した携帯電話、スマートフォンおよびオーディオ機器を接続して利用できます。

MEMO

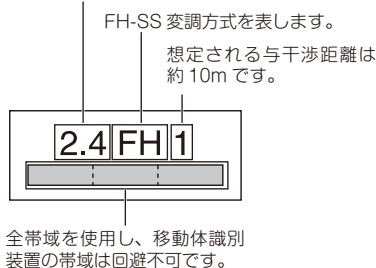
- Bluetoothの各機能を使用するには、下記プロファイルに対応した携帯電話が必要となります。
  - ハンズフリー通話:HFP(Hands-Free Profile)
  - アドレス帳を一括ダウンロード:PBAP(Phone Book Access Profile)
  - アドレス帳の転送:OPP(Object Push Profile)
  - オーディオ:A2DP(Advanced Audio Distribution Profile:高度オーディオ配信プロファイル)、AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile:オーディオ/ビデオリモート制御プロファイル)
- Bluetooth対応機器を本機とともに使用するには、あらかじめ本機に登録(ペアリング)する必要があります。
  「Bluetooth機器の登録」(59ページ)参照
- Bluetoothプロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth機器の取り扱いについて

Bluetooth 機器を使用される前にお読みください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、アマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. **この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局および、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。**
2. **万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか、または電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。**
3. **その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店までお問い合わせください。**

付録

お車を廃棄・譲渡・転売するときは

お車を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

本機内のデータ消去について

本機を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータを、以下に記載した内容にしたがって初期化（データの消去）してください。

■ 著作権保護のために…

メモリー内に保存されたデータを初期化（データの消去）してください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法に抵触するおそれがあります。

弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

データを消去（初期化）する

本機に保存されたデータをすべて消去（初期化）します。

・データの消去（初期化）のしかたについては*「設定の初期化」（188 ページ）参照*

付録

ナビゲーションの地図データをご利用頂くにあたって

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「メモリーナビゲーション」（「本商品」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本商品で使用する権利を許諾します。
- 弊社は、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、弊社が定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
- お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について弊社は何ら保証しないこと。従って、本ソフトを使用することで生じたお客様の直接または間接の損失および損害について、弊社は故意または重過失の場合を除き何ら保証しないこと。（本ソフトにおける情報の収録は、弊社の基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。）
  - 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
  - その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

【収録情報について】

● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分の1地方図及び2万5千分の1地形図を使用しています。(承認番号　平26情使、第244－B38号)

● この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料H･1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。(承認番号 国地企調発第78号 平成16年4月23日)

● この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用しています。(承認番号　平26情使、第361－B1号)

● この地図の作成に当たっては、一般財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しています。(測量法第44条に基づく成果使用承認13-061)

● 本ソフトに使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を利用して、MAPMASTERが作成したものを使用しています。

● 本ソフトを無断で複写･複製･加工･改変することはできません。

● VICS は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

● ”ゼンリン”および”ZENRIN”は株式会社ゼンリンの登録商標です。

● 本ソフトで表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。

■ 道路データは、高速、有料道路についてはおおむね2014年8月 、国道、都道府県道についてはおおむね2014年6月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。

■ 細街路規制データは、おおむね2014年7月 までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される規制データが現場の状況と異なる場合があります。

■ 経路探索は、2万5千分の1地形図(国土地理院発行)の主要な道路において実行できます。ただし、一部の道路では探索できない場合があります。また、表示された道路が現場の状況から通行が困難なときがあります。現場の状況を優先して運転してください。

■ 交通規制は、普通自動車に適用されるもののみです。また、時間･曜日指定の一方通行が正確に反映されない場合もありますので、必ず実際の交通規制に従って運転してください。

■ 電話番号データは「タウンページデータベース」のデータを使用しています。
本機に搭載されているデータは2014年8月版のデータです。

■ 「タウンページデータベース」は、NTT東日本･NTT西日本の電話サービス契約約款に基づき提供する電話帳データベースです。NTT東日本･NTT西日本からの委託を受けたNTTタウンページ株式会社が提供しています。タウンページは、NTT東日本およびNTT西日本の商標です。

■ 2011年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、東北･関東地方の被災地域においては、表示される地図が現地の状況と異なる場合があります。最新の情報は、行政機関などで公開されている情報をご確認ください。

■ VICSリンクデータベースの著作権は、(一財)日本デジタル道路地図協会、(公財)日本交通管理技術協会に帰属しております。なお、本ソフトは、全国47都道府県のVICSレベル3対応データを収録しております。VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の地図上への表示は毎年、追加･更新･削除され、その削除された部分は経年により一部の情報が表示されなくなることがあります。

※ 本ソフトの収録エリアには 2015 年 5 月時点で VICS サービスが開始されていないエリアも含まれております。VICS サービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

VICS に関するお問い合わせ

(一財)道路交通情報通信システムセンター　サービスサポートセンター

電話番号：0570-00-8831

電話受付時間：9：30 ～ 17：45（土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く）

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。

FAX：03-3562-1719

付録

【本ソフトの情報について】

本ソフトは、おおむね以下の年月までに収集された情報に基づいて作成されております。

- ■ **道路:2014年8月(高速・有料道路)/2014年6月(国道・都道府県道)**
- ■ **交通規制※1:2014年7月**
- ■ **住所検索:2014年7月**
- ■ **電話番号検索:2014年8月**
- ■ **郵便番号検索:2014年7月**
- ■ **ジャンル検索:2014年6月**
- ■ **高速・有料道路料金※2:2014年8月**

※1 交通規制は普通自動車に適用されるもののみです。
※2 料金表示は、ETCを利用した各種割引などは考慮していません。

【VICSレベル3対応データ収録エリア】全国47都道府県

※ただし、本ソフトの収録エリアには2015年5月 時点でVICSサービスが開始されていないエリアも含まれております。
VICS サービスの開始時期については（一財）道路交通情報通信システムセンターまでお問い合わせください。

2015 年 5 月 発行　製作／株式会社ゼンリン

【るるぶDATA利用にあたってのガイドライン】

- ● スポット情報やイベント情報は、施設の都合などで内容が変更されている場合が御座います。料金・日程・時間など、最新の情報をお知りになりたい場合には、事前に各問い合わせ先にご確認されることをお薦めいたします。
- ● 掲載情報については細心の注意を払っておりますが、その内容の正確性・完全性・有用性・安全性等について、株式会社JTBパブリッシングが保証するものではありません。
- ● 掲載情報を利用して生じたいかなる損害・不都合などについて、株式会社JTBパブリッシングは一切責任を負いません。地図上の各スポット位置情報は、ずれが生じる場合もございますので目安としてご利用ください。
- ● 掲載情報の無断転載は禁止します。

情報提供:株式会社JTBパブリッシング

【収録情報について】

るるぶ DATA：2014 年 8 月

■ 市街図

エリア：　1,747 都市
スケール：　10m、20m、50m

■ 一般道路

2014 年 6 月現在

■ 高速・有料道路

2014 年 8 月現在

■ 住所検索

約 3700 万件

■ 電話番号検索

約 250 万件

個人宅の電話番号は個人情報保護のため収録されておりません。

▌VICS情報について

FM VICS情報の更新に伴う表示変更

ナビゲーションおよび地図ソフトを購入して 3 年ほど経過すると、地図画面で渋滞情報が表示されない場所が出る場合が次第に増えます。この現象が起きるのは、レベル 3 の地図情報のみで、レベル 1 の文字情報・レベル 2 の図形情報では従来どおり表示されます。

この現象の原因は、VICS センターの採用する VICS リンク（主要交差点ごとに道路を区切った単位）というデータ方式にあります。道路の新設や改築、信号機の設置などで交通情報が変化する場合は、適宜 VICS リンクの追加や変更が行われます。そのため、新しい VICS リンクによって提供された情報は、変更前の VICS リンクでは表示されなくなります。ただし、情報提供サービス維持のため、変更後の 3 年間は、旧 VICS リンクにも従来どおりの情報を提供する仕組みになっています。

VICS リンクは毎年更新されますので、できるだけ新しい地図のご利用をおすすめいたします。

現在お使いのナビゲーション、地図ソフトの対応などにつきましては、弊社「お客様相談室」にお問い合わせください。また詳しくは、以下の VICS センターへお問い合わせください。

VICSシステムの問い合わせ先

VICS は、受信した内容をそのまま表示するレベル 1（文字情報）、レベル 2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル 3 を提供するサービスです。

VICS の概念、計画、または表示内容については一般財団法人 VICS センターにお問い合わせください。

■ 一般財団法人VICSセンター

電話番号：0570-00-8831

受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日を除く）

※ 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

※ PHS、IP電話等からはご利用できません。

FAX 番号：(03）3562-1719

●インターネット・ホームページ

http://www.vics.or.jp/

VICS リンクデータベースの著作権について

VICS 情報のデータの著作権は、一般財団法人日本デジタル道路地図協会、公益財団法人日本交通管理技術協会が有しております。

付録

VICS情報有料放送サービス契約約款

第１章　総　　　則

（約款の適用）

第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和25年法律第132号）第52条の4の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）

第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）

第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

（2）VICS サービス契約

当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約

（3）加入者

当センターと VICS サービス契約を締結した者

（4）VICS デスクランブラー

FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）

第４条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

（2）簡易図形表示型サービス

簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス

（3）地図重畳型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）

第５条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契　　　約

（契約の単位）

第６条　当センターは、VICS デスクランブラー1台毎に1の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）

第７条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）

第８条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）

第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第4条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）

第10条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）

第11条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。

（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき

（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）

第12条

1　当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。

2　第11条又は第12条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料　　　金

（料金の支払い義務）

第13条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。

なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保　　　守

（当センターの保守管理責任）

第14条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）

第15条

1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。

2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。

ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑　　　則

（利用に係る加入者の義務）

第16条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）

第17条

1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。

また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは当該変更においても変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。

当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］

視聴料金　300円（税抜き）

ただし、車載機購入価格に含まれております。

索引

付録

■ さ

■ た

■ な

■ は

■ ま

■ ら

■ わ